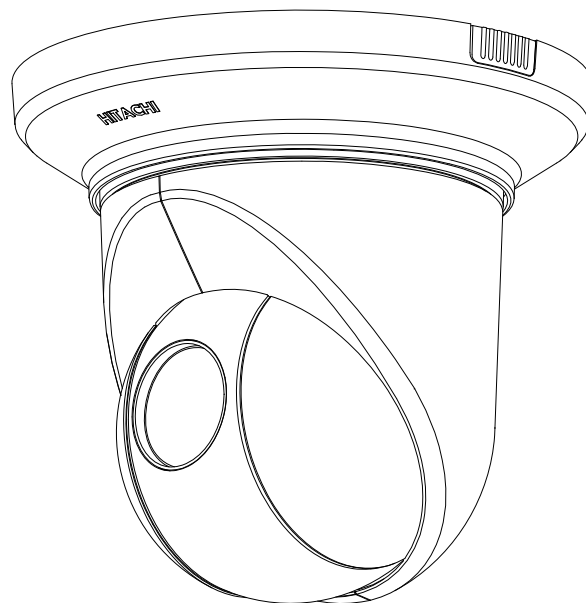


ISnex シリーズ

HC-IP3000 型 PTZ ネットワークカメラ 取扱説明書

＜ユーザーズマニュアル＞



ご使用前に「取扱説明書」の”安全上のご注意”をよくお読みになり正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

第1.1版 2011 年 5 月 12 日 発行

 株式会社 日立国際電気

HC-IP3000 型 PTZネットワークカメラ

安全にお使いいただくために

ご使用の前に

- ・ご使用の前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

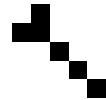


⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁）が描かれています。

警告

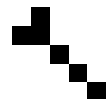
■表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



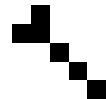
■異常なときは使わない

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、煙がなくなることを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。



■電源コードに傷をつけない

電源コードに傷をつけたり、加工したり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



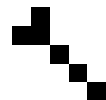
■電源コードが傷んだら交換する

電源コードの芯線が露出したり、断線したときは交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



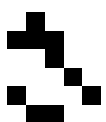
■発火や引火の危険性がある場所に設置しない

ガスなどが充満した場所に設置すると、火災の原因となります。



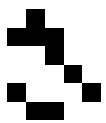
■分解したり、異物を入れない

ケースを開けて内部に触れたり、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。火災・感電の原因となります。



■改造しない

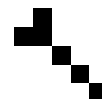
この機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。



■ ■ ■ 警告

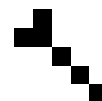
■ 落下するおそれのある場所に設置しない

もろい材質の天井板（および壁面）に設置しないでください。
落下してけがの原因となります。



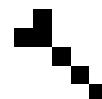
■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないで
ください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



■ 塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない

取付部が劣化して落下などの事故の原因となります。



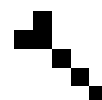
■ ねじや固定機構はしっかり締め付ける

締め付けがゆるむと落下などでけがの原因となります。



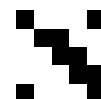
■ 振動、衝撃のある場所では使用しない

落下してけがの原因となります。



■ 水にぬらさない

水にぬらすと火災・感電の原因となります。万一内部に
水が入った場合はご使用を中止し、電源を切ってから
お買い上げの販売店にご連絡下さい。

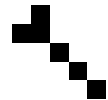


■ ■ ■ 注意

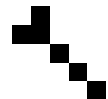
■温度・湿度については、使用環境で定めてある範囲で使用する
この機器の設置環境は使用環境で定めてある範囲で使用して
ください。内部の温度・湿度が上がり、火災や故障の原因となる
ことがあります。



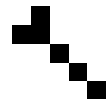
■この機器の上にものを置かない
バランスがくずれたり、落下したりして、けがの原因となる
ことがあります。



■振動や衝撃の加わる場所には置かない
この機器に振動や衝撃が加わると、火災や故障の原因となる
ことがあります。



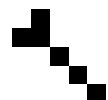
■引火性ガス、腐食性ガスのあたるところには置かない
この機器の周囲に引火性ガスや腐食性ガスがあると、
火災の原因となることがあります。



■保守点検について
保守点検を販売店にご相談ください。機器内部にほこりがたまっ
たまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。
湿気の多くなる梅雨期の前に点検を行うと、効果的です。
なお、保守点検の費用については販売店にご相談ください。



■上に乗らない
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



⚠ 安全上のご注意

- ⚠ ・「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。
- ⚠ ・本機は日本国内専用であり、国外で使用してはいけません。事故の原因になります。
- ⚠ ・内部に触れると感電や事故の原因となりますので、絶対に触れないでください。
- ⚠ ・本機を改造したり、カバーを外したままでの使用は危険です。
絶対にしないでください。
- ⚠ ・落としたり強い衝撃、振動を与えないでください。事故の原因になります。
- ⚠ ・万一、本機に異常（映像がでない、煙、変なにおいや音等）があった場合は
直ちに電源を切ってお買い上げ店又は、サービス窓口へ連絡してください。

⚠ 使用上のご注意

- ⚠ ・本機は天吊型です。傾けて取り付けないでください。
- ⚠ ・本装置を据え付ける場合は専門の工事業者にご依頼ください。
- ⚠ ・動作中は本機に触れないでください。
- ⚠ ・カメラを使用しているいないにかかわらずレンズを太陽の方向に向けないでください。
- ⚠ ・本機を落下させたり、衝撃や振動を加えない様に注意願います。
- ⚠ ・周囲温度は仕様書を御参照、確認願います。
(外気温0℃以下では通電状態を維持してください。)
- ⚠ ・お手入れは電源を切ってから行ってください。
- ⚠ ・落雷による故障は保証期間内でも保証外となります。
- ⚠ ・本機を取り扱う際は、本体筐体部を持ってください。回転部を持って取り扱いますと、
破損する場合がありますのでお止め下さい。
- ⚠ ・長期間安定した性能でお使いいただくためには、約1～2年ごとの定期保守、点検
の実施をお願いします。保守、点検およびアフターサービスについて、
ご不明な点はお買い上げ店にご相談ください。

知的財産所有権

本製品には、ライセンスされたサードパーティ製のソフトウェアが含まれています。詳しくは、本製品の内部 WEB ページ（[インフォメーション]-[バージョン]）を参照してください。

法律上の注意事項

ビデオ監視は法律によって禁止されている場合があります、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。

本製品をご使用いただく前の注意

- ・ 本製品は精密機械です。お取り扱いには十分ご注意ください。お買い上げ後、輸送、移動などをされるときに、落下、衝撃などを与えないで下さい。
- ・ カメラなどの外部機器との接続作業は、必ず電源を切断した状態で行って下さい。
- ・ 落雷、誘導雷等の影響を受ける恐れのあるシステムにご使用の場合、機器の損傷を防ぐためにシステム全体として、避雷器等での保護を行って下さい。
- ・ 弊社はいかなる場合であっても、また不法行為、契約その他のいかなる法的根拠による場合であっても、お客様あるいはその他の方に対し、営業価値の喪失、コンピュータの故障による損害、その他のあらゆる損害・損失等を含め一切の損害・損失に対して責任を負いません。さらに弊社は第三者からのいかなるクレームに対しても責任を負いません。
- ・ 本製品は、「動作環境（クライアント PC 仕様）」に記載の動作環境においてのみ正常に動作するように設計されております。従いまして、ご使用中の OS や WEB ブラウザのバージョンを変更された場合には、正常に動作しなくなる場合があります。

OS または PC の変更をされる場合には、弊社営業所または代理店にご相談下さい

責任

日立国際電気は、このマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また日立国際電気は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。日立国際電気は、日立国際電気製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。日立国際電気は、このマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定期間に対する適合性について、明示的、黙示的な保証を一切いたしません。またハードディスクの故障によるデータの消失について一切の責任を負いません。

商標

Acrobat、Adobe、Boa、Ethernet、IBM、Linux、Macintosh、Microsoft、Mozilla、Netscape Navigator、Windows、WWW、AXIS は各社の登録商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems Inc.の商標または登録商標です。NDR は株式会社日立国際電気の登録商標です。

MPEG-4 特許ライセンスに関するご注意

本製品は、画像情報の取扱いに関して、MPEG 技術 (MPEG-4 VISUAL STANDARD) を使用しており、同技術の使用に関しては、特許管理団体 MPEG LA, LLC. の許諾を受けております。以下の場合を除いては、本製品のご利用が禁止されていますので、ご注意ください。MPEG 技術利用者の自己使用及び非営利的な使用であって、

(i) MPEG-4 VISUAL STANDARD に適合するビデオ (以下、「MPEG-4 ビデオ」) の符号化及び又は、

(ii) 自己使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用者により符号化された MPEG-4 ビデオ、及び又は、MPEG LA, LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プロバイダーから提供された MPEG-4 ビデオの複合化。

なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA, LLC. までお問い合わせ下さい。HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照下さい。

(以下英文)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR

(i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR

(ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO.

NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE.

ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

もくじ

第1章	ご使用になる前に	10
1.1	はじめに	10
1.2	主な特徴	10
1.3	同梱品の確認	11
1.4	取り扱い上のご注意	12
1.5	動作環境	14
1.6	各部の名称と機能	15
第2章	本製品の設置及び設定	18
2.1	設置上のお願い	18
2.2	機器の取付け	20
2.3	機器の接続	25
2.4	クライアント PC のネットワーク設定	27
2.5	クライアント PC からネットワークカメラの接続	28
2.6	映像表示用ソフトのインストール	29
2.7	運用するネットワークに合わせたネットワークカメラの設定変更	31
2.8	万一、本機の IP アドレスが分からなくなった場合	32
第3章	基本操作及び詳細設定	33
3.1	トップページ	34
3.2	メインビュー	35
3.3	カメラ選択	41
3.4	設定	43
3.4.1	[設定情報] 一覧表示	44
3.4.2	[本体設定] - [ネットワーク] 基本設定	45
3.4.3	[本体設定] - [ネットワーク] ユーザ認証	52
3.4.4	[本体設定] - [機器調整] コーデック (映像・音声)	55
3.4.5	[本体設定] - [機器調整] カメラ詳細設定	63
3.4.6	[本体設定] - [機器調整] カメラ制御	65
3.4.7	[本体設定] - [各種機能] アラーム	67
3.4.8	[本体設定] - [各種機能] - [アラーム] - 接点	67
3.4.9	[本体設定] - [各種機能] - [アラーム] - ホスト通知	70
3.4.10	[本体設定] - [各種機能] - [アラーム] - メール通知	72
3.4.11	[本体設定] - [各種機能] - [アラーム] - 蓄積	75
3.4.12	[本体設定] - [各種機能] - [アラーム] - 転送先 FTP サーバ	77
3.4.13	[本体設定] - [各種機能] 定期 FTP 転送	79
3.4.14	[本体設定] - [各種機能] SNMP	80
3.4.15	[本体設定] - [各種機能] 外部 I/F (音声)	83
3.4.16	[本体設定] - [各種機能] 日付&時刻	84

3. 4. 17	[本体設定]－[各種機能]ビューア	8 6
3. 4. 18	[本体設定]－[各種機能]言語設定	9 1
3. 4. 19	[アプリケーション]機器登録	9 2
3. 4. 20	[アプリケーション]多画面登録(4, 9画面)	9 5
3. 4. 21	[アプリケーション]グループ登録	9 9
3. 4. 22	[アプリケーション]登録情報コピー	1 0 1
3. 4. 23	[アプリケーション]起動時設定	1 0 2
3. 4. 24	[その他]メンテナンス	1 0 3
3. 5	カメラメニュー	1 0 4
3. 6	インフォメーション	1 1 9
第4章	故障かなと思ったら	1 2 1
第5章	仕様・その他	1 2 3
5. 1	主な仕様	1 2 3
5. 2	外形寸法図	1 2 5
5. 3	工場出荷時の設定	1 2 7
	保証とアフターサービス	1 3 6

第1章 ご使用になる前に

1.1 はじめに

HC-IP3000形ネットワークカメラは、アナログ映像信号をデジタル化(H.264、MPEG-4、JPEG 圧縮)し、LANで接続されたクライアントPCやWEBデコーダに配信する機能を備えています。Webサーバ機能を内蔵していますので、LANに直結したクライアントPCのブラウザから、監視映像表示、パン／チルト／ズーム／フォーカスのプリセット動作や、カメラの設定変更をクライアントPCのブラウザ画面上の操作で簡単に行えます。

1.2 主な特長

- (1) ワンプッシュオートフォーカス付き光学 35 倍ズームレンズの搭載
オートフォーカス付き 35 倍光学ズームレンズ(デジタル 12 倍ズーム)を搭載。デジタルズームとの併用により最大 420 倍の画像をみることができます。
- (2) スローシャッター
スローシャッター(電子感度アップ)機能により夜も最適な画像で監視できます。
※ スローシャッター(電子感度アップ)機能とは、電氣的に露光時間を長くすることで CCD の感度を向上させる機能です。
- (3) 16 ケ所のプリセットポジション
最大 16 ケ所のプリセットポジションが設定可能です。見たい所をいつでも直ぐに呼び出せる多地点プリセット機能を搭載しています。
- (4) OSD (On Screen Display) 機能による文字表示
OSD メニュー画面でカメラの各種機能の設定が可能です。
- (5) 水平、垂直及びレンズのズーム、フォーカスを遠隔操作により制御が可能
遠隔地に設置されたカメラで監視したい位置に水平、垂直方向ともに制御可能です。また、ズーム、フォーカスも自在に制御が可能です。
- (6) 高性能・高画質・高効率な H.264/MPEG-4 画像
高性能な H.264/MPEG-4 圧縮技術をコンパクトに集約。高画質な VGA サイズ(640×480)の画像を最大 30 枚/秒のフルレートで約 2[Mbps]伝送と高い圧縮効率を実現しました。
- (7) 高画質 JPEG 画像
高画質な JPEG 画像の配信も可能。録画に最適であり、VGA サイズ(640×480)の画像を最大 15 枚/秒で配信することが可能です。
- (8) マルチで動作、使い方は無限大
H.264、MPEG-4、JPEG 伝送のマルチ動作を実現。例えば、JPEG 画像を録画用にネットワークデジタルレコーダへ高画質配信しながら、H.264/MPEG-4 画像伝送が可能。

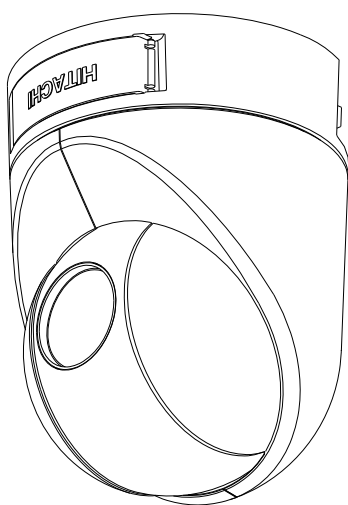
免責事項

本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(営業損失などの補填)の責任についてはご容赦ください。

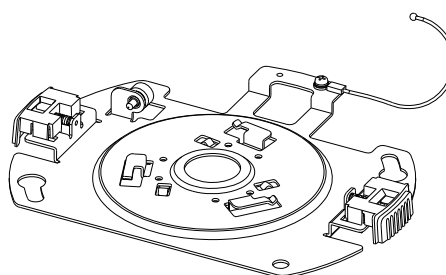
1.3 同梱品の確認

本機の箱の中には、次のものが同梱されています。不足のある場合には、販売店にご連絡下さい。

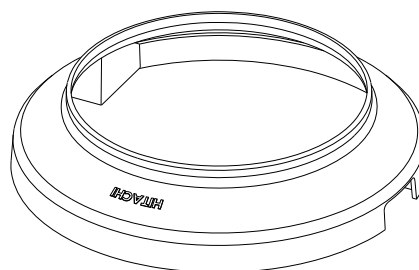
●カメラ本体	HC-IP3000形	1式
●カメラ取付金具		1式
●ケショウカバー		1ヶ
●CD-ROM(取扱説明書 他)		1枚
●取付説明書		1冊



カメラ本体



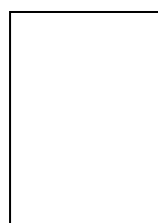
カメラ取付金具



ケショウカバー



CD-ROM (取扱説明書、ソフト等)



取付説明書及び保証書

1.4 取り扱い上のご注意

精密機械です。お取り扱いには十分ご注意ください。お買い上げ後、輸送、移動などをされるときに、落下、衝撃などを与えないで下さい。

PCなどの外部機器との接続作業は、必ず電源を切断した状態で行って下さい。

落雷、誘導雷等の影響を受ける恐れのあるシステムにご使用の場合、機器の損傷を防ぐためにシステム全体として、避雷器等での保護を行って下さい。

弊社はいかなる場合であっても、また不法行為、契約その他のいかなる法的根拠による場合であっても、お客様あるいはその他の方に対し、営業価値の喪失、コンピュータの故障による損害、その他のあらゆる損害・損失等を含め一切の損害・損失に対して責任を負いません。さらに、弊社は、第三者からのいかなるクレームに対しても責任を負いません。

お願い（お客様・工事店様へ）

- **お客様による工事は一切行わないでください**
本装置の設置工事には特別な技術が必要です。
- **本カメラで使用しているレンズ部、スリップリングは消耗品です。**
下記部品は、寿命を目安に交換してください。なお、この寿命は使用環境、使用条件によって変わります。消耗品の交換は、保証期間内であっても有料となります。
レンズ(カメラモジュール)部・・・約 50万動作、IR(カメラモジュール)部・・・約 5 万動作
スリップリング・・・約50万動作、カールフレキ・・・約50万動作
(工場取りでの交換となります)
寿命期間問わず、定期的に保守点検することをおすすめします。
- **水平360° 以上の操作を行っても画質劣化やノイズを解消できない時はスリップリングの寿命が考えられますので、お買い上げの販売店までご連絡ください**
このカメラはエンドレス回転を行うためにスリップリングと呼ばれる部品を使って、電源や信号の伝達を行っています。スリップリングが汚れると水平回転操作時に画質の劣化やノイズが発生することがあります。また、定期的に回転動作を行ってください。

■デジタルズームについて

デジタルズームの倍率が高くなるに従って、画質は低下します。

■オートフォーカスについて

次の条件では、オートフォーカスが正しく動作しない場合があります。

- ・被写体の照度が低すぎる場合
 - －スローシャッター動作時
 - －増幅度が高くなっている時
- ・被写体の照度が高すぎる場合
- ・フレーム内に遠くの物と近くの物が入っている場合
- ・空や壁のように、コントラストの低い場合
- ・細い水平のラインを映した場合

■位置ずれについて

- ・振動、衝撃等により位置がずれることがあります。

位置ずれが発生した場合には、イニシャル動作を実行してください。また振動、衝撃を本機に与えないでください。

- ・静電気等外部からのノイズにより位置ずれが発生する場合があります。ノイズ源を除去した後イニシャル動作を実行してください。
- ・本機は天吊、水平にて取り付けてください。斜めに取り付けた場合、回転動作ができず、位置ずれが発生します。

0℃以下でご使用になる場合のご注意

本機を0℃以下の環境でご使用になる場合には通電状態であることが必要ですが、やむをえず無通電状態で0℃以下の環境に長時間放置後、カメラを起動させる必要がある場合には、起動直後の高速プリセット動作を避け、通電にて数十分間静止させて放置後、高速回転動作を行うようにしてください。

1.5 動作環境

【クライアントPC仕様】

本機で配信するデータで映像を表示するためには、クライアント PC 上で動作するブラウザと映像表示用 ISnex Viewer が動作する必要があります。

このために、以下の条件を満足するクライアント PC をご用意下さい。

＜ハードウェア仕様＞

項 目	内 容
コンピュータ本体	IBM PC-AT 互換機 (日本電気製 PC-98、アップル社製 Mac などとは使用できません。)
CPU	Pentium4 (3.2GHz 以上) ただし H.264 を使用する場合は下記の CPU 仕様を推奨します。 (1 画面表示) Intel Core2 Duo 2.6GHz 以上 (4 画面表示) Intel Core2 Extreme 2.6GHz 以上
メモリ	1Gbyte 以上
グラフィック	XGA(1024×768)以上 かつ HighColor(16ビット)以上
HDD	100MB 以上の空き
Ethernet	10BASE-T もしくは 100BASE-TX

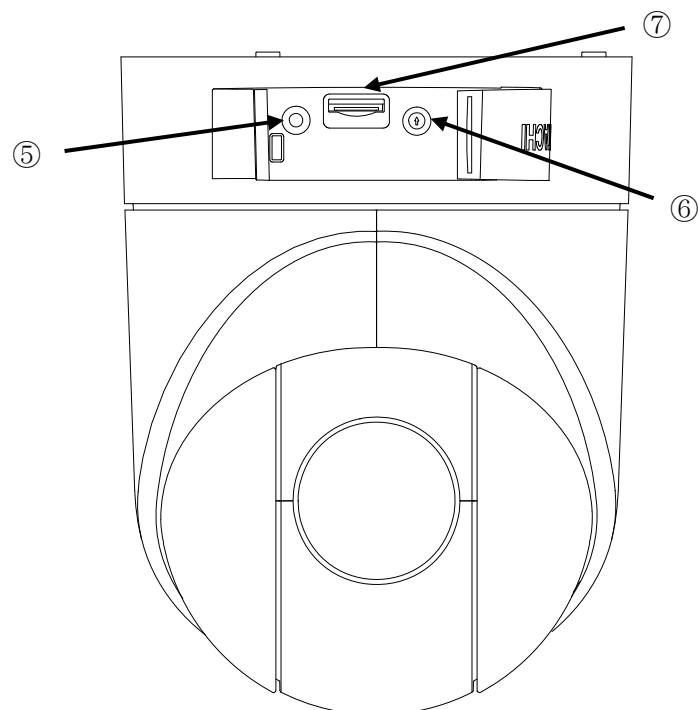
＜ソフトウェア仕様＞

項 目	内 容	備 考
OS	Windows XP Home Edition SP2 Windows Vista SP1	標準構成での導入のみ Linux,Mac などの OS では使用できません。
ブラウザ	Internet Explorer 6.0、7.0	Netscape 製 Communicator には対応していません。

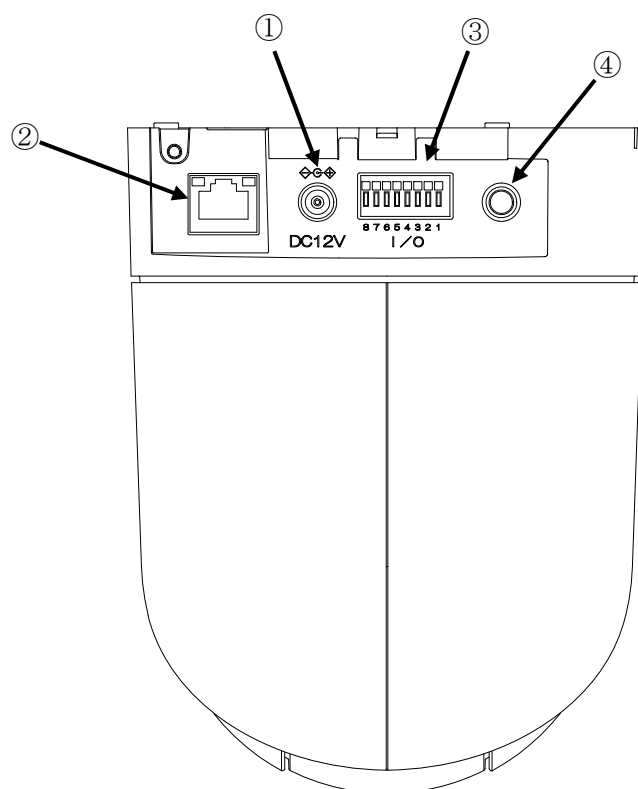
注:これらの条件は目安です。動作性能を保証するものではありませんのでご了承下さい。

1. 6 各部の名称と機能

前面



後面



- ① 電源 DC12V 電源入力端子(専用 AC アダプタ及び中継ケーブルをご使用下さい。)



- ①DC 入力コード DC12V に入力します。

- ② LAN コネクタ Ethernet ケーブルを使用して 10BASE-T/100BASE-TX のネットワーク機器と接続します。(RJ-45 モジュージャック)
PoE 対応の LAN コネクタです。
LAN コネクタ側部の LED は、LAN の動作状態を示します。

LK	Ethernet 信号のリンク状態を表示。点灯時は正常動作中。 点滅時はデータ送受信中
SP	100BASE-TX 接続時、点灯。10BASE-T 接続時、消灯。

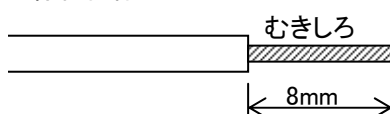


PoE を使用する場合には、STPタイプのLANケーブルは使用しないで下さい。
カメラ筐体を絶縁願います。

- ③ 接点入出力(1～4)、音声入出力(5～8)

端子番号	機能名称	機能
1	PIO IN	接点入力(無電圧メーク接点入力)
2	COMMON	接地
3	PIO OUT	接点出力(オープンコレクタ出力)
4	COMMON	接地
5	LINE OUT	音声 LINE 出力(1Vp-p/22Ω 不平衡)
6	COMMON	接地
7	COMMON	接地
8	MIC IN	音声マイク入力(-60dBV)

線材仕様: 24～20AWG



【接点(PIO)仕様】

<接点入力(I)>

OFF: オープン

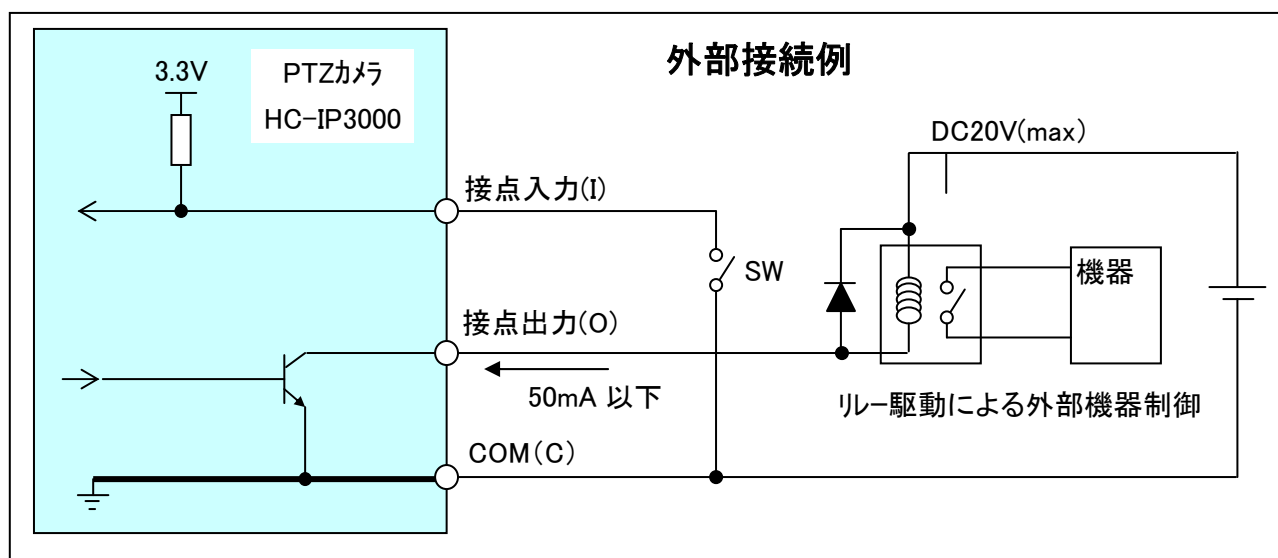
ON: GNDとのメーク接点

(注)接点入力時のパルス幅は約 300ms 以上としてください。

<接点出力(O)>

OPEN: オープンコレクタ出力、オープン。外部からの最大印加電圧(DC20V)

CLOSE: GNDとのメーク出力 (50mA以下)



外部機器との接続は定格を超えないよう設置してください。

④ モニタ出力端子

調整用のモニタ出力端子です。

(φ3.5mm ミニジャック)

ミニジャックをピンジャック(RCA 端子)に変換するには変換プラグをご使用ください。

推奨変換プラグ:PC-221M(SONY 製)

⑤ AUTO IP/Ethernet(手動)

ロータリーSW が“1”～“B”の時は、AUTO IP によって IP アドレスが自動的に割り当てられます。また“C”～“F”の時は、Ethernet を手動設定することができます。“C”～“F”以外の時は、AUTO となります。(詳細は「AUTO IP、Ethernet(手動)の設定」を参照ください)

⑥ 初期化スイッチ

初期設定を行うことにより、工場出荷時と同じ設定に戻すことができます。

(ただし、プリセットポジションの内容は初期化されません)

⑦ サービス用のため使用できません。

第2章 本製品の設置及び設定

2.1 設置上のお願い

お願い(お客様へ)

お客様による設置工事は一切行なわないでください。

- 本機の設置工事には特別な技術が必要です。



警告

- 必ず落下防止用ワイヤーを取付けてください。
- 電源を切って作業してください。

お願い(販売店・工事店様へ)

- 設置工事は電気設備技術基準に従って安全に実施してください。
- お客様の安全のため取付場所は、カメラ取付け時の総重量や振動等に十分耐えられる強度があることを確認してから、設置工事をお願いします。
- 高所作業時には、物品の落下なども含め安全性を確保して実施してください。
- 本機器は、屋内用カメラですので屋外では使用できません。
- 下記のような場所には設置しないでください。
 - ・降雨により水滴のかかる場所(軒下なども含む)。
 - ・薬品を使用する場所。
 - ・蒸気、油分の多い場所。
 - ・振動がある場所。
 - ・放射線、X線、強力な電波や磁気の発生する場所。
 - ・腐食性ガスなどが発生する場所。
 - ・海上、海岸などの塩害の発生する場所。
 - ・急激な温度変化(喚起ダクトなど)や、湿気、ほこりの多い場所。
 - ・長時間直射日光のあたる場所。
 - ・カメラ本体の梁、鉄筋、他のケーブル類に接触する場所。
- 設置前に必ず「設置上のお願い」、「機器の取付け」、「安全にお使いいただくために」をお読みください。
- 設置する天井の設置面の強度を確保してください。
- 強度の弱い部材(石膏ボードや板材など)には取り付けしないでください。
やむを得ない場合には、十分な補強を行い安全に配慮してから取り付けてください。
- ネジ、落下防止用ワイヤーは確実に取り付けてください。

- LANケーブル、電源ケーブルなどの配線類の巻き込みなどに気をつけて取り付けてください。
- 天吊で設置してください。正立、傾けての設置はしないでください。故障の原因になります。
天吊 $\pm 5^{\circ}$ 以内としてください。また $\pm 5^{\circ}$ 以内の傾きがある場合、映像もそれに応じて傾くことに注意してください。
- カメラ取付金具を取付けるネジ(別売)は、取付ける場所の材質、環境に合わせてご用意ください。
木ネジ、釘、カメラ取付金具に合わないネジは使用しないでください。取り付け場所のネジ引抜強度は1本あたり400N以上必要ですので、事前にご確認ください。
- 他のシステムに影響しないようにブレーカ、漏電遮断器を設けてください。
- 金属のエッジで手をこすらないでください。けがの原因になります。
- 振動のある場所には設置しないでください。故障の原因になります。
- 熱がこもる場所に設置しないでください。通風穴等を設けてください。
- エアコンの吹き出し口近くなど、急激に温度が変化するところに設置しないでください。
レンズの曇り、結露となります。

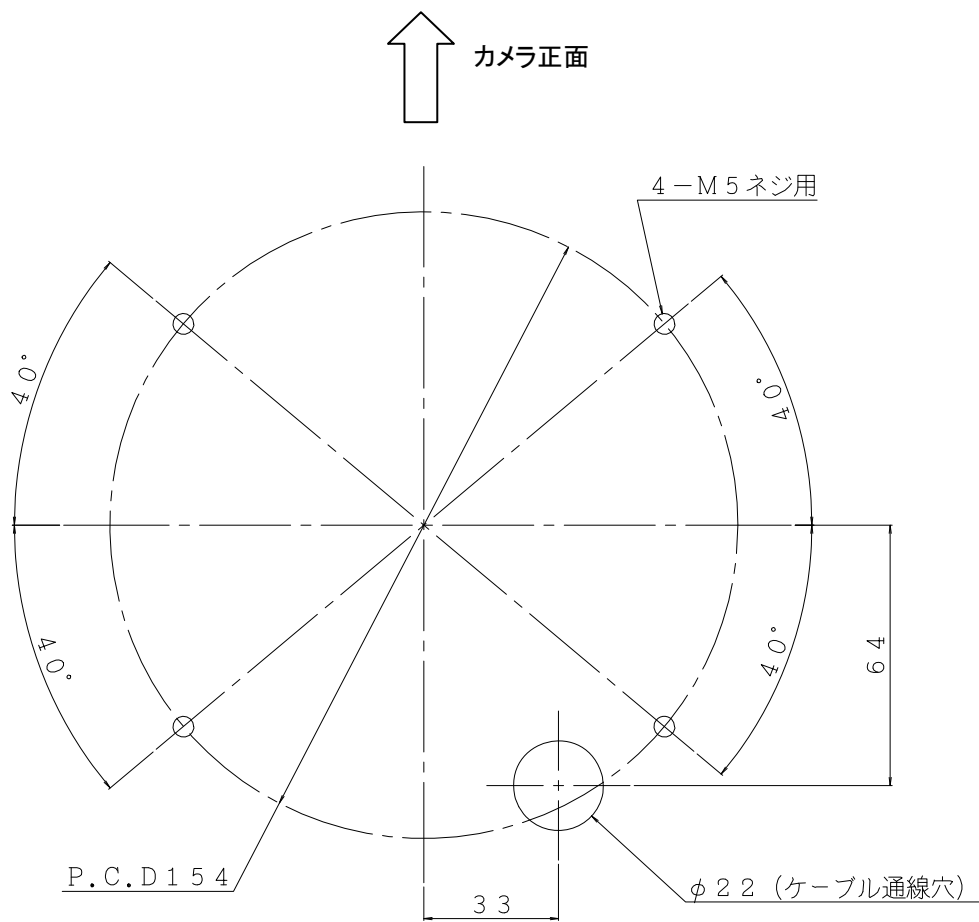
2.2 機器の取付け

取付作業を始める前に、カメラの天井取付位置、天井の強度、配線廻りを確認してからカメラ取付金具を取りつけてください。

(1) カメラ取付金具の設置方法

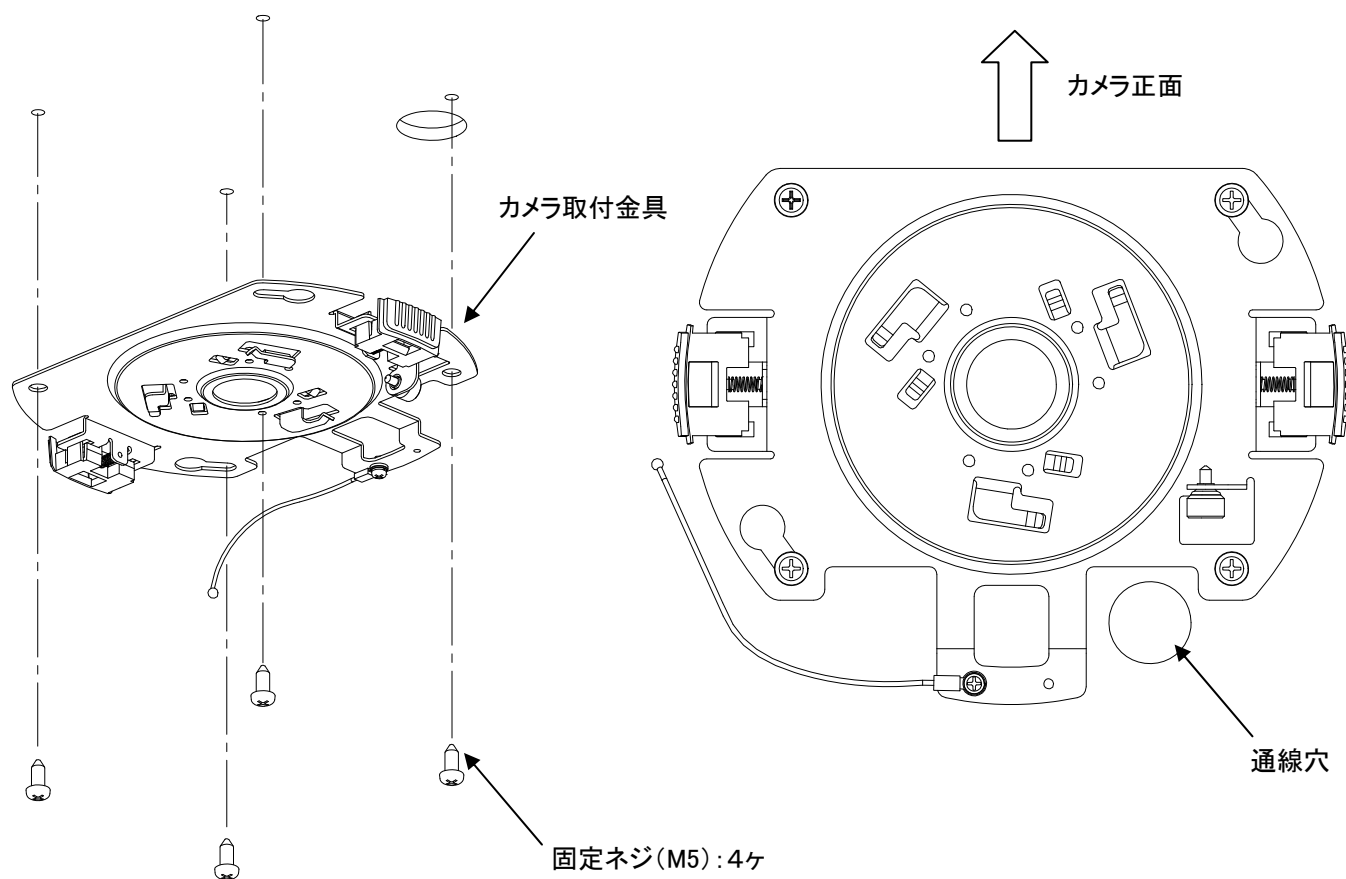
取り付ける天井に取付け穴を開けて、付属のカメラ取付金具を天井に固定します。

カメラの正面方向に気をつけて穴を開けてください。



HC-IP3000 取付け穴

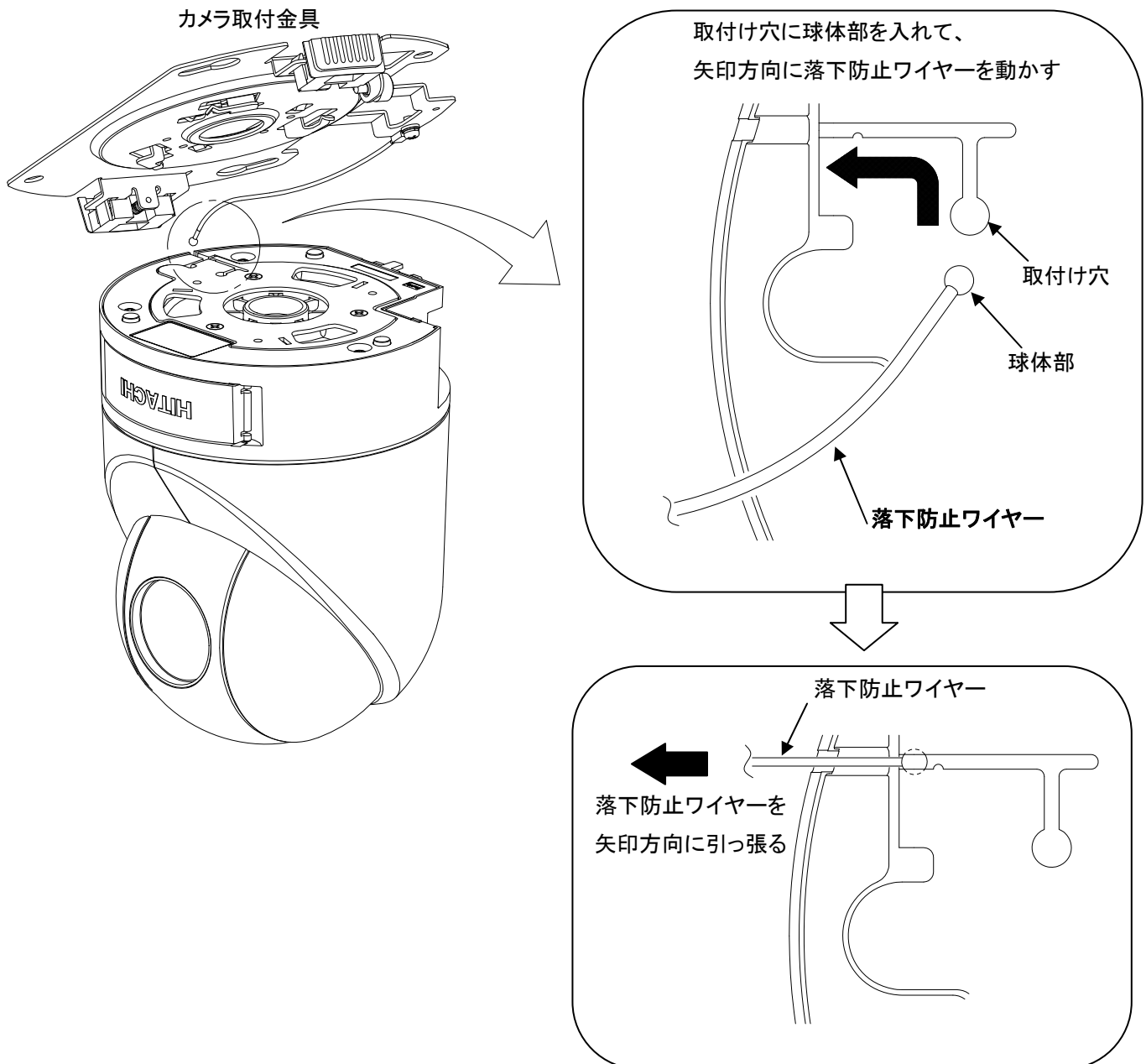
この取付け穴に合わせて、カメラ取付金具をネジでしっかり固定します。使用するネジは M5 サイズ (別売) です。
カメラの正面方向に合わせてカメラ取付金具を設置してください。



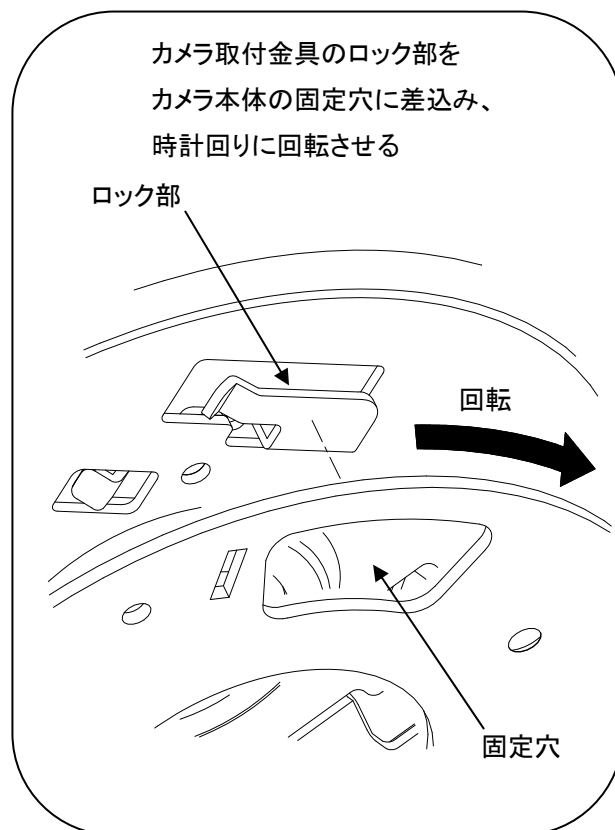
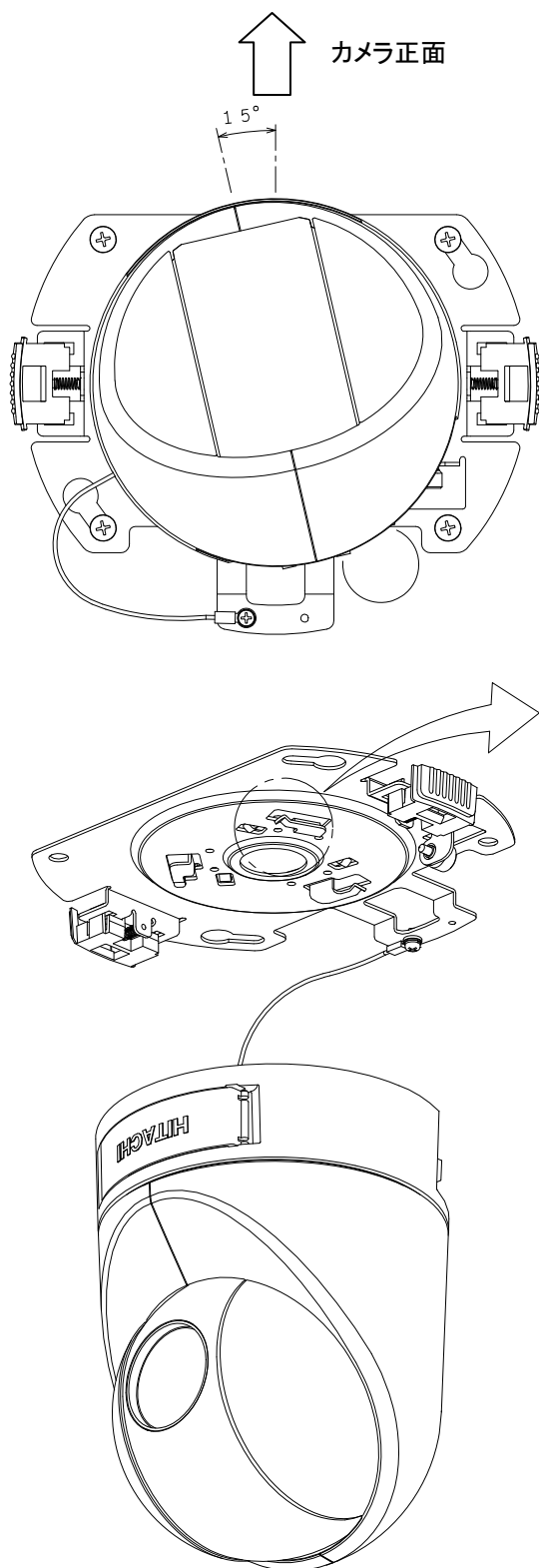
(2) カメラ本体の取り付け

(i) カメラ取付金具より出ている落下防止ワイヤーの先端部の球体をカメラ本体の取付け穴に入れて、落下防止ワイヤーを取付けてください。

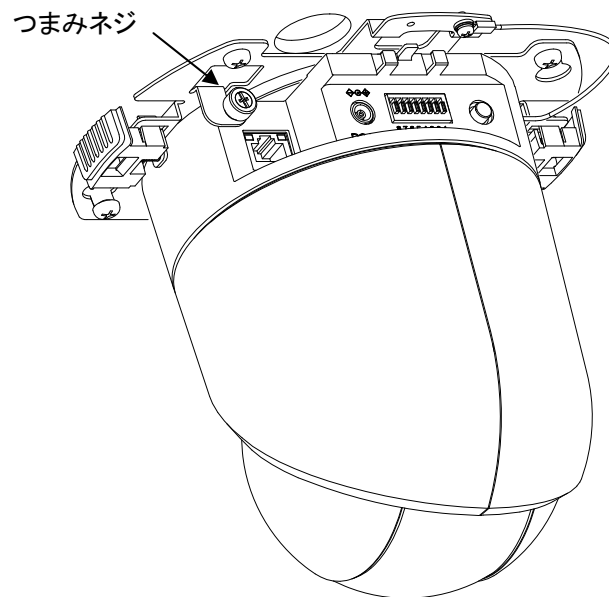
取付け後、落下防止ワイヤーを引っ張り、先端部の球体が抜け不掉を確認してください。



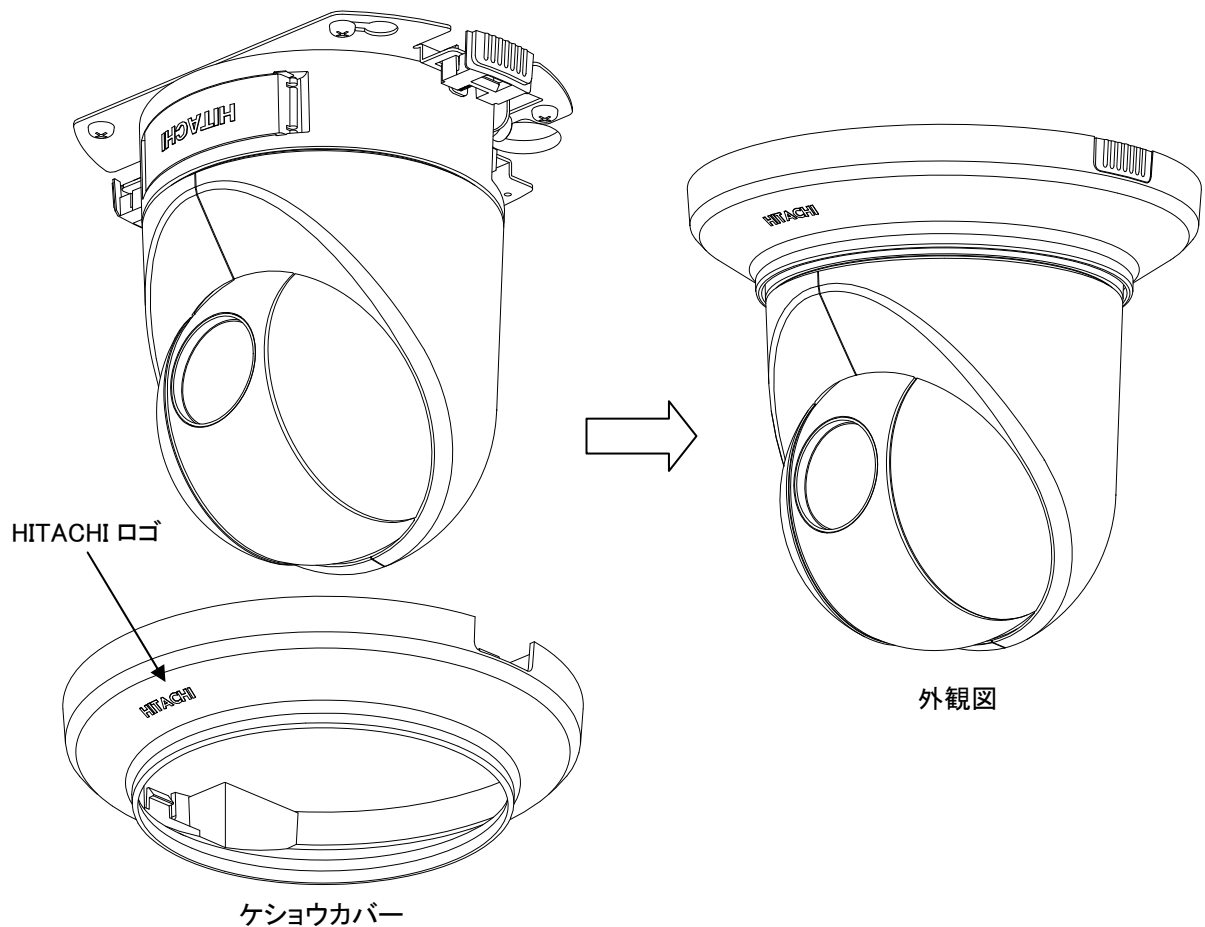
- (ii) カメラ本体をカメラ取付金具の正面方向に対し、約 15° 向きにし、カメラ本体の中心とカメラ取付金具の中心を合わせて、カメラ本体をカメラ取付金具に押し付けながら、時計回りに回転させてください。



(iii) カメラ取付金具の後ろについているつまみネジを回して、カメラ本体をロックしてください。



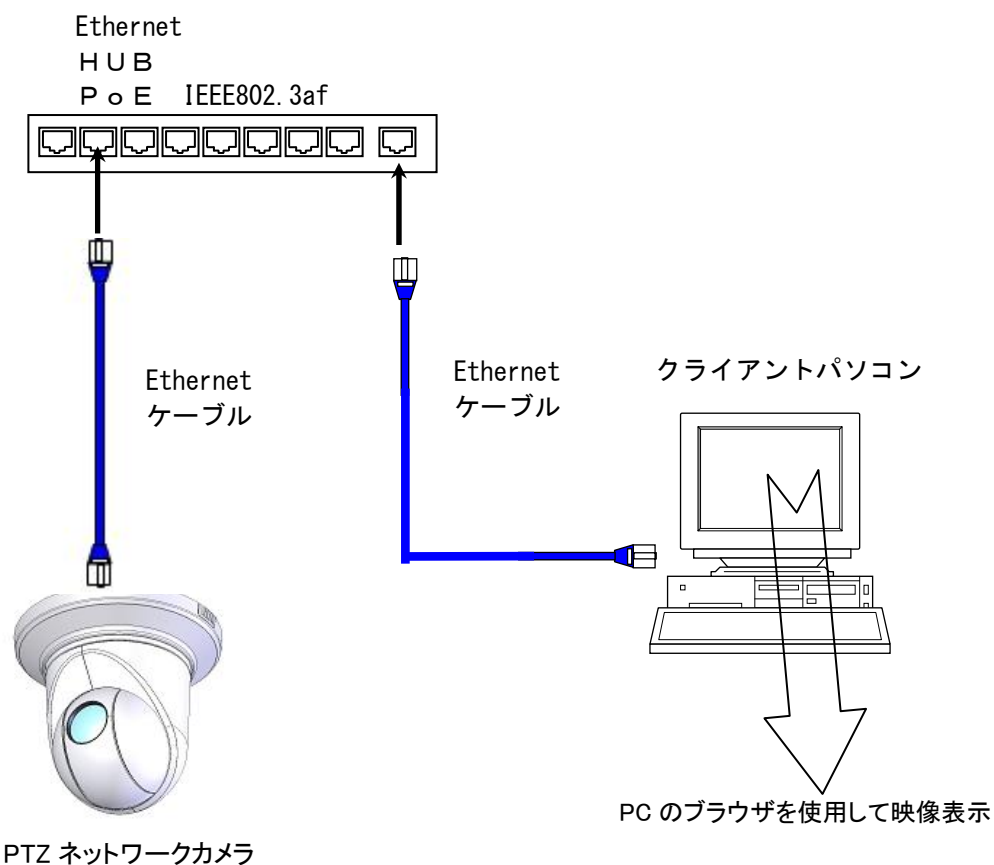
(iv) ケーブル接続後、ケショウカバーをカメラ取付金具に押し付けて、カメラ取付金具の両側がロックされていることを確認してください。ケショウカバーの「HITACHI ロゴ」がカメラ正面になるように取り付けてください。
(注: ケショウカバー取り付け後、ケショウカバーを手で軽く引っ張り取れないことを確認してください。)



2.3 機器の接続

HC-IP3000形 PTZ ネットワークカメラの映像を表示するための基本設定方法を説明します。

操作方法・ライブ映像表示方法等については、「第3章 基本操作及び詳細設定」を参照してください。



HC-IP3000 のネットワーク設定

IP アドレス	192.168.1.100	(初期アドレス)
サブネットマスク	255.255.255.0	
HTTP ポート番号	80	

PC のネットワーク設定

プロトコル	TCP/IP	
IP アドレス	192.168.1.10	(例)
サブネットマスク	255.255.255.0	
プロキシ	使用しない	

PC に ISnex Viewer をインストールします。



付属の CD-ROM

<準備するもの>

①クライアントPC : 1台

ネットワークカメラの設定を行ないます。

1.5 項の仕様を満たすPCをご用意ください。

②Ethernet HUB: 1台

2ポート以上の10BASE-T、又は100BASE-TX対応、PoE IEEE802.3af 準拠のHUB

(リピータHUBもしくはスイッチングHUB)

推奨HUB: Apresia 3424GT-POE(日立電線)

③Ethernetケーブル(ストレート) : 2本

10BASE-Tを使用する場合はカテゴリ-3以上、

100BASE-TXを使用する場合はカテゴリ-5e以上のUTPケーブルをご使用ください。

④PTZ ネットワークカメラ HC-IP3000 : 1台(本製品)

<機器の接続>

FROM	TO	使用ケーブル
HC-IP3000 LAN コネクタ	Ethernet HUB の LAN コネクタ	Ethernet ケーブル(ストレート)
Ethernet HUB の LAN コネクタ	クライアント PC の LAN コネクタ	Ethernet ケーブル(ストレート)

注)PoE 使用の場合は HUB 側の差込場所を確認してください。

<機器の電源投入>

各機器の電源を投入します。

ネットワークカメラは電源スイッチがありません、ケーブル接続後、PoE HUB電源投入時点で電源投入になります。十数秒後に正常動作します。

(電源はカメラ側 LAN コネクタの LED 通電でご確認ください)

<映像表示設定手順の概要>

以下、下記の手順に従って設定します。

- ・クライアント PC のネットワーク設定(2.4 参照)
- ・クライアント PC からネットワークカメラへの接続(2.5 参照)
- ・映像表示用ソフト(ISnex Viewer)のインストール(2.6 参照)

2. 4 クライアントPCのネットワーク設定

出荷時のネットワークカメラ本体のネットワーク初期設定は、下記となっています。

IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
HTTP ポート番号	80

* AUTO IP 機能用のロータリースイッチ(「1.6 各部の名称と機能」参照)が“0”になっていることを確認ください。

“0”以外の場合は、“0”に設定ください。

クライアントPC のネットワーク設定を、ネットワークカメラ本体のネットワーク設定に合わせて変更します。

プロトコル	TCP/IP
IP アドレス	192.168.1.XX
サブネットマスク	255.255.255.0
プロキシ	使用しない

XX: 100 以外。(例) 192.168.1.10

クライアントPC のネットワーク設定の手順は、WINDOWS の OS の種類により異なりますので、使用しているパソコンの「ヘルプ」などを参考にして、設定を行って下さい。ネットワーク設定を変更すると、WINDOWS の再起動が必要になる場合があります。

・AUTO IP、Ethernet(手動)の設定

カバー内部のロータリーSW を 0 以外に設定後、電源を投入することで、本装置を下記表のような IP アドレスに設定できます。また SW(C)～SW(F)にて Ethernet を下記表のように固定することができます。



ロータリースイッチ	IP アドレス	Ethernet
0	-	AUTO
1	192.168.1.31	AUTO
2	192.168.1.32	AUTO
3	192.168.1.33	AUTO
4	192.168.1.34	AUTO
5	192.168.1.35	AUTO
6	192.168.1.36	AUTO
7	192.168.1.37	AUTO
8	192.168.1.38	AUTO
9	192.168.1.39	AUTO
A	192.168.1.40	AUTO
B	192.168.1.41	AUTO
C	-	10 BASE-T FULL
D	-	10 BASE-T HALF
E	-	100BASE-TX FULL
F	-	100BASE-TX HALF

* 注意

Ethernet(手動)を設定して使用される場合は、接続先(クライアントPC)の Ethernet 設定も本装置の設定と同じにしてください。

2.5 クライアントPCからネットワークカメラの接続

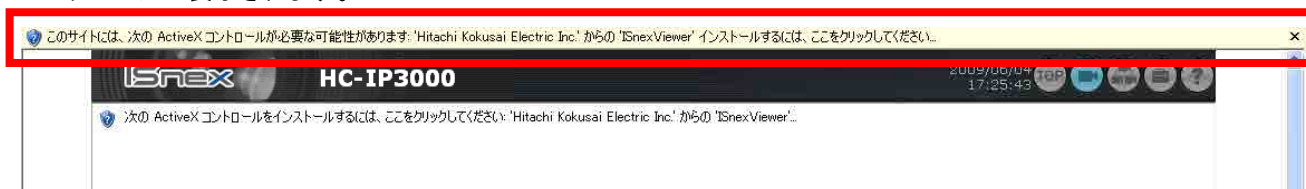
クライアントPCのWEBブラウザを起動します。

WEBブラウザのアドレス入力テキストボックスに、本機のIPアドレスを入力し(アドレス [HTTP://192.168.1.100/](http://192.168.1.100/))、
「移動」を選択すると、下記のホームページが表示されます。

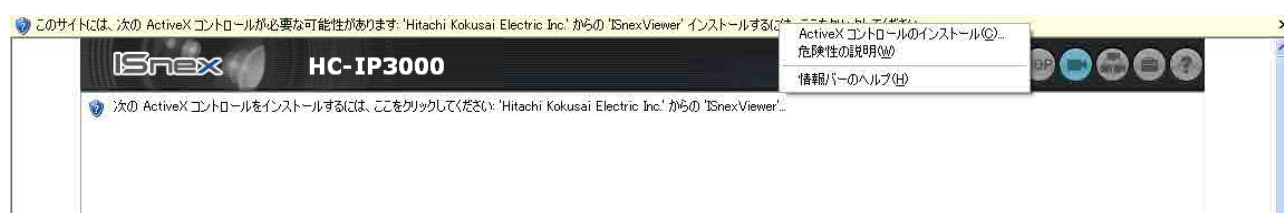


2. 6 映像表示用ソフトのインストール

ホームページの「ライブ映像表示」をクリックすると、映像表示用ソフト ISnex Viewer をインストールするためのメッセージが表示されます。



画面上部の情報バーをクリックしてメニューを表示、「ActiveXコントロールのインストール(C)」を選択します。

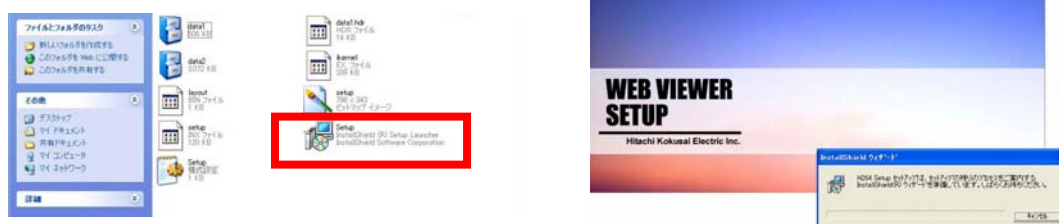


セキュリティの警告ダイアログが表示されますので「インストールする(I)」を選択します。

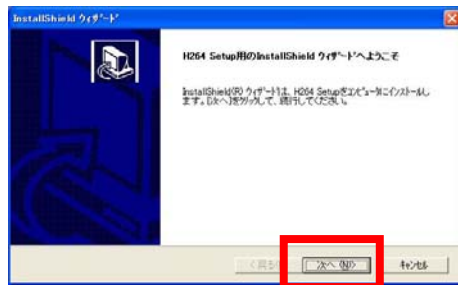


インストールすると、JPEG のライブ映像が表示されます。

H.264/MPEG-4 映像を表示する場合は、ISnex Viewer のインストール後、H264Setup をインストールします。
CD-ROM 内の「H264Setup」フォルダ内の「Setup.exe」を実行して下さい。
「H264Setup」フォルダにある「Setup」をダブルクリックして実行します。
インストーラーが起動します。



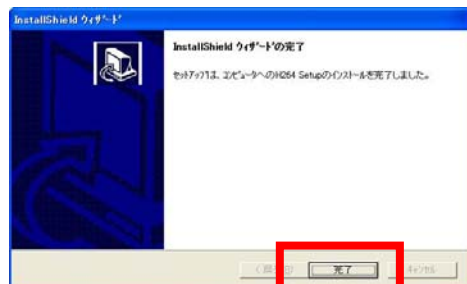
「次へ」をクリックします。



「はい」をクリックすると、インストールが開始されます。



「完了」をクリックします。



以上で ISnecViewer のインストールは完了です。

Internet Explorer のセキュリティ設定、ウイルス対策プログラムに付属しているファイアウォール、Windows XP ServicePack2 のファイアウォールなどによるダウンロード制限が設定されているとインストールに失敗する可能性があります、設定を変更してください。

2.7 運用するネットワークに合わせたネットワークカメラの設定変更

運用するネットワークに接続するためには、ネットワーク管理者により決められた IP アドレスに変更する必要があります。

「トップ」画面から、「設定」-「ネットワーク」-「基本設定」画面を選択します。

このとき管理者認証用のメニューが表示されます。ユーザ名とパスワードを入力して下さい。

ユーザ名 (半角英字)	root
パスワードの初期値 (半角英字)	admin



新しいネットワークの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力し、設定ボタンを押すと、新しい設定に変更されます。

これらの設定を変更すると再度ネットワークカメラに接続するためには、通常、クライアント PC のネットワークの設定を変更する必要があります。

2.8 万一、本機のIPアドレスがわからなくなった場合

万一、本機のIPアドレスが分からなくなった場合、次の方法で設定することができます。

(注: AUTO IP 設定時以外)

①ArpPing 機能が有効になっている場合

⇒ArpPing 機能により、目的の IP アドレスに設定することができます。

ネットワーク(基本情報)ページで、ArpPing 機能が有効になっている場合には、

ArpPing 機能に記載の方法で、目的の IP アドレスに変更することができます。

本機の MAC アドレスは、スイッチカバー内部に記述されています。

②初期化スイッチによる場合

⇒初期化スイッチを押しながら電源を ON します。

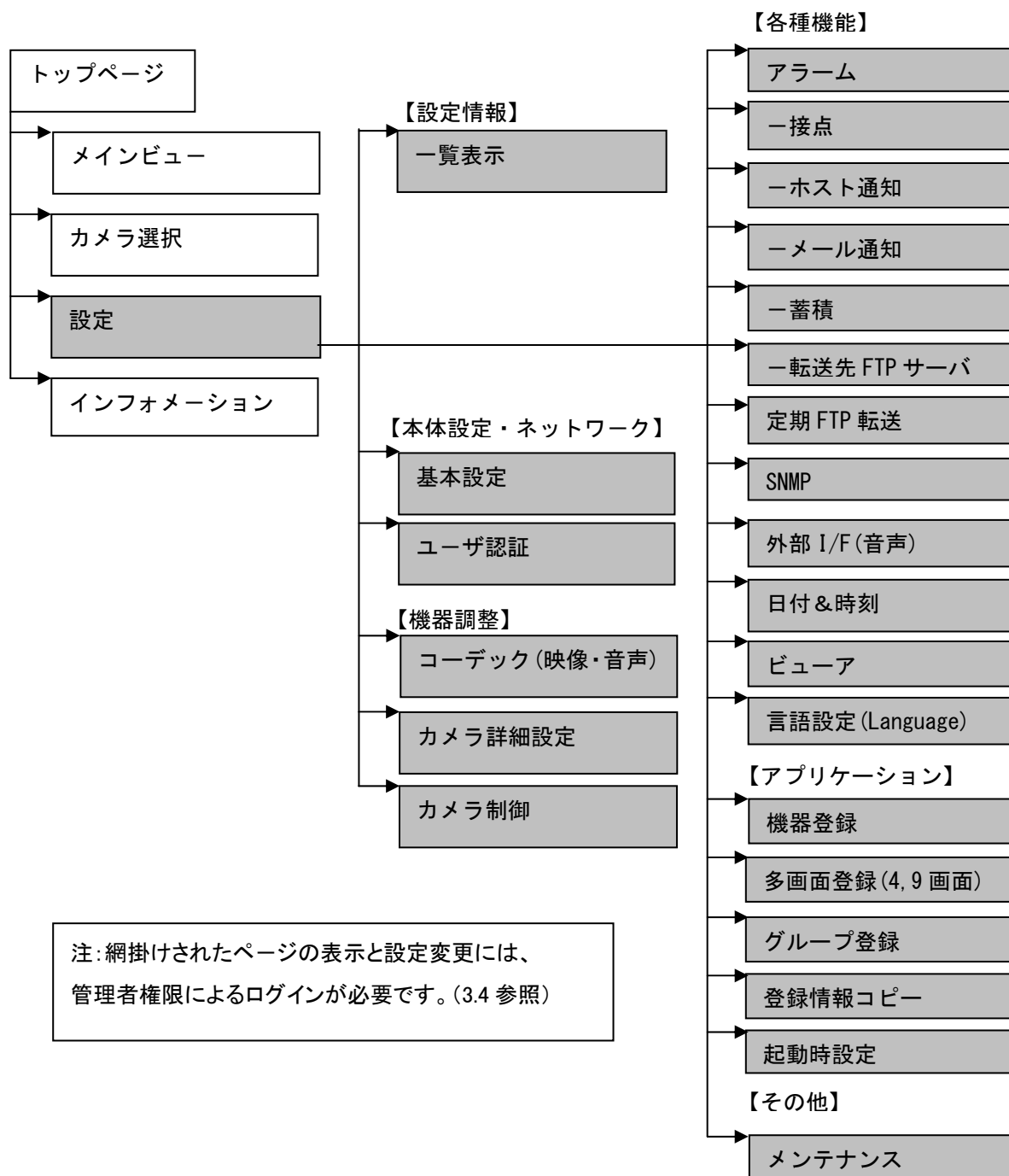
注) 電源を ON してから約3～5秒ほど押し続けてください。また長時間(約10秒以上)押し続けしないでください。正常に動作しなくなる可能性があります。



初期化中は電源を切らないでください。正常に動作しなくなる可能性があります。
万一、正常に動作しなくなった場合は、弊社サービスへご連絡ください。

第3章 基本操作及び詳細設定

本製品の映像監視、及び詳細設定は、下図のホームページの各メニューにより行います。



3. 1 トップページ

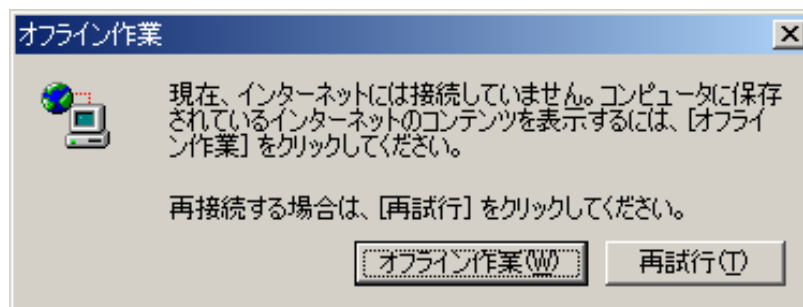
ネットワークカメラのブラウザ画面のトップページです。

目的のメニュー項目をクリックして下さい。



(注)お使いのパソコンで初めて映像を表示させるためには、ISnexus Viewer をインストールしていただく必要があります(映像表示用ソフトのインストールの項(2.6)を参照して下さい)。

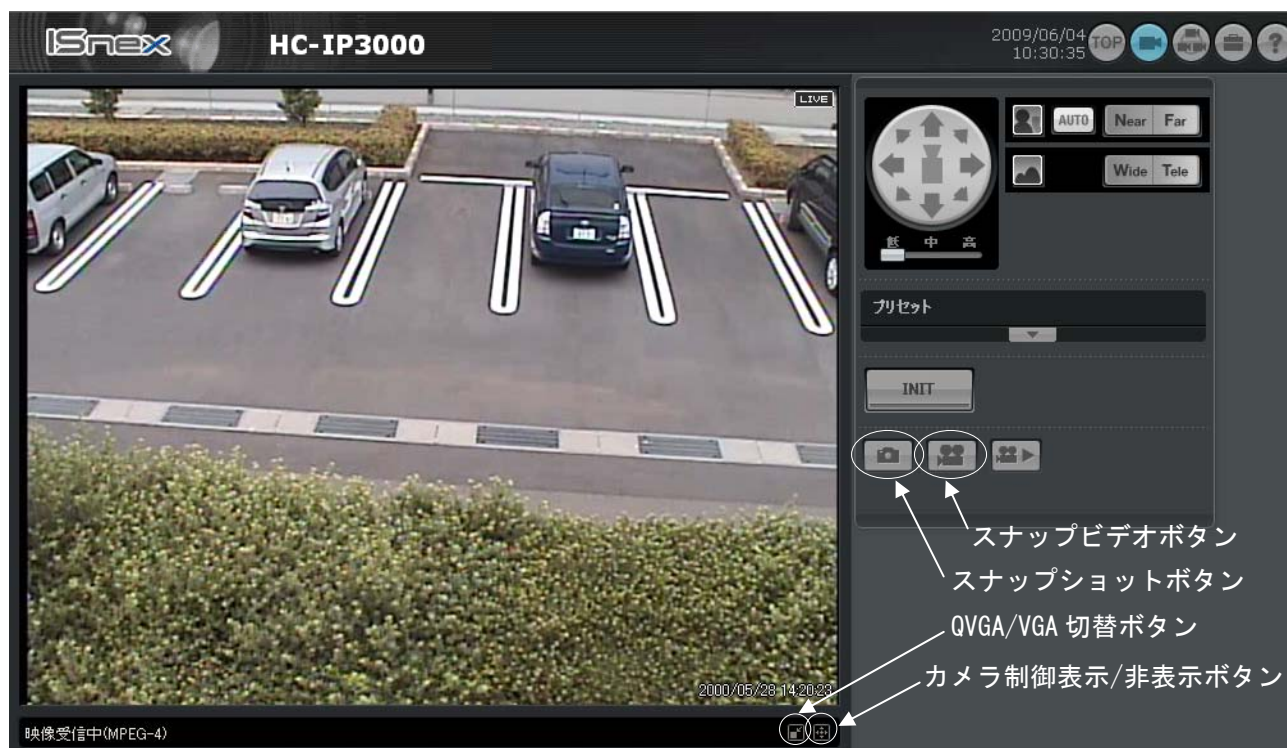
(注)お使いの環境によっては、ブラウザ起動時に、



というメッセージが表示される場合があります。「再試行」をクリックして下さい。

3.2 メインビュー

カメラの映像を見ることができます。



- ・ 表示される映像は、640×480 サイズです。
- ・ 映像下部の  ボタンをクリックすると、320×240 サイズの映像が表示されます。
320×240 サイズ表示時に映像下部の  ボタンをクリックすると、640×480 サイズの映像表示に戻ります。
- ・ 映像下部の  ボタンをクリックすると、カメラ制御画面が非表示になります。再度  ボタンをクリックすると、カメラ制御画面が表示に戻ります。
- ・ 「ビューア」(「3.4.17 [本体設定]-[各種機能]ビューア」をご参照ください)で、「スナップショット」機能を有効にすると、映像右側にカメラマークのボタンが表示されます。
このボタンを押すことで、静止画像を取り込むことができます。
- ・ 「ビューア」(「3.4.17 [本体設定]-[各種機能]ビューア」をご参照ください)で、「スナップビデオ」機能を有効にすると、映像右側にビデオカメラマークのボタンが表示されます。
このボタンを押すことで、動画画像を取り込むことができます。

(注) ネットワークカメラがカメラ番号 1 以外のカメラ映像を送信している場合には、カメラ番号 1 の映像に切り替わります。

(注) 内蔵カメラの特性上、画面両端に黒いラインが表示されます。

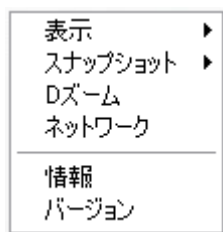
映像下部には、現在のステータスが表示されます。表示されるステータスを、以下に示します。

メッセージ	内容
接続中	ネットワークカメラへの接続を行っています。
切断中	ネットワークカメラへ終了処理を行っています。
映像受信(H.264)	H.264 映像を受信しています。
映像受信(MPEG-4)	MPEG-4 映像を受信しています。
映像受信(JPEG)	JPEG 映像を受信しています。
記録映像受信(H.264)	H.264 記録映像を受信しています。
記録映像受信(MPEG-4)	MPEG-4 記録映像を受信しています。
記録映像受信(JPEG)	JPEG 記録映像を受信しています。
マルチキャスト受信(H.264)	H.264 マルチキャスト映像を受信しています。
マルチキャスト受信(MPEG-4)	MPEG-4 マルチキャスト映像を受信しています。
マルチキャスト受信(JPEG)	JPEG マルチキャスト映像を受信しています。
映像入力がありません	内蔵カメラの映像出力がありません。
接続権無し	映像を閲覧するための権限がありません。
接続ユーザ数が多いため接続できません	一度にネットワークカメラへ接続可能なユーザ数を超えて接続しようとしています。最大接続ユーザ数は 10 です。
カメラに接続できません	ネットワークカメラへの接続に失敗しました。ネットワークの設定が正しくないか、ネットワークが混雑しています。ネットワークの設定を確認して再接続して下さい。
記録装置に接続できません	記録装置への接続に失敗しました。ネットワークの設定が正しくないか、ネットワークが混雑しています。ネットワークの設定を確認して再接続して下さい。
デコーダに接続できません	デコーダへの接続に失敗しました。ネットワークの設定が正しくないか、ネットワークが混雑しています。ネットワークの設定を確認して再接続して下さい。
カメラから切断されました	ネットワークカメラ側から接続が切断されました。しばらくして、再接続して下さい。
記録装置から切断されました	記録装置側から接続が切断されました。しばらくして、再接続して下さい。
デコーダから切断されました	デコーダ側から接続が切断されました。しばらくして、再接続して下さい。
エラーが発生しました	エラーが発生しました
管理者が設定中です	管理者がネットワークカメラの設定を変更しています。このメッセージが表示している間、ユーザはカメラ制御することができません。
JPEG モードに設定して下さい	映像の設定が MPEG-4/H.264 モードになっており、JPEG 再生できません。「コーデック(映像・音声)」を参照下さい。
MPEG-4 モードに設定して下さい	映像の設定が JPEG/H.264 モードになっており、MPEG-4 再生できません。「コーデック(映像・音声)」を参照下さい。
H.264 モードに設定して下さい	映像の設定が JPEG/MPEG-4 モードになっており、H.264 再生できません。「コーデック(映像・音声)」を参照下さい。
H.264 モジュールがインストールされていません。	H.264 モジュールのセットアップされていない状態で H.264 映像表示をしようとした。付属 CD-ROM からセットアップを実行してください。
MPEG-4 モジュールがインストールされていません。	MPEG-4 モジュールのセットアップされていない状態で H.264 映像表示をしようとした。付属 CD-ROM からセットアップを実行してください。

検索中です。しばらくお待ちください。	映像を検索中です。
該当無し。最寄に JUMP しました。	映像を検索した結果該当する映像が記録されていないので最寄の映像を表示します。
記録装置が設定されていません。	記録装置の設定されていないカメラで記録映像の検索を行いました。
ライブ映像がありません。	録画装置経由でライブ映像を受信する設定のときに、録画装置がライブ映像を配信していません。
録画映像がありません。	録画装置が設定されたカメラで録画データがないときに表示されます。

・ バージョン情報等の表示

画像表示領域にマウスを移動し、右クリックすると「情報表示メニュー」が表示されます。



目的の項目を選択して下さい。

①情報



画像情報を表示します

name	本機の名称を表示します。
ip	本機の IP アドレスを表示します。
codec	圧縮方式を表示します
src	配信画像のサイズを表示します
status	映像の受信状態を示します。
draw	描画方法を表示します。

②バージョン



ISnex Viewer のバージョン情報を表示します

ネットワークカメラのバージョンは、インフォメーションページから確認できます

③表示

<単画面表示の操作>

「最大化」をクリックすることで、ライブ映像をディスプレイ全体に表示します。また、映像エリアをダブルクリックすることで同様の動作を行います。表示サイズを元に戻すには、右クリックで「情報表示メニュー」を表示し、「表示」-「標準画面」をクリックします。又は、映像エリアをダブルクリックすることで標準画面へと戻ります。

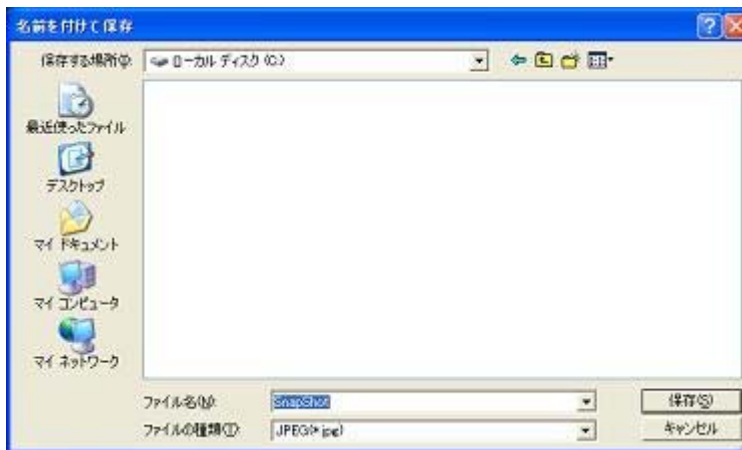
(注意)全画面表示の場合、CPU の使用率が高くなりフレーム落ちが発生することがあります。

・ スナップショット

表示している映像を静止画像として、パソコンに保存します。

①  をクリックします。

② ダイアログが表示されます。保存するフォルダを選択し、ファイル名を指定します。



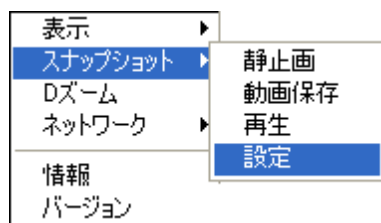
③ [保存]をクリックします。

- ・ スナップビデオ

[スナップビデオ設定]

動画ファイルの保存先、保存時間、JPEG 保存レートを設定します。

① 右クリックメニューより[スナップショット]→[設定]を選択します。



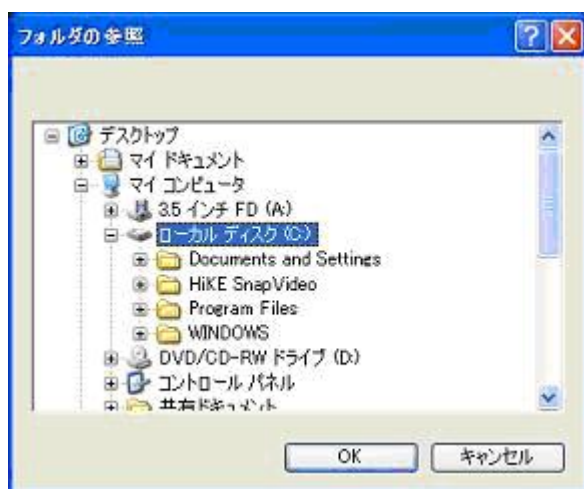
② ダイアログが表示されます。



③ 参照をクリックして動画ファイルの保存先を指定します。

保存するフォルダを選択して[OK]をクリックします。

*保存先の初期設定は「C:\HiKE SnapVideo」になっています。



④ 保存する動画の保存時間を設定します。

*初期値は 30 秒になっています。

⑤ 映像のコーデックが JPEG の場合の保存レートを設定します。

*初期値は 5fps になっています。

⑥ [OK]をクリックして設定完了です。

[スナップビデオ保存]

表示している映像を動画ファイルとして、パソコンに保存します。

- ①  をクリックします。
- ② 保存が開始すると、 ボタンが青くなります。
- ③ 設定した保存時間をすぎるか、 をクリックすると保存が終了し、 に戻ります。

[スナップビデオ再生]

保存した動画ファイルを、再生します。

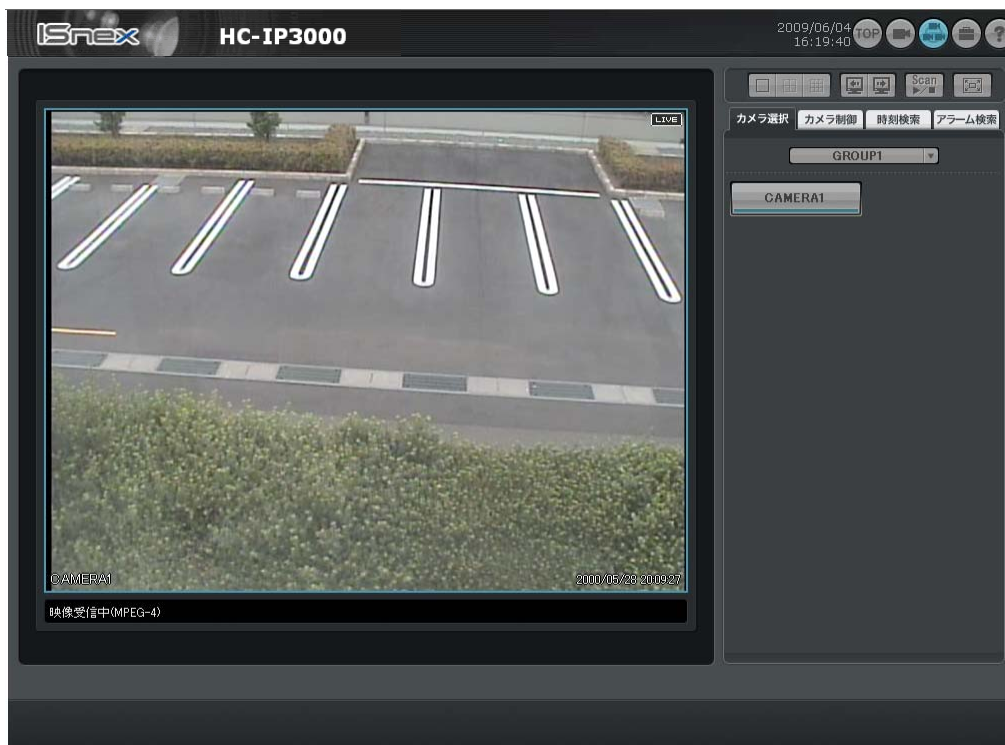
- ①  をクリックします。
- ② ダイアログが表示されます。保存した動画ファイル(hvs ファイル)を選択します。
[開く]をクリックすると再生を開始します。



- ③ 再生中は、 ボタンが青くなります。
- ④ 再生を停止するときは、 をクリックします。

3.3 カメラ選択

監視システムとして登録されたカメラ(ネットワークカメラ、またはエンコーダ)の映像を選択するためのページです。



- ・各カメラの映像を見るには、各カメラ名称ボタンをクリックして下さい。(上記画面では CAMERA1 ボタンをクリック)

[カメラ選択(1 画面選択)]

「機器登録」(「3.4.19 [アプリケーション]機器登録」をご参照ください)ページで登録したカメラを選択して表示します。

[4/9 画面選択]

「多画面登録」(「3.4.19 [アプリケーション]多画面登録(4,9 画面)」をご参照ください)ページで登録した、4/9 画面パターンを選択して表示します。



(注) 4/9 画面表示を行うと、受信しているデータ量、ネットワークの帯域、PC の性能等により、表示枚数が少なくなる事があります。

3. 4 設定

ネットワークカメラの各種設定を行うためのページです。
設定を行うためには管理者権限でのログインが必要です

- ・**設定**: リンクをクリックすると、管理者ログインがされていない場合にはログインウィンドウが表示されます。



ユーザ名とパスワードを入力して下さい。

(工場出荷時のユーザ名は(半角英字)“root”, パスワードは(半角英字)“admin”です)

管理者がログインしている間は、他のユーザは設定ページを表示することはできません。

(注)なお、管理者がページを閉じてても、タイムアウト時間が経過するまで、他のユーザが管理者としてログインすることはできません。

タイムアウト時間は、「ネットワーク設定」の「通信タイムアウト」で設定した時間です。

管理者として認証されると、設定ページが表示されます。



3.4.1 [設定情報] 一覧表示

システムの設定状態を表示します

HC-IP3000

設定情報

一覧表示

本体設定

ネットワーク

基本設定

ユーザ認証

各種機能

アラーム

接続

ホスト通知

メール通知

監視

転送先FTPサーバ

定期FTP転送

SNMP

外部I/F(音声)

日付時刻

ビューア

言語設定(Language)

アプリケーション

機器登録

多画面登録(4,9画面)

グループ登録

登録情報コピー

起動時設定

その他

メンテナンス

システム情報一覧

ネットワーク

ネットワーク設定

IPアドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.254
プライマリDNS	未設定
セカンダリDNS	未設定
MACアドレス	FF-FF-FF-FF-FF-FF
HTTPポート番号	80
MTUサイズ補正	1400byte
通信タイムアウト	1Min
ArpPing機能	ON
Keep-Alive	ON
キルパルス間隔	なし
NAT機能	OFF
NAT用ローカルIP	未設定
H.264768チャネル	OFF
768チャネルアドレス	224.168.2.100
送信ポート	5000
MPEG-4768チャネル	OFF
768チャネルアドレス	224.168.1.100
送信ポート	4000
JPEG768チャネル	OFF
768チャネルアドレス	224.168.0.100
送信ポート	3000

音声

受信ポート	5062
送信ポート	5062
受信タイムアウト	5

接続電話

携帯電話配信機能	ON
通報先電話番号	未設定

セキュリティ

ユーザ認証	OFF
IPアドレスフィルタリング	OFF
フィルタリング	許可

各種調整

映像コーデック

	H.264	MPEG-4	JPEG
ON/OFF	ON	OFF	ON
圧縮モード	カスタム	標準画質	-
解像度	640x480	640x480	640x480
最大フレームレート	30[fps]	30[fps]	5[fps]
符号化ビットレート	4000[kbps]	2000[kbps]	-
ビットレート制限	-	-	なし

音声コーデック

ビットレート	32kbps
--------	--------

カメラ制御

ユーザズピード設定	OFF
フレームスレート	1
パルススレート	1
スロット制御出力時間	0.5Sec
感度:MANUAL	0
感度:AUTO	4
自動減光	OFF
消灯インターバル	5Sec

各種機能

接続動作モード

入力動作モード	汎用
出力動作モード	汎用
接続出力保持時間	OFF

転送先FTPサーバ

FTPサーバIP	未設定
FTPユーザ名	未設定
FTPディレクトリ名	未設定
ファイル名	日付
日付ファイル名	ID1ID2年月日時分秒.jpg
指定ファイル名	IMAGE.JPG

定期FTP転送

定期転送	OFF
転送間隔	0時間5分0秒毎

SNMP

ON/OFF	OFF
SNMPエージェント	HC-IP3000
パケット送信値	0

コミュニティ

GET	public
SET	private

音声

マイク入力レベル	標準
ライン出力レベル	標準
入力ミューティングレベル	-40[db]

各種機能&アプリケーション

日付&時刻

NTPサーバ	ON
NTPサーバIP	192.168.1.120
起動時間	2010/10/13 10:59:52
現在時間	2010/10/13 11:01:28

Webページカスタマイズ

エンコード名称	HC-IP3000
カスタムサイズ	OFF
トップページ	デフォルト

ビューア設定

H.264,MPEG-4再生	低遅延
イメージモード	JPEG(エンキャスト)
再接続	ON
カメラオフ	ON
接続回復レート	無制限

言語設定

表示言語	自動
------	----

機器登録

エントリ登録数	1台
---------	----

3. 4. 2 [ネットワーク] 基本設定

ネットワークカメラのネットワーク接続と動作に関する設定を行います。

HC-IP3000 ネットワーク基本設定

設定情報
一覧表示

本体設定
ネットワーク
基本設定
ユーザ認証

機器調整
コーデック(映像・音声)
カメラ詳細設定
カメラ制御

各種機能
アラーム
- 検点
- ホスト通知
- メール通知
- 音信
- 転送先FTPサーバ
定期FTP転送
SNMP
外部I/F(音声)
日付&時刻
ビューア
言語設定(Language)

アプリケーション
機器登録
多画面登録(4,9画面)
グループ登録
登録情報コピー
起動時設定

その他
メンテナンス

IPアドレス設定
IPアドレス: 192.168.1.100
サブネットマスク: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.254
プライマリDNS:
セカンダリDNS:
HTTPポート¹: 80
MTUサイズ補正: 1400byte
再送タイムアウト時間(ms): 5000
Link Up Arp 送信時間(ms): 5000

マルチキャスト
H.264マルチキャスト: ☐ ON ☒ OFF
マルチキャストIPアドレス²: 224.168.2.100
送信ポート: 5000
MPEG-4マルチキャスト: ☐ ON ☒ OFF
マルチキャストIPアドレス²: 224.168.1.100
送信ポート: 4000
JPEGマルチキャスト: ☐ ON ☒ OFF
マルチキャストIPアドレス²: 224.168.0.100
送信ポート: 3000
配信レート³: 無制限 [kbps]

その他
通信タイムアウト: 1Min
ArpPing機能: ☒ ON ☐ OFF
Keep-Alive(HTTP): ☒ ON ☐ OFF
キャリブレーション間隔: 無し
NAT用グローバルIPアドレス: ☐ ON ☒ OFF
IPアドレス:
設定

注意:
1: 使用禁止ポート番号: 0, 20, 21, 25, 161, 162, ポート番号最大値: 65535
2: 範囲: 224.0.0.0 ~ 239.255.255.255
3: 範囲: 0 ~ 15000, 0設定時、制限無しとなります。

携帯電話配信
携帯電話配信機能: ☒ ON ☐ OFF
画像サイズ: 120x90
通報先名称:
通報先電話番号:
設定

音声配信
送信ポート(相手機)¹: 5062
受信ポート(自機)¹: 5062
受信タイムアウト: 30 [s]

マウスカーソルを入力ボックスに移動し、クリックすると、入力カーソルが表示されます。

キーボードより入力して下さい。

<IPアドレス設定>

- ・**IP アドレス**: ネットワークカメラの IP アドレスを設定して下さい(必須項目です)。

(注) 半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。(例 192.168.1.100)

- ・**サブネットマスク**: ネットワークカメラのサブネットマスクを設定して下さい(必須項目です)。

(注) 半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。(例 255.255.255.0)

- ・**デフォルトゲートウェイ**: ネットワークのデフォルトゲートウェイ IP アドレスを設定して下さい。

(注) 半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。(例 192.168.1.254)

(注) 削除する場合には、欄を空白の状態にして「設定」ボタンを押して下さい。

- ・**プライマリ DNS**: ネットワークのプライマリ DNS (DOMAIN NAME SERVER) IP アドレスを設定して下さい。
(注) 半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。
- ・**セカンダリ DNS**: ネットワークのセカンダリ DNS (DOMAIN NAME SERVER) IP アドレスを設定して下さい。
(注) 半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。
(注) DNS サーバを使用することにより、IP アドレスの代わりにドメイン名を指定することが可能となります。
- ・**HTTP ポート番号**: ネットワークカメラの HTTP ポート番号を設定して下さい。
(注) 半角数字で入力して下さい。(例 80)
(注) ポート番号を変更した際に、インターネットエクスプローラ等からエンコーダにアクセスする場合には以下のように設定します。
HTTP://192.168.1.100:81 (ポートを 81 に設定した場合)
- ・**MTU サイズ補正**: 配信するパケットサイズの上限を決めるための値です。
本機はパケット分割には対応していませんので、使用する通信ネットワークの MTU に合せて、MTU サイズの補正を行って下さい。
ドロップダウンリストから項目を選択して下さい。

800 byte
900 byte
1000 byte
1100 byte
1200 byte
1300 byte
1400 byte
1500 byte
- ・**再送タイムアウト時間**: 再送がタイムアウトとなる時間を設定します。
100(ms)－5000(ms)の範囲で設定してください。
- ・**Link Up Arp 送信時間**: Link Up Arp を送信する時間を設定します。
1000(ms)－20000(ms)の範囲で設定してください。

<その他>

- ・**通信タイムアウト**: 通信がタイムアウトとなる時間を設定します。

ドロップダウンリストから項目を選択して下さい。

30 Sec
40 Sec
50 Sec
1 Min
3 Min
5 Min
10 Min

- ・**ArpPing 機能**: ネットワークカメラの IP アドレスを ping により設定できるようにします。サブネットマスクは当該 IP アドレスのクラスに設定されます。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

設定手順は以下の通りです。

手順 1: 設定用 PC の DOS プロンプトを開きます。

手順 2: 以下のコマンドを実行します。

arp -s <ネットワークカメラの IP アドレス> <MAC アドレス>

ping <ネットワークカメラの IP アドレス> -l 222

(例)

arp -s 192.168.1.100 00-02-05-00-00-01

ping 192.168.1.100 -l 222

以上の操作を行うと、ネットワークカメラの IP アドレスが上記の値に設定され再起動します。

- ・**Keep-Alive(HTTP)**: 映像受信ごとにネットワークのコネクションを切断するか否かを設定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

回線の遅延が大きい場合には“ON”に設定します。

(注)ここでの設定は、本機とクライアント PC 間での設定です(WEB デコーダとの間の設定は、WEB デコーダ側で行います)。

- ・**キャリブレーション間隔**: パケットロスが発生した場合、再送信するまでの時間を延ばすために、自動的に WAIT 時間が挿入されます。ここでは挿入した wait 時間をリセットする間隔を設定します。
ドロップダウンリストから項目を選択して下さい。

無し
1 Min
5 Min
10 Min
30 Min
1 Hour
6 Hour
12 Hour
24 Hour

(注)「無し」に設定されている場合には、wait 時間は挿入されません。

- ・**NAT 用グローバル IP アドレス**: ネットワークカメラを NAT(Network Address Translation)を使用したネットワーク環境で使用している場合に、実際にインターネット上にアクセスするために変換されるグローバル IP アドレスを指定します。
 - (1) **有効/無効**: 機能を有効にするか無効にするかを設定します。
“ON”または“OFF”を選択して下さい。
 - (2) **IP アドレス**: グローバル IP アドレスを設定します。
機能を有効にした場合には、必ず設定して下さい。
空白を設定した場合には、削除されます。
(注)半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。(例 100.100.1.1)

<マルチキャスト>

- ・**H.264 マルチキャスト**: H.264 映像をマルチキャスト配信するための設定を行います。
 - (1) **有効/無効**: 機能を有効にするか無効にするかを設定します。
“ON”または“OFF”を選択して下さい。
 - (2) **マルチキャスト IP アドレス**: H.264 のマルチキャストグループを設定して下さい。
機能を有効にした場合には、必ず設定して下さい。
空白を設定した場合には、削除されます。
(注)半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。
(例 224.168.1.100)
 - (3) **送信ポート**: H.264 の送信ポートを設定して下さい。

・**MPEG-4 マルチキャスト**: MPEG-4 映像をマルチキャスト配信するための設定を行います。

- (1) **有効/無効**: 機能を有効にするか無効にするかを設定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- (2) **マルチキャスト IP アドレス**: MPEG-4 のマルチキャストグループを設定して下さい。

機能を有効にした場合には、必ず設定して下さい。

空白を設定した場合には、削除されます。

(注) 半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。

(例 224.168.1.100)

- (3) **送信ポート**: MPEG-4 の送信ポートを設定して下さい。

・**JPEG マルチキャスト**: JPEG 映像をマルチキャスト配信するための設定を行います。

- (1) **有効/無効**: 機能を有効にするか無効にするかを設定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- (2) **マルチキャスト IP アドレス**: JPEG のマルチキャストグループを設定して下さい。

機能を有効にした場合には、必ず設定して下さい。

空白を設定した場合には、削除されます。

(注) 半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。

(例 224.168.0.100)

- (3) **送信ポート**: JPEG の送信ポートを設定して下さい。

・**配信レート**: マルチキャストの配信レートの設定を行います

0, 16～15000[Kbps]の範囲で指定して下さい。

(注) 0 に設定した場合には無制限となります。

(注) マルチキャスト配信で対応している IGMP バージョンは VER.1 です。

<音声配信>

・**送信ポート(相手側)**: 相手側 WEB デコーダのポート番号を設定して下さい。

・**受信ポート(自機)**: 自機のネットワークカメラのポート番号を設定して下さい。

(注) 半角数字で入力して下さい。(例 5060)

(注) 次のポート番号は使用できません。0,20,21,25,80,161,162

・**受信タイムアウト**: 受信音声データのタイムアウトを指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

5[s]
10[s]
20[s]
30[s]
40[s]
50[s]
60[s]

・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

「再起動をしています。しばらくして、再接続して下さい。」のメッセージが表示されます。

しばらくして、再度接続作業を行って下さい。

<携帯電話配信>

・**携帯電話配信機能**: 携帯電話配信機能を ON/OFF を設定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

・**画像サイズ**: 携帯電話に配信する画像データのサイズを設定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

120 × 90
160 × 120
320 × 240

・**通報先名称**: 通報先名称を指定します。

携帯電話のブラウザ上にリンク表示されます。

(注) 最大、全角 4 文字以内で、使用可能な半角記号は【_ - ()】とスペースです。

- ・**通報先電話番号** : 通報先の電話番号を登録します。

携帯電話のブラウザ上で、「通報先名称」のリンクをクリックすると、この番号に電話を掛けることができます。

(注) 最大、半角 15 文字までです。

- ・**設定** : 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

「再起動をしています。しばらくして、再接続して下さい。」のメッセージが表示されます。しばらくして、再度接続作業を行って下さい。

携帯電話から、IP カメラにアクセスする場合には、以下の URL にアクセスして下さい。

<http://nnn.nnn.nnn.nnn/mobiles.htm> (nnn.nnn.nnn.nnn: IP アドレス)

3.4.3 [ネットワーク] ユーザ認証

ユーザ認証ページは、ユーザ情報とIPフィルタの登録・削除を行います。

(IPフィルタとは、特定のIPアドレスの接続を許可/拒否する機能です。)

ユーザ認証

ON/OFF: ☐ ON ☒ OFF
 認証領域名称: HC-IP3000
 [設定]

ユーザ設定

番号: 1
 ユーザ権限: 管理者
 ユーザID: root
 パスワード:
 パスワード(確認):
 [登録] [削除]

IPフィルタ

ON/OFF 1: ☐ ON ☒ OFF
 フィルタタイプ: ☒ 許可 ☐ 拒否
 *許可: 設定されたIPアドレス以外を拒否
 *拒否: 設定されたIPアドレスだけを拒否
 [設定]

IPアドレス

番号: 1
 IPアドレス:
 制御権: ☐ あり ☒ なし
 [登録] [削除]

ユーザー一覧

番号	ユーザID	権限
1	root	管理者
2		モニタ
3		モニタ
4		モニタ
5		モニタ
6		モニタ
7		モニタ
8		モニタ
9		モニタ
10		モニタ
11		モニタ
12		モニタ
13		モニタ

IPフィルタ一覧

番号	IPアドレス	制御権
1		なし
2		なし
3		なし
4		なし
5		なし
6		なし
7		なし
8		なし
9		なし
10		なし
11		なし
12		なし
13		なし

注意:
 1: フィルタをONにするには、まずフィルタ情報を登録してください。

<ユーザ認証>

- ・ユーザ認証 **ON/OFF**: 認証を行うか否かを設定します。

選択肢は“ON”または“OFF”です。

- ・**認証領域名称**: 認証領域の名称を設定します。

ログイン要求ウィンドウの「領域」に表示されます。

半角英数字で 30 文字以内で設定して下さい。

192.168.1.100 に接続

HC-IP3000

ユーザー名(U):

パスワード(P):

☐ パスワードを記憶する(R)

[OK] [キャンセル]

パスワード入力 (映像)

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: 192.168.1.100

領域: HC-IP3000

ユーザー名:

パスワード:

☐ 次回から、このパスワードを使用する

[OK] [キャンセル]

<ユーザ設定>

各権限を持ったユーザの登録を行います。

- ・**番号**: 登録するユーザを識別するための番号です。

ドロップダウンリストから項目を選択して下さい。

選択肢は、1～20 です。

- ・**ユーザ権限**: ドロップダウンリストから選択して下さい。

モニタ
カメラ制御

モニタ : 画像の閲覧だけが可能です。

カメラ制御 : 画像の閲覧とカメラ制御が可能です。

- ・**ユーザ ID**: 名称を登録します。

半角英数字にて 12 文字以内で登録して下さい。

- ・**ユーザパスワード**: パスワードを登録します。

半角英数字にて 12 文字以内で登録して下さい。

- ・**ユーザパスワード(確認)**: 確認のために、同じパスワードを入力して下さい。

半角英数字にて 12 文字以内で登録して下さい。

- ・**登録**: 上記の設定変更を有効にするために、この登録ボタンを押して下さい。

- ・**削除**: ユーザ登録一覧表から削除したい番号を選択して「削除」ボタンをクリックして下さい。

「よろしいですか？」とメッセージがでますので、「OK」を押して下さい。

ユーザ登録一覧表から、削除されます。

<IPフィルタ>

ON/OFF : IPアドレスフィルタ機能のON/OFFを設定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

フィルタタイプ : フィルタの種類を設定します。

“許可”または“拒否”を選択して下さい。

許可: 表に登録されたIPアドレスのみ接続許可

拒否: 表に登録されたIPアドレスだけ接続拒否

表にIPアドレスを登録します。1～50 の範囲で登録可能です。

<IPアドレス>

・**番号** : IP アドレスを登録するための番号です。

ドロップダウンリストから項目を選択して下さい。

選択肢は、1～50 です。

・**IP アドレス** : IP アドレスを設定します

・**制御権** : カメラの制御権を付与するか否かを設定します。

・**登録** : 入力した IP アドレスを登録するために、この登録ボタンを押して下さい。

・**削除** : 入力した IP アドレスを削除するために、この削除ボタンを押して下さい。

「よろしいですか?」とメッセージがでますので、「OK」を押して下さい。

(注)万一、設定中の PC を「接続拒否」としてしまった場合には、NNN.NNN.NNN.NNN/ASET.HTM にアクセスし、管理者権限で認証されれば、アクセスを行うことができます。

(NNN.NNN.NNN.NNN: 本機の IP アドレス)

3. 4. 4 [機器調整]コーデック(映像・音声)

映像・音声の調整を行います。



<映像コーデック選択>

・映像の圧縮方式を選択します。

- ・**H.264** : H.264 の圧縮方式で配信します。
- ・**MPEG4** : MPEG-4 の圧縮方式で配信します。
- ・**JPEG** : JPEG の圧縮方式で配信します。
- ・**設定** : 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

<H.264基本設定>

・**圧縮モード**: 圧縮モードの設定を行います。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

標準画質
動き優先
カスタム

標準画質: 推奨設定です

動き優先: 動き優先のモードです。

フレームレートを優先し、多少画質の劣化が生じます。

カスタム: ユーザが設定を行うことができます。

「H.264 詳細設定」メニューが表示されます。

(注)「標準画質」および「動き優先」に設定すると、フレームレートに上限値が設定されます。

(注)「カスタム」に設定した場合には、「符号化ビットレート」の設定は「H.264 詳細設定」内の設定で行います。

・**解像度**: 解像度の設定を行います

ドロップダウンリストから選択して下さい。

640 × 480
640 × 240
320 × 240

・**符号化ビットレート**: 符号化ビットレートの設定を行います。

ドロップダウンリストから選択します。

16 [kbps]
25 [kbps]
45 [kbps]
100 [kbps]
320 [kbps]
500 [kbps]
800 [kbps]
1500 [kbps]
2000 [kbps]
3000 [kbps]

<H. 264詳細設定>

圧縮モードを「カスタム」にした場合に表示されます。

- ・**シーンチェンジ(H.264)**: シーンチェンジ機能の ON/OFF を選択します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- ・**符号化ビットレート**: 符号化ビットレートの設定を行います。

16～4000[Kbps]の範囲で設定して下さい。

- ・**最大フレームレート**: 映像を取り込んで配信する間隔を設定します。

ドロップダウンリストから選択します。

30[fps]
15[fps]
10[fps]
6[fps]
5[fps]
3[fps]
2[fps]
1[fps]

- ・**I フレーム間隔**: I フレームを配信する間隔を設定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

0.5 [s]
1 [s]
2 [s]
3 [s]
4 [s]
5 [s]

- ・**画質 QMAX**: Q 値の最大値を設定します。(2～50)

- ・**画質 Qmin**: Q 値の最小値を設定します。(2～50)

Q 値が小さいほど高画質です。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

<MPEG-4基本設定>

・**圧縮モード**: 圧縮モードの設定を行います。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

標準画質
動き優先
カスタム

標準画質: 推奨設定です。

動き優先: 動き優先のモードです。

フレームレートを優先し、多少画質の劣化が生じます。

カスタム: ユーザが設定を行うことができます。

「MPEG-4 詳細設定」メニューが表示されます。

(注)「標準画質」および「動き優先」に設定すると、フレームレートに上限値が設定されます。

(注)「カスタム」に設定した場合には、「符号化ビットレート」の設定は「MPEG-4 詳細設定」内の設定で行います

・**解像度**: 解像度の設定を行います。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

640 × 480
640 × 240
320 × 240

・**符号化ビットレート**: 符号化ビットレートの設定を行います。

ドロップダウンリストから選択します。

16 [kbps]
25 [kbps]
45 [kbps]
100 [kbps]
320 [kbps]
500 [kbps]
800 [kbps]
1500 [kbps]
2000 [kbps]
3000 [kbps]

<MPEG-4詳細設定>

圧縮モードを「カスタム」にした場合に表示されます。

- ・**符号化ビットレート**: 符号化ビットレートの設定を行います。
16～3000[Kbps]の範囲で設定して下さい。
- ・**最大フレームレート**: 映像を取り込んで配信する間隔を設定します。
ドロップダウンリストから選択します。

30[fps]
15[fps]
10[fps]
6[fps]
5[fps]
3[fps]
2[fps]
1[fps]

- ・**I-VOP 間隔**: I フレームを配信する間隔を設定します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。

0.5 [s]
1 [s]
2 [s]
3 [s]
4 [s]
5 [s]

- ・**画質 QMAX**: Q 値の最大値を設定します。(5～31)
- ・**画質 Qmin**: Q 値の最小値を設定します。(2～31)
Q 値が小さいほど高画質です。
- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

<JPEG基本設定>

- ・**解像度**: 解像度を指定します。
ドロップダウンリストから選択します。

640 × 480
640 × 240
320 × 240

- ・**圧縮率**: 圧縮率を指定します。

ドロップダウンリストから選択します。

1:高圧縮
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15:低圧縮

- ・**最大フレームレート**: 映像を取り込んで配信する間隔を設定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

30[fps]
15[fps]
10[fps]
6[fps]
5[fps]
3[fps]
2[fps]
1[fps]
0.5[fps]
0.3[fps]
0.2[fps]
0.1[fps]

- ・**ビットレート制限**: ビットレート制限を設定します。

なし
16[Kbps]
32[Kbps]
64[Kbps]
100[Kbps]
200[Kbps]
300[Kbps]
500[Kbps]
1000[Kbps]
2000[Kbps]
3000[Kbps]
5000[Kbps]
10000[Kbps]
15000[Kbps]

<マルチキャスト>

- ・**取込間隔**: 映像を取り込んで、マルチキャスト配信する間隔を設定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

配信間隔は、最大フレームレートを上回リません。

30[fps]
15[fps]
10[fps]
6[fps]
5[fps]
3[fps]
2[fps]
1[fps]
0.5[fps]
0.3[fps]
0.2[fps]
0.1[fps]

・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

JPEG データの 1 枚あたりの画像サイズは、解像度と圧縮率の組み合わせにより、概ね下表のようになります。

	640 × 480	640 × 240	320 × 240
1(高圧縮)	13KB	8KB	5KB
2	15KB	10KB	6KB
3	17KB	13KB	7KB
4	20KB	15KB	9KB
5	23KB	18KB	11KB
6	26KB	21KB	13KB
7	29KB	24KB	15KB
8	32KB	28KB	17KB
9	36KB	32KB	19KB
10	43KB	40KB	21KB
11	48KB	44KB	23KB
12	52KB	48KB	25KB
13	56KB	52KB	27KB
14	60KB	56KB	30KB
15(低圧縮)	64KB	60KB	32KB

<音声コーデック>

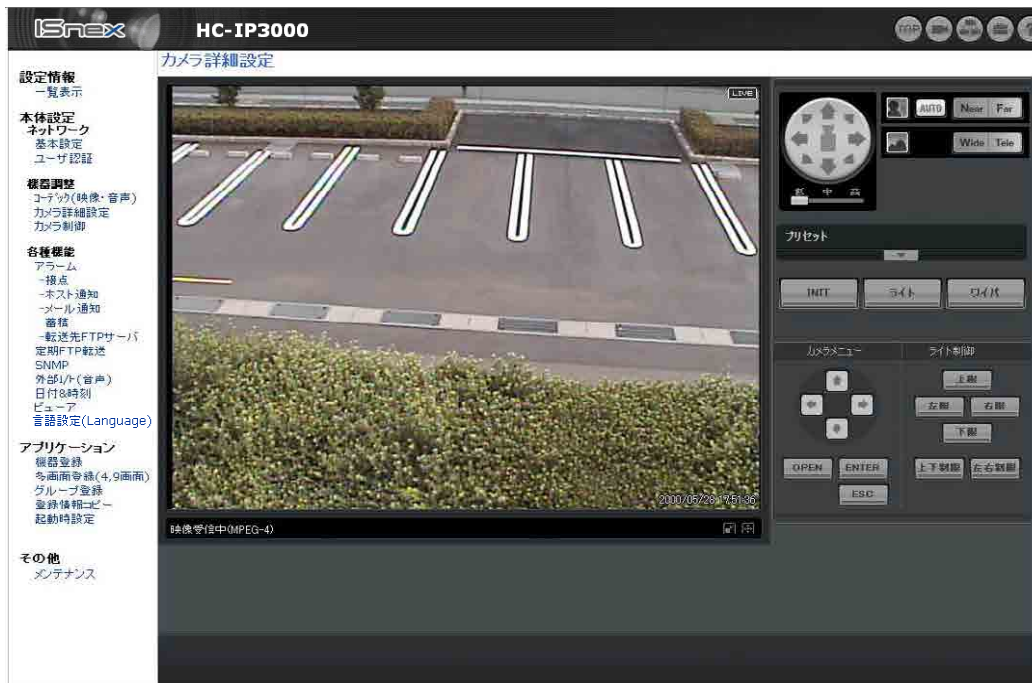
・**ビットレート**: 送受信音声の圧縮レートをドロップダウンリストから選択します。

16[kbps]
24[kbps]
32[kbps]

3. 4. 5 [機器調整] カメラ詳細設定

カメラの詳細設定を行います。

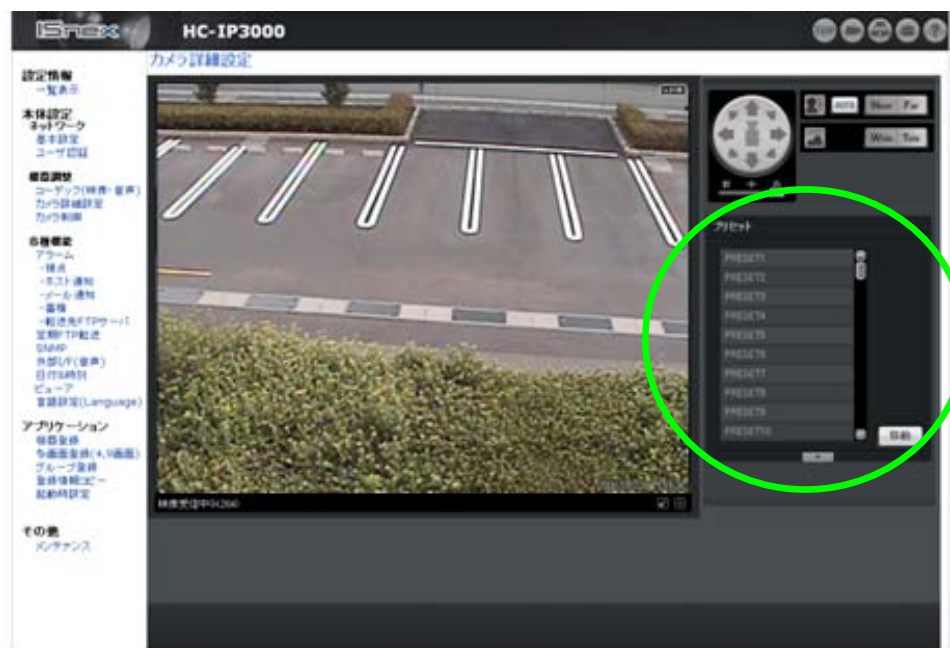
更に詳細に設定する場合は後述の「3.5 カメラメニュー」をご参照ください。



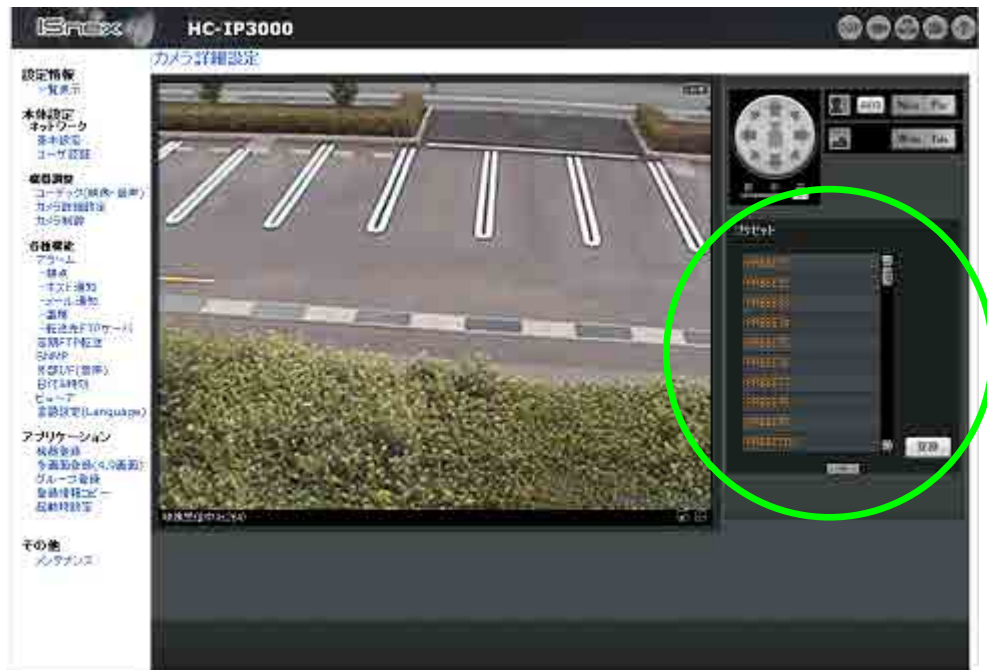
- ・**プリセット登録**: プリセット登録したいポイントに、カメラのパン/チルト・ズーム・フォーカス等を設定し、プリセット登録ボタンをクリックすれば、現在のポジションが、押された番号として登録されます。

プリセット登録手順

- ①プリセット項目にある  ボタンを押すと、プリセット登録情報が表示されます。



- ②プリセット登録情報の右下にある**移動**ボタンをクリックすると、プリセット番号がオレンジ色に変更し、**移動**ボタンが**登録**ボタンに切り替わります。
 (クリックする度に、**移動** ⇔ **登録** が切り替わります)



- ③登録させたい映像へカメラを移動させ、登録させたいプリセット番号をクリックするとプリセット登録されます。
 (注)既に登録されているプリセット番号に再度登録すると、情報が上書きされます。
 プリセットの情報は、カメラ側に記録されます。

- ・**カメラメニュー**:カメラメニューは、OPEN ボタンをクリックすることで表示することができます(日立製対応カメラのみ)。上、下、左、右、ENTER ボタンをクリックすることで、カメラメニューの操作・設定が行えます。
 * カメラメニューの内容は、後述の「3.5 カメラメニュー」説明を参照して下さい。

<ライト制御>(注)本機はこの機能は動作しません。

3. 4. 6 [機器調整]カメラ制御

カメラの制御速度の設定を行います。

<スピード>

- ・**ユーザ・スピード設定**: カメラの制御速度を変更します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。「1」「2」「3」はそれぞれ操作画面における「低」「中」「高」になります。

OFF
SPEED1
SPEED1,2,3

OFF : 規定の動作速度で動作します。

SPEED1 : 動作速度 1 の速度を指定します。

ストップ制御時間経過後にストップコマンドが発行されます。

SPEED1,2,3 : 動作速度 1 の速度を指定します(2,3 は規定値です)。

各速度とも、ストップ制御時間経過後にストップコマンドが発行されます。

- ・**パン・スピード**: SPEED1 での動作速度を指定します。

本機ではスピードが 3 段階での登録となるため、半角数字 1～3 で指定してください。

4～255 で選択された場合は 3 と同じスピードに設定されます。

- ・**チルト・スピード**: SPEED1 での動作速度を指定します。

本機ではスピードが 3 段階での登録となるため、半角数字 1～3 で指定してください。

4～255 で選択された場合は 3 と同じスピードに設定されます。

- ・**ストップ制御出力時間**: 指定した時間が経過した時点で、ストップコマンドを発行します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

0.5Sec
1.0Sec
1.5Sec
2.0Sec

＜カメラ感度＞ (注)本機はこの機能は動作しません

＜ライト＞ (注)本機はこの機能は動作しません

3. 4. 7 [各種機能] アラーム

接点入出力の状態及びアラーム関連の設定情報を表示します。

設定項目	パラメータ	状態
接点アラーム	入力動作モード	汎用
	出力動作モード	汎用
	接点入出力保持時間	OFF
ホスト通知	通報対象	0件
	-NDR	未設定
	-ランチャ	未設定
メール通知	メール配信	未設定
	送信元メールアドレス	未設定
	送信先登録数	未設定
蓄積	モード	通常
	プレ	5枚
	ポスト	5枚
	フレームレート	5fps
	FTPアラーム転送	OFF
転送先FTPサーバ	IPアドレス	未設定
	ファイル名	ID1ID2年月日時分秒.jpg

入力

接点番号	01
状態	開放
ホスト通知	OFF
メール配信	OFF
蓄積	OFF

出力

接点番号	01
手動設定	開放

3. 4. 8 [各種機能] 接点

接点入出力(PIO)の動作モードを指定します。

モード

入力動作モード 1: 汎用

出力動作モード 2: 汎用

接点入出力保持時間: OFF

注意:

1. 接点入出力設定を行なう場合は入力動作モードをアラーム入力に設定して下さい。

2. 出力動作モードが「汎用」の場合、手動設定が可能です。

状態一覧

入力

接点番号	01
状態	開放

出力

接点番号	01
手動設定	開放

<<戻る

・**入力動作モード**: 接点入力端子の動作モードを設定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

汎用
アラーム入力

汎用 : 接点入力端子の状態をそのまま表示します。

アラーム入力: 外部センサ等を接続することで、アラーム発報時の処理を行います。

アラーム入力を選択すると、「接点入出力」メニューが表示されます。

・**出力動作モード**: 接点出力端子の動作モードを設定します。

汎用
接点スルー
アラーム出力

汎用 : 本ページで設定した状態で、接点出力を行います。

接点スルー : 本機の映像を受信している WEB デコーダとの間で、互いの接点入出力情報を設定・表示する機能です。



アラーム出力: 外部センサ等を接続することで、アラーム発報時の処理を行います。

・**接点入出力保持時間**: 接点の入力および出力の状態が“ON”に変更された場合に、指定した時間だけ“ON”の状態を保持します。

OFF
10sec
20sec
30sec
1min
2min
5min

(注) 検知時極性で設定された状態に変化した際に、その状態が保持されます。

<接点入出力>

[入力]

・**検知時極性** : 接点入力を検知する際の極性を指定します。

“短絡”または“開放”を選択して下さい。

[出力]

・**通報** : アラームを検知した際に通報するか否かを指定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- ・**通報極性**: アラームを検知する際の接点出力の極性を指定します。

“短絡”または“開放”を選択して下さい。

- ・**アラームリセット**: アラームリセットの要／不要を指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

不要(モードレス)
必要(モーダル)

不要 : 自動的にアラームがリセットされます。

アラームが発報するたびに、ホストに通知されます。

必要 : 手動で IP カメラのアラームをリセットする必要があります。

リセットを行うまでは、再度アラームの通知を行いません。

(注) 接点出力設定を行うためには、「出力動作モード」を「アラーム出力」に設定して下さい。

(注) アラームリセットは、メンテナンスページから行うことができます。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

<状態一覧>

- ・**入力**: 各接点に対応した入力の状態(短絡/開放)を示します。

- ・**出力**: 各接点の出力の状態(短絡/開放)を設定します。

出力動作モードが「汎用」の場合には、手動にて設定が可能です。

- ・**設定**: 出力動作モードが「汎用」の場合に、出力の設定内容を有効にするために、このボタンを押して下さい。

- ・**更新**: 各接点の状態を現在の状態に更新します。

3.4.9 [各種機能] ホスト通知

アラームの発報があったことを、ホスト(ネットワーク上の別の機器)に通知するための設定です。

ISnexus HC-IP3000

設定情報
一覧表示

本体設定
ネットワーク
基本設定
ユーザ認証

機器調整
コーデック(映像・音声)
カメラ詳細設定
カメラ制御

各種機能
アラーム
- 接点
- ホスト通知
- メール通知
- 蓄積
- 転送先FTPサーバ
定期FTP転送
SNMP
外部I/F(音声)
日付&時刻
ビューア
言語設定(Language)

アプリケーション
機器登録
多画面登録(4,9画面)
グループ登録
登録情報コピー
起動時設定

その他
メンテナンス

ホスト通知

ホスト通報設定

ホスト番号

IPアドレス

ポート番号 ¹

アラームリセット

通報対象 ²

有効化

接点入力 ³ ☐ 接点1

アラームランチャ

エンコード識別番号

注意:
¹:ポート番号は、1～65535を指定して下さい。
²:ネットワークカメラは、ホスト番号1のみ選択可能です。
³:接点入力を有効にするには、**接点アラーム**にて入力動作モードをアラーム入力に設定して下さい。

[<<戻る](#)

ホスト通知一覧

番号	IPアドレス	ポート	リセット	通報対象
1		80	不要	ランチャ
2		80	不要	ランチャ
3		80	不要	ランチャ
4		80	不要	ランチャ
5		80	不要	ランチャ

<ホスト通報設定>

- ・**ホスト番号**: 通知するホストを登録する番号を選択します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～5 です。
- ・**IP アドレス**: ホストの IP アドレスを設定します。
- ・**ポート番号**: ポート番号を指定します。
ポート番号は、1～65535 の間で設定して下さい。
- ・**アラームリセット**: アラームリセットの要／不要を指定します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。

不要(モードレス)
必要(モーダル)

不要: 自動的にアラームがリセットされます。

アラームが発報するたびに、ホストに通知されます。

必要: 手動でネットワークカメラのアラームをリセットする必要があります。

リセットを行うまでは、再度アラームの通知を行いません。

- ・**通報対象**: アラームの通報先を指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

アラームランチャ
ネットワーク・デジタル・レコーダ

アラームランチャ: PC 上で動作するアプリケーション起動用のソフトウェアです。

ネットワーク・デジタル・レコーダ: 弊社製のネットワーク型画像記録装置です。

(注) ネットワーク・デジタル・レコーダはホスト番号 1 にのみ登録可能です。

(注) 「蓄積・FTP ページ」で「蓄積モード」を「NDR モード」に設定して下さい。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

「再起動をしています。しばらくして、再接続して下さい。」というメッセージが表示されます。

しばらくして再度接続作業を行って下さい。

- ・**削除**: ホスト通知一覧表の削除したい番号を選択して「削除」ボタンをクリックして下さい。

<有効化>

- ・**接点入力**: ホスト通知機能における有効な入力対象を指定します。

本機では“接点 1”のみとなります。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

(注) 接点入力を有効にするためには「接点アラーム」ページにて入力動作モードを「アラーム入力」に設定して下さい。

<アラームランチャ>

- ・**エンコーダ識別番号**: ホストへアラーム通知する際の自機の識別番号を指定します。

1～50 から選択して下さい。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

<ホスト通知一覧>

ホスト通知設定で設定した通知先が一覧表示されます。

3. 4. 10 [各種機能] メール通知

メール通知の設定を行います。

ISnax HC-IP3000

メール

メール配信 ☐ ON ☐ OFF

アラームリセット 不要(モードレス) ☐ 必要(モーダル) ☐

送信元メールアドレス

SMTPサーバアドレス ¹

POP3サーバアドレス ¹

POP3認証 ☐ ON ☐ OFF

ユーザ名

パスワード

設定

<内容>

タイトル Mail from HC-IP370

画像添付 ☐ ON ☐ OFF

本文に時刻挿入 ☐ ON ☐ OFF

本文 Alarm detection

設定

宛先登録番号

番号

種別 ☐ 無効 ☐ PC ☐ 携帯電話

メールアドレス

登録 削除

有効化

接続入力 ³ ☐ 接続点 ☐

設定

宛先一覧

番号	種別	メールアドレス
1	無効	
2	無効	
3	無効	
4	無効	
5	無効	

注意:

¹:アドレスにドメイン名を指定する場合
DNSの設定が必要です

²:接続入力を有効にするには、接続動作モードにて
入力動作モードをアラーム入力に設定して下さい。

<<戻る

<メール>

- ・**メール配信**:メール配信機能の ON/ OFF を設定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- ・**アラームリセット**:アラームリセットの要/不要を設定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

不要(モードレス)
必要(モーダル)

不要:自動的にアラームがリセットされます。

アラームが発報するたびに、メールが送信されます。

必要:手動でネットワークカメラのアラームをリセットする必要があります。

リセットを行うまでは、再度メールの送信を行いません。

- ・**送信元メールアドレス**:送信元(自機)のメールアドレスを登録します。

半角 127 文字以内で指定して下さい。

半角記号は、【/ ~: @ _ # &】が使用できます。

- ・**SMTP サーバアドレス**:SMTP サーバの IP アドレスを設定します。

半角 200 文字以内で指定して下さい。

半角記号は、【/ ~: @ _ # &】が使用できます。

アドレスにドメイン名を使用することができます。この場合には、DNS サーバの設定が必要です。

- **POP3 サーバアドレス**: POP3 サーバの IP アドレスを設定します。
半角 200 文字以内で指定して下さい。
半角記号は、【/ ~: @ _ # &】が使用できます。
アドレスにドメイン名を使用することができます。この場合には、DNS サーバの設定が必要です。
- **POP3 認証**: メール送信時に POP3 認証を行うかどうかの設定を行います。
“ON”または“OFF”を選択して下さい。
- **ユーザ名**: POP3 サーバへログインする際のユーザ名を設定します。
半角英数字 15 文字以内で設定して下さい。
- **パスワード**: POP3 サーバへログインする際のパスワードを設定します。
半角英数字 15 文字以内で設定して下さい。
- **設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。
「再起動をしています。しばらくして、再接続して下さい。」というメッセージが表示されます。しばらくして、再度接続作業を行って下さい。

<内容>

- ・**タイトル**:メールのタイトルを設定します。

半角 63 文字以内で設定して下さい。【¥”】記号は使用できません。

- ・**画像添付**:画像の添付の ON/OFF の設定を行います。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- ・**本文に時刻挿入**:メール本文に時刻情報を挿入するか否かの設定を行います。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- ・**本文**:メール本文の登録を行います。

全角 31 文字以内で記述して下さい。【¥”】記号は使用できません。

- ・**設定**:上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

(注)表示言語が英語の場合は、**本文**文字数が半角 63 文字、全角 7 文字までとなります。

(注)**タイトル**及び**本文**に日本語で何らかの文字が全角入力されている状態で、表示言語を英語に変更すると、文字が正しく表示されない場合があります。

<宛先登録番号>

- ・**番号**:宛先の登録番号を設定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～5 です。

- ・**種別**:送信先の機器の種別を選択します。

選択肢は、無効, PC, 携帯電話です。

無効を選択した場合には、メール通知はされません。

- ・**メールアドレス**:宛先のメールアドレスを設定します。

半角 127 文字以内で指定して下さい。半角記号は、【/`:@_#&】が使用できます。

- ・**登録**:上記の設定を有効にするために、この登録ボタンを押して下さい。

「再起動をしています。しばらくして、再接続して下さい。」というメッセージが表示されます。しばらくして、再度接続作業を行って下さい。

- ・**削除**:宛先一覧表の削除したい番号を選択して「削除」ボタンをクリックして下さい。

「再起動をしています。しばらくして、再接続して下さい。」というメッセージが表示されます。しばらくして、再度接続作業を行って下さい。

<有効化>

- ・**接点入力**:メール機能を有効にする接点番号を選択します。

本機では“接点 1”のみとなります。

- ・**設定**:上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

<宛先一覧>

宛先登録の情報を表示します。

3. 4. 11 [各種機能] 蓄積

アラーム発報時の、FTP 転送の設定を行います。

蓄積, FTP

モード ☒ 通常モード ☐ NDRモード¹

プレ [枚]

ポスト [枚]

フレームレート [fps]

FTPアラーム転送² ☐ ON ☒ OFF

[設定](#)

有効化

接点入力³ ☐ 接点1

[設定](#)

注意:
 本設定を有効にするには、映像コーデックをJPEGモードに設定して下さい。
¹: NDRモードで動作させるには、ホスト通知先にネットワークデジタルレコーダを指定する必要があります。
 またNDRモードで動作させるには、JPEGのビットレート制限を「なし」に設定して下さい。
²: FTPアラーム転送を行うには、転送先FTPサーバを設定する必要があります。
³: 接点入力を有効にするには、接点動作モードにて入力動作モードをアラーム入力に設定して下さい。

[<<戻る](#)

<蓄積, FTP>

- ・**モード**: 動作モードを指定します。

“通常モード”か“NDR モード”を選択して下さい。

通常モード: FTP で画像を転送するためのモードです。

NDR モード: ネットワークデジタルレコーダと連動して動作させるためのモードです

(注) NDR モードで動作させるためには、「ホスト通知」ページで、ホスト通知先に NDR を設定する必要があります。

(注) NDR モードで動作させる際には、「コーデック(映像・音声)」ページで、「JPEG 基本設定」の「ビットレート制限」を「なし」に設定して下さい。

- ・**プレ**: アラーム発報前の画像データの記録枚数を指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

通常モード、NDR モードともに、以下の項目から選択して下さい。

0	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	15
20	25	30	40	50	60
70	80	90	100		

- ・**ポスト**: アラーム発報時点からの画像データの記録枚数を指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

NDR モードでは、“アラーム終了まで”の項目が表示されます。

0	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	15
20	25	30	40	50	60
70	80	90	100	アラーム終了まで	

(注)FTP 転送時は、プレ・ポスト共に 30 枚ずつが上限となります。

- ・**フレームレート**: 蓄積画像のフレームレートを指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

30 fps
15 fps
10 fps
6 fps
5 fps
3 fps
2 fps
1 fps
0.5 fps
0.3 fps
0.2 fps
0.1 fps

(注)「コーデック(映像・音声)」ページの JPEG 最大フレームレートを上回ることはありません。

- ・**FTP アラーム転送**: FTP サーバへ画像データを送信するか否かの設定を行います。

“ON”か“OFF”を選択して下さい。

(注)FTP アラーム転送を行うには、「転送先 FTP サーバ」ページで、FTP サーバの設定を行うとともに、「コーデック(映像・音声)」ページで「映像コーデック」の「JPEG」モードを有効に設定して下さい。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

<有効化>

- ・**接点入力**: 蓄積、FTP 機能を有効にする接点番号を選択します。

本機では“接点 1”のみとなります。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

3. 4. 12 [各種機能] 転送先 FTP サーバ

画像データ(JPEG)を FTP サーバに送信するための設定を行います。

The screenshot shows the '転送先FTPサーバ' (Destination FTP Server) configuration page. The left sidebar has a tree view with categories: 設定情報 (Configuration Information), 本体設定 (Main Settings), 各種機能 (Various Functions), and その他 (Others). Under 各種機能, '転送先FTPサーバ' is selected. The main content area has a title bar '転送先FTPサーバ' and a sub-header '転送先FTPサーバ'. Below this are input fields for IPアドレス (IP Address), ユーザ名 (Username), パスワード (Password), and ディレクトリ¹ (Directory). There is a dropdown for 転送ファイル選択 (Transfer File Selection) set to '日付' (Date). Below that are input fields for ID1 and ID2, and checkboxes for 日付ファイル名 (Date File Name) with sub-options for year, month, day, and time. A field for 指定ファイル名² (Specify File Name) is set to 'IMAGE.JPG'. A '設定' (Set) button is at the bottom right. A '注意' (Note) section at the bottom left explains the settings and provides footnotes for the directory and file name fields.

(注)FTP 転送機能を有効にするには、「コーデック(映像・音声)」ページでコーデックモード「JPEG」を有効に設定して下さい。

(注)転送モードは、「アラーム転送」と「定期転送」の 2 種類です。

<転送先 FTP サーバ>

- ・**IP アドレス**: 転送先の FTP サーバの IP アドレスを設定して下さい。
- ・**ユーザ名**: FTP サーバにログインする際のユーザ名を設定して下さい。
半角 15 文字以内で、半角英数字のみ使用できます。
- ・**パスワード**: FTP サーバにログインする際のパスワードを指定して下さい。
半角 15 文字以内で、半角英数字のみ使用できます。
- ・**ディレクトリ**: FTP サーバ内の、画像格納用ディレクトリを指定して下さい。
半角 15 文字以内、全角 10 文字以内で、半角英数字および半角記号『_(-)』が使用できます。
指定したディレクトリは、FTP サーバ内に予め作成して置いて下さい。

- ・**ファイル名**: 転送する画像データのファイル名を指定します。

ID1, ID2, 日付ファイル名および指定ファイル名の組み合わせで指定します。

ファイル名の形式をドロップダウンリストから選択して下さい。

日付
指定
日付 & 指定

日付: 日付をファイル名にして転送します。

指定: 指定したファイル名で転送します。

日付 & 指定: 日付のファイルと指定ファイルの 2 種類のファイルが転送されます。

- ・**ID1**: 識別情報を付加します。

半角数字で 1～9999 で指定します。

- ・**ID2**: 識別情報を付加します。

半角数字で 1～99 で指定します。

- ・**日付ファイル名**: 付加する情報を選択します。

選択可能な項目は、【ID1】、【ID2】、【年】、【月】、【日】、【時】、【分】、【秒】です。

例 1) ID1=1234

ID2=12

日時=2004 年 04 月 01 日 12 時 25 分 36 秒の場合

ファイル名: 12341220040401122536.JPG

例 2) 上記の設定で、年月日のみを指定した場合

ファイル名: 20040101.JPG

- ・**指定ファイル名**: 転送ファイル名を固定で指定します。

拡張子 3 文字以内、ファイル名全体で 12 文字以内で指定します。

(注) 指定ファイル名での転送は、定期転送時のみ行います。

(注) 転送したファイルは、順次上書きされます。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

* FTP の定期転送の指定は、「3.4.13 [本体設定]—[各種機能]定期 FTP 転送」ページをご参照ください。

3. 4. 13 [各種機能] 定期 FTP 転送

FTP サーバへの定期転送の設定を行います。

The screenshot shows the '定期FTP転送' (Regular FTP Transfer) configuration page in the HC-IP3000 web interface. The sidebar on the left contains the following menu items: 設定情報 (Overview), 本体設定 (Network, Basic Settings, User Authentication), 機器調整 (Codec, Camera Detail Settings, Camera Control), 各種機能 (Alarm, Points, Host Notification, Email Notification, Backup, Transfer to FTP Server, Regular FTP Transfer, SNMP, External I/F (Audio), Day & Time, Pseudo, Language Settings), アプリケーション (Device Registration, Multi-screen Registration (4, 9 screens), Group Registration, Registration Information Copy, Start Time Setting), and その他 (Maintenance). The main content area is titled '定期FTP転送' and includes a sub-section 'FTP転送' with the following settings: ON/OFF (radio buttons for ON and OFF), 転送間隔 (Transfer Interval) set to 0 hours, 5 minutes, and 0 seconds, 開始時刻 (Start Time) set to 0 hours, 0 minutes, and 0 seconds, 終了時刻 (End Time) set to 23 hours, 59 minutes, and 59 seconds, and a checkbox for '有効' (Effective) which is currently unchecked. A '設定' (Settings) button is located below the settings. A note at the bottom states: '注意: FTP転送を行うには、転送先FTPサーバを設定し、映像コーデックでJPEGを有効にしてください。' (Note: To perform FTP transfer, set the destination FTP server and enable JPEG in the video codec.)

<FTP転送>

- ・**ON/OFF**: FTP 転送の ON/OFF を指定します。
- ・**転送間隔**: 蓄積間隔を指定します。
設定可能な時刻は、0 時間 0 分 10 秒～23 時間 59 分 59 秒です。
- ・**開始時刻**: 開始時刻を指定します。
設定可能な時刻は、0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒です。
- ・**終了時刻**: 終了時刻を指定します。
設定可能な時刻は、0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒です。
- ・**有効**: 開始時刻と終了時刻の設定の有効／無効を切替えます。
(注) 開始時刻と終了時刻に同一の時刻を設定することはできません。
- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

(注) FTP 転送を行うには、「転送先 FTP サーバ」ページで、FTP サーバの設定を行って下さい。

3. 4. 14 [各種機能] SNMP

SNMP 機能の設定を行います。

The screenshot shows the 'SNMP' configuration page in the ISnexus HC-IP3000 web interface. The sidebar on the left lists various settings categories. The main area contains the following settings:

- SNMP**: ON/OFF (radio buttons for ON and OFF).
- パケットロス閾値**: A text input field with the value '0'.
- SNMPエージェント**: A text input field with the value 'HC-IP3000'.
- コミュニティ名**: Two text input fields for 'GET' (value: 'public') and 'SET' (value: 'private').
- TRAP送信先IPアドレス**: Four text input fields labeled 1, 2, 3, and 4.
- 詳細TRAP**: A checkbox labeled 'ログイン・ログアウト・機器設定'.
- 設定**: A button at the bottom right of the settings area.

< SNMP >

- ・**ON/OFF**: SNMP 機能を有効にするか無効にするかを設定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- ・**パケットロス閾値**: パケットロス発生時のトラップを送出するための閾値を指定します。

PT-IP2000R(WEB デコーダ)からの RTCP によるパケットロスが検出された場合を 1 回とし、パケットロスの閾値を越えた時点で SNMPTRAP を送信します。0～100 の範囲で設定して下さい。0 に設定した場合には、1 回でも発生した時点で送信します。本トラップは、過去 2 分間の情報を 1 分毎に送出します。

- ・**SNMP エージェント**: エージェント名を指定します。

(注)半角英数字 30 文字以内で設定して下さい。

- ・**コミュニティ名: GET**: GET コマンドおよび TRAP コマンドのコミュニティ名を指定します。

(注)半角英数字 30 文字以内で設定して下さい。

- ・**コミュニティ名: SET**: SET コマンドのコミュニティ名を指定します。

(注)半角英数字 30 文字以内で設定して下さい。

- ・**TRAP 送信先 1**: TRAP 転送先の IP アドレスを指定します。

- ・**TRAP 送信先 2**: TRAP 転送先の IP アドレスを指定します。

- ・**TRAP 送信先 3**: TRAP 転送先の IP アドレスを指定します。

- ・**TRAP 送信先 4**: TRAP 転送先の IP アドレスを指定します。

- ・**詳細 TRAP**: ログイン・ログアウト・機器設定の際、トラップ出力するかどうかを設定します。チェックボックス選択時には、トラップ出力を行います。

・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

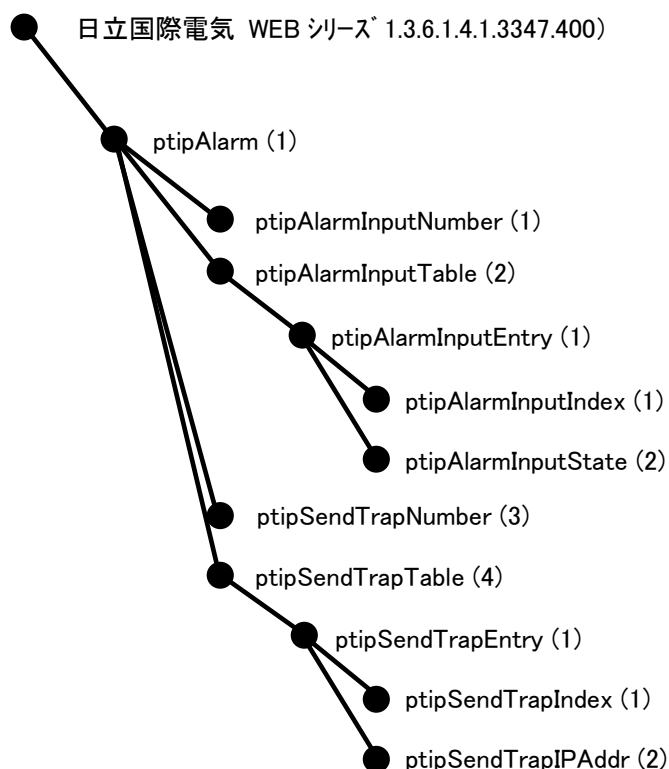
「再起動をしています。しばらくして、再接続して下さい。」というメッセージが表示されます。しばらくして、再度接続作業を行って下さい。

本機能は、以下の事象が発生した際に動作します。

1. 接点短絡時
2. 電源起動時
3. SNMP マネ-ジャから GET コマンドを受け取った時

(注) インターネットや LAN の設定によっては使用できないことがあります。

1. ネットワークカメラでサポートしている拡張 MIB は、以下の通りです。



①PT-IP100T-MIB 一覧(1.3.6.1.4.1.3347.400.1)

(1)ptipAlarm アラーム(接点入力)に関する情報を格納します。

②ptipAlarm グループ(1.3.6.1.4.1.3347.400.1.1)

(1)ptipAlarmInputNumber 使用できる接点入力の数を格納します。値は 8 です。

(2)ptipAlarmInputTable 接点入力情報のテーブルです。詳細は③を参照して下さい。

(3)ptipSendTrapNumber 登録できるトラップ送信先の最大数を格納します。値は 4 です。

(4)ptipSendTrapTable トラップ送信先のテーブルです。詳細は④を参照して下さい。

③ptipAlarmInputEntry(1.3.6.1.4.1.3347.400.1.1.2.1)

(1)ptipAlarmInputIndex 接点入力の番号を格納します。

(2)ptipAlarmInputState 接点入力の現在の状態を示します。

0: 入力無し、Off 状態 / 1: 入力有り、On 状態

④ ptipSendTrapEntry(1.3.6.1.4.1.3347.400.1.1.4.1)。

(1)ptipSendTrapIndex トラップ送信先の番号を格納します。

(2)ptipSendTrapIPAddr トラップ送信先の IP アドレスを格納します。最大 4 件分です

2. TRAP は以下の場合に発行されます。

なお、EnterpriseID は「1.3.6.1.4.1.3347.400」です。

generic-ID	specific-ID	名称	状態
6	4001	ptipAlarmInputOn	接点入力が ON になった ※
6	4002	ptipAlarmInputOff	接点入力が OFF になった ※
6	4003	未使用	未使用
6	4004	未使用	未使用
6	4006	ptipNoVideoInput	映像入力無し
6	4007	ptipExcessImageStreamDataLoss	設定されている閾値を超えるパケットロスが発生した(MPEG4-UDP 時のみ発生)
6	4008	ptipVideoInput	映像入力有り
6	4009	ptipEncDecErr	エンコード/デコードエラーが発生した
6	4010	ptipAbnormalErr1	機器内部エラー情報(割り込み停止)
6	4011	ptipAbnormalErr2	未使用
6	4012	ptipAbnormalErr3	未使用
6	4013	ptipLogin	映像要求ログイン要求
6	4014	ptipLogout	映像要求ログアウト要求
6	4015	ptipSet	機器内部の設定要求

(注)標準 MIB については、別冊「プログラマーズガイド」を参照して下さい。

3. 4. 15 [各種機能] 外部I/F(音声)

外部インターフェースの設定を行います。



< 音声詳細設定 >

- ・**ライン入力レベル**: ライン入力のレベルを調整します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

消音
標準
大きい

- ・**ライン出力レベル**: ライン出力のレベルを調整します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

消音
小さい
やや小さい
標準
やや大きい
大きい

- ・**入力ミュートレベル**: 音声入力時のミュートレベルを調整します。このレベルに達していない場合、音声はエンコードされません。-30[dB]~-60[dB]の範囲で設定して下さい。-60[dB]を設定しておく、全ての音声が入力されます。ノイズなどを消す際にご利用下さい。
- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

3. 4. 16 [各種機能] 日付&時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

ISnexus HC-IP3000

日付 & 時刻

時刻設定

設定モード

☒ 手動で設定する

Date: 2000 1 3 Time: 20 31

☐ NTPサーバと同期する

IPアドレス

タイムゾーン

タイムゾーン (GMT+09:00)大阪, 札幌, 東京

<時刻設定>

- ・**手動で設定する**: 時刻を手動で設定します。

範囲は、2000 年 1 月 1 日 0 時 0 分～2099 年 12 月 31 日 23 時 59 分です。

- ・**NTP サーバと同期する**: NTP サーバを使用するか否かを設定します。

- ・**IP アドレス**: NTP サーバの IP アドレスを指定して下さい。

NTP サーバと同期するを選択したときに入力可能になります。

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

<タイムゾーン>

- ・**タイムゾーン**: 該当するタイムゾーンを選択して下さい。NTP サーバと同調するを選択したときに入力可能になります。
ドロップダウンリストより選択して下さい。

GMT-12:00
GMT-11:00
GMT-10:00
GMT-09:00
GMT-08:00 太平洋標準時
GMT-07:00 山地標準時
GMT-06:00 中部標準時
GMT-05:00 東部標準時
GMT-04:00 大西洋標準時
GMT-03:00
GMT-02:00
GMT-01:00
GMT-00:00 グリニッジ標準時
GMT+01:00
GMT+02:00
GMT+03:00
GMT+04:00
GMT+05:00
GMT+06:00
GMT+07:00
GMT+08:00 北京、台湾
GMT+09:00 大阪、札幌、東京
GMT+10:00
GMT+11:00
GMT+12:00
GMT+13:00

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

3. 4. 17 [各種機能] ビューア

クライアント PC に表示されるメインビュー、カメラ選択の部品を設定するためのページです。

ISnax HC-IP3000

ビューア

Webページ設定

本体名称: HC-IP3000

ライブページカスタマイズ: ☐ ON ☒ OFF

表示するリンク: ☒ メインビュー ☒ カメラ選択 ☐ 設定 ☐ トップ ☐ インフォメーション

Topページ指定: デフォルトページ ファイル名: []

プリセット点検

プリセット点検: 16

カメラ制御ボタン

☒ パン/チルト ☒ フォーカス ☒ ズーム ☒ スピード

☒ プリセット移動 ☐ プリセット登録 ☒ ワンプッシュAF ☒ イニシャル

☒ スナップショット ☐ ライト ☐ ワイド ☐ AUX1

☐ AUX2 ☐ カメラ感度 ☐ 音声 ☒ スナップビデオ

☐ 露取り

音声: ☒ 双方向 ☒ 集音 ☒ 拡声

スナップビデオ: ☒ 保存 ☒ 再生

AUX設定

AUX1: 表示: AUX1 コマンド: シリアル 接続番号: 1

AUX2: 表示: AUX2 コマンド: シリアル 接続番号: 1

映像設定

イメージモード: H.264(UDP)

H.264,MPEG-4再生¹: 伝送

再接続: ☒ ON ☐ OFF

カメラログイン: ☒ ON ☐ OFF²

接続回線レート: 無制限 0 [kbps](0,16~15000)³

注意:

¹、高精度設定時はCPU使用率が著しく上がるため、他アプリケーションの併用は避けてください。

²、カメラログインOFFに設定した場合、カメラ制御・音声制御できません。

³、0設定時、制限無しとなります。

<Web ページ設定>

- ・**本体名称**: ブラウザのタイトルバー、履歴、お気に入りメニュー等に表示される、エンコーダの名称を設定します。最大、全角 10 文字以内で、使用可能な半角記号は【_(-)】とスペースです。
- ・**ライブページカスタマイズ**: カスタマイズの ON/OFF を設定します。
“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- ・**リンク**: リンクの表示の有無を設定します。

選択可能な項目は、“メインビュー”、“カメラ選択”、“設定”、“トップ”、“インフォメーション”です。

この設定は“メインビュー”、“カメラ選択”ページにおいて有効です。

- (注) **リンク**選択時に“設定”や“トップ”を選択しない場合等、メインビューやデフォルトページから設定ページに移動できなくなる場合があります。設定ページへの移動ができなくなった場合は、WEB ブラウザのアドレス入力テキストボックスに下記アドレスを入力して、「移動」を選択してください。設定ページへリンクします。

(アドレス <http://ネットワークカメラのIPアドレス/anetwork.htm>)

- ・**Top ページ指定**: Top ページに表示するページを選択します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

デフォルトページ
メインビュー
ユーザページ

デフォルトページ : 通常のトップページが表示されます。

メインビュー : ライブ映像表示ページが表示されます。

ユーザページ : ユーザが指定したページが表示されます。

- ・**ファイル名**: ユーザページを指定した場合に、そのページ名を指定します。

名称 8 文字以内、拡張子 3 文字で指定して下さい。

- ・**設定**: 設定内容を登録する場合に押して下さい。

<プリセット点数>

- ・**プリセット点数**: プリセット登録を行う最大点数を設定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～16 です。

<カメラ制御ボタン>

- ・**カメラ制御ボタン**: カメラ制御画面の、カメラ制御項目の変更を行うための設定です。

本機にて設定可能な項目は“パン/チルト”、“フォーカス”、“スピード”、“プリセット移動”、“プリセット登録”、“ワンプッシュ AF”、“イニシャル”、“スナップショット”、“AUX1”、“AUX2”、“音声”、“スナップビデオ”です。“音声”にチェックがない場合、[音声] **双方向** **集音** **拡声** にチェックをいれても各表示が有効になりません。

“スナップビデオ”にチェックがない場合、[スナップビデオ] **保存** **再生** にチェックをいれても各表示が有効になりません。

(注) “ライト”、“ワイバ”、“カメラ感度”、“霜取り”は本機では動作いたしません。

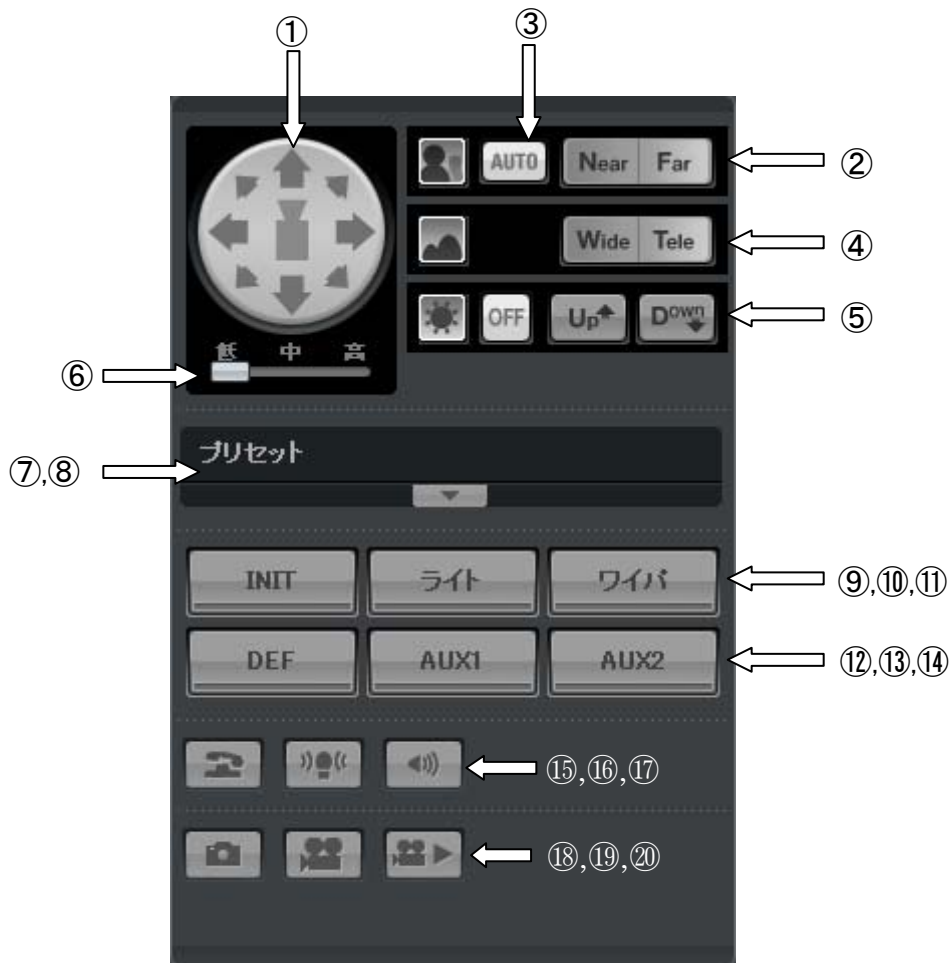
- ・**音声**: カメラ制御画面の、音声制御項目の変更を行うための設定です。

これを設定しないと、[音声] **双方向** **集音** **拡声** にチェックをいれても表示が有効になりません。

- ・**スナップビデオ**: カメラ制御画面の、スナップビデオ制御項目の変更を行うための設定です。

これを設定しないと、[スナップビデオ] **保存** **再生** にチェックをいれても表示が有効になりません。

下図は、全ての項目を有効にした場合です。



- ① **パンチルト**: カメラを上下, 左右, 斜めに移動させます。
- ② **フォーカス**: フォーカスの操作を行います。
- ③ **ワンプッシュ・オート・フォーカス**: 現在位置でのピント合わせを行います。
- ④ **ズーム**: ズームの操作を行います。
- ⑤ **カメラ感度**: カメラの感度を設定します。(注)本機はこの機能は動作しません。
- ⑥ **スピード設定**: カメラの動作速度を設定します。
- ⑦ **プリセット移動**: プリセット位置に移動させます。
- ⑧ **プリセット登録**: プリセット位置の登録を行います。
- ⑨ **イニシャル**: カメラのイニシャル動作を行います。
- ⑩ **ライト**: 照明の ON/OFF を切替えます。(注)本機はこの機能は動作しません。
- ⑪ **ワイパー**: 押している間だけワイパーを動作させます。(注)本機はこの機能は動作しません。
- ⑫ **霜取り**: 霜取りの ON/OFF を切替えます。(注)本機はこの機能は動作しません。
- ⑬ **AUX1**: AUX1 に設定した動作を実行します。 詳細については<AUX 設定>を参照ください。
- ⑭ **AUX2**: AUX2 に設定した動作を実行します。 詳細については<AUX 設定>を参照ください。

⑮ **通話**: ネットワークカメラとクライアント PC 間での通話を開始します。

もう一度押すと、通話は切断されます。

⑯ **集音**: ネットワークカメラからクライアント PC への集音を開始します。

もう一度押すと、集音は切断されます。

⑰ **拡声**: クライアント PC からネットワークカメラへの拡声を開始します。

もう一度押すと、拡声は切断されます。

(⑮、⑯、⑰はカメラ制御ボタンの**音声**にチェックが入っていないと表示されません。)

⑱ **スナップショット**: 静止画像を取り込みます。

⑲ **スナップビデオ保存**: 表示映像を簡易保存します。

⑳ **スナップビデオ再生**: 保存した映像を再生します。

(⑱、⑲、⑳はカメラ制御ボタンの**スナップビデオ**にチェックが入っていないと表示されません。)

<AUX 設定>

AUX1、AUX2 の設定を行います。

・**表示**: ボタンの表示文字を指定します。全角6文字以内で、【_()】の記号を使用できます。

・**コマンド**: 出力するコマンドを指定します。

ドロップダウンリストから選択してください。

シリアル
接点 ON
接点 OFF
接点 ON/OFF
接点 ALT

シリアル : シリアルコマンドを発行します。

接点 ON : 接点を ON にします。

接点 OFF : 接点を OFF にします。

接点 ON/OFF : ボタンを押している間は ON、離すと OFF になります。

接点 ALT : ボタンを押すたびに ON/OFF に切り替わります。

・**接点番号**: 出力する接点番号を選択します。

* 本機では接点番号は“1”のみとなります。

<映像設定>

- ・**イメージモード**:「メインビューページ」で接続する際の、コーデックとプロトコルを指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

H.264 (UDP)
H.264 (TCP)
H.264 (HTTP)
H.264 (Multi)
MPEG-4 (UDP)
MPEG-4 (TCP)
MPEG-4 (HTTP)
MPEG-4 (Multi)
JPEG (HTTP)
JPEG (Multi)

- ・**H.264,MPEG-4 再生**: H.264,MPEG-4 再生時の動作を指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

低遅延
滑らか
高精度

低遅延: 映像用のバッファを抑え、低遅延で再生可能です。

雲台付きカメラを接続する場合、このモードをご利用ください。

滑らか: 映像用のバッファを多めに持つことで、滑らかに再生します。

高精度: 遅延が少なく滑らかに表示します。CPU 使用率が著しく上がるため、

他アプリケーションとの併用は避けてください。

- ・**再接続**: ネットワークのコネクションが切断された場合に、再接続するか否かを設定します。

“ON”か“OFF”を指定して下さい。

- ・**カメラログイン**: ネットワークカメラ接続時に、カメラログインするか否かを設定します。

“ON”か“OFF”を指定して下さい。

(注)OFF に設定した場合、カメラ制御・音声制御できません。

<接続回線レート>

接続する際に使用する回線のレートを指定します。

0,16～15000[Kbps]の範囲で指定して下さい。

(注)0 を指定した場合には”制限なし”となります。

- ・**設定**: 設定内容を登録する場合に押して下さい。

3. 4. 18 [各種機能] 言語設定(Language)

表示する言語を設定します。



<言語選択>

- ・**表示言語**: 表示する言語を選択します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

自動(Auto)
日本語(Japanese)
英語(English)

- ・**設定**: 設定内容を登録する場合に押して下さい。

3. 4. 19 [アプリケーション] 機器登録

ネットワークカメラの設定を行います。

ISnax HC-IP3000

設定情報
一覧表示

本体設定
ネットワーク
基本設定
ユーザ認証

機器調整
コーデック(映像・音声)
カメラ詳細設定
カメラ制御

各種機能
アラーム
- 検点
- ホスト通知
- メール通知
- 蓄積
- 転送先FTPサーバ
定期FTP転送
SNMP
外部I/F(音声)
日付&時刻
ビューア
言語設定(Language)

アプリケーション
機器登録
多画面登録(4, 9画面)
グループ登録
登録情報コピー
起動時設定

その他
メンテナンス

ネットワーク機器登録

カメラ情報

番号: 1: CAMERA1
グループ: 1: GROUP1
カメラ名称: CAMERA1
カメラURL: 192.168.1.100
ポート(80): 80
映像種類: MPEG-4(UDP)
カメラID: 1
画素レート: 無制限
シークス: 0 [kbps]
プリセット: OFF
切替時間: 1Min
ライブ種類: ☒ カメラ直接 ☐ 録画装置経由

録画装置情報

録画装置URL (NDR):
録画装置HTTPポート(80): 80
録画装置映像ポート(2000): 2000
録画カメラ番号: 1

設定

ネットワークカメラ一覧

削除	番号	グループ	名称	URL	ポート	映像種類	カメラID	画素レート	シークス	プリセット	切替	ライブ	録画装置URL (NDR)	録画カメラ番号
☐	1	1	CAMERA1	192.168.1.100	80	MPEG-4 (UDP)	1	無制限	OFF	OFF	-1	1Min	1	1
☐	2							無制限	OFF	OFF				
☐	3							無制限	OFF	OFF				
☐	4							無制限	OFF	OFF				
☐	5							無制限	OFF	OFF				
☐	6							無制限	OFF	OFF				
☐	7							無制限	OFF	OFF				
☐	8							無制限	OFF	OFF				
☐	9							無制限	OFF	OFF				
☐	10							無制限	OFF	OFF				
☐	11							無制限	OFF	OFF				
☐	12							無制限	OFF	OFF				
☐	13							無制限	OFF	OFF				
☐	14							無制限	OFF	OFF				
☐	15							無制限	OFF	OFF				
☐	16							無制限	OFF	OFF				
☐	17							無制限	OFF	OFF				
☐	18							無制限	OFF	OFF				
☐	19							無制限	OFF	OFF				

☐ 全てチェック
 チェックの付いた機器を登録リストから削除します。

注意:
1: 0, 16~15000の範囲で指定して下さい。(0は無制限)

<カメラ情報>

- ・**番号**: 設定を行うカメラ番号を指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1~50 です。

- ・**グループ**: カメラが所属するグループを選択します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1~10 です。

- ・**カメラ名称**: 登録するカメラの名称を登録します。全角 21 文字以内で設定して下さい。

使用可能な半角記号は『_(-)』とスペースです。ここで登録した名称が、「カメラ選択ページ」のカメラ選択の名称として表示されます。(必須項目です)。

- ・**カメラ URL**: カメラの IP アドレスを設定して下さい(必須項目です)。半角 200 文字以内で指定

して下さい。半角記号は、【/~: @_#&】が使用できます。ドメイン名を使用する場合には、DNS サーバの設定が必要です。

- ・**ポート**: カメラの HTTP ポート番号を設定して下さい。

(注) 半角数字で入力して下さい。(例 80)

(注) ポート番号を変更した際に、インターネットエクスプローラ等からエンコーダにアクセスする場合には以下のように設定します。

HTTP://192.168.1.100:81 (ポートを 81 に設定した場合)

- ・**映像種類**: 表示する映像種類を選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。

H. 264 (UDP)
H. 264 (TCP)
H. 264 (HTTP)
H. 264 (Multi)
MPEG-4 (UDP)
MPEG-4 (TCP)
MPEG-4 (HTTP)
MPEG-4 (Multi)
JPEG (HTTP)
JPEG (Multi)

- ・**カメラ ID**: カメラに登録されているアナログカメラを選択します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～32 です。
- ・**回線レート**: 回線レートの設定を行います。0, 16～15000[kbps]の範囲で指定して下さい。
(注)0 に設定した場合には無制限となります。
- ・**シーケンス**: カメラをシーケンス動作時に表示するか設定します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～50、または、“OFF”です。
OFF を選択した場合にはシーケンス動作時に表示されません。
- ・**プリセット**: シーケンス動作時にカメラのプリセット移動を使用するか設定します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～16、または、“OFF”です。
OFF を選択した場合にはシーケンス動作時にプリセット移動しません。
- ・**切替時間**: シーケンス動作時のカメラ表示時間を選択します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。

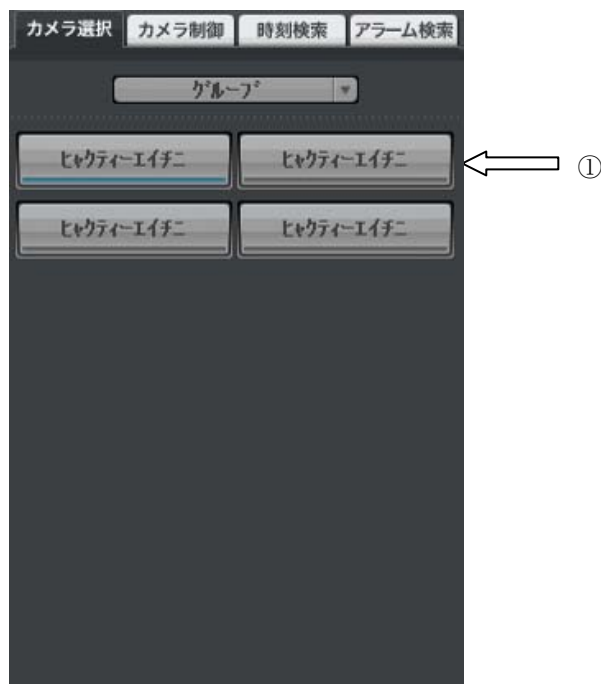
skip
5Sec
10Sec
20Sec
30Sec
1Min
2Min
3Min
4Min
5Min
10Min

skip を選択した場合にはシーケンス動作時に表示されません。

- ・**ライブ種類**: ビューアで表示するライブ映像種類の選択をします。
“カメラ直接”、または、“録画装置経由”を選択してください。

<録画装置情報>

- ・**録画装置 URL**: 録画装置の URL を設定して下さい(必須項目です)。半角 200 文字以内で指定して下さい。半角記号は、【/ ~: @ _ # &】が使用できます。ドメイン名を使用する場合には、DNS サーバの設定が必要です。
- ・**録画装置 HTTP ポート**: 録画装置の HTTP ポート番号を設定して下さい。
(注) 半角数字で入力して下さい。(例 80)
- ・**録画装置映像ポート**: 録画装置の映像ポート番号を設定して下さい。
(注) 半角数字で入力して下さい。(例 2000)
- ・**録画カメラ番号**: ネットワークカメラに登録するカメラに対応する録画装置の録画カメラ番号を選択します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1~32 です。
- ・**設定**: 設定内容を登録する場合に押して下さい。
- ・**削除**: 削除したい番号を選択して「削除」ボタンをクリックして下さい。



- ① **カメラ名称ボタン**: ネットワークカメラに登録したカメラが「カメラ選択画面」のカメラ名称ボタンに表示されます。

3. 4. 20 [アプリケーション] 多画面登録(4、9画面)

多画面パターンを設定を行います。

多画面パターン登録

4画面パターン 9画面パターン

4画面パターン

パターン番号: 1:

パターン名称:

カメラ1: OFF

カメラ2: OFF

カメラ3: OFF

カメラ4: OFF

シーケンス番号: OFF

切替時間: skip

1	2
3	4

9画面パターン

パターン番号: 1:

パターン名称:

カメラ1: OFF

カメラ2: OFF

カメラ3: OFF

カメラ4: OFF

カメラ5: OFF

カメラ6: OFF

カメラ7: OFF

カメラ8: OFF

カメラ9: OFF

シーケンス番号: OFF

切替時間: skip

1	2	3
4	5	6
7	8	9

< 4 画面パターン >

- ・ **パターン番号**: 設定を行うパターン番号を指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～13 です。

- ・ **パターン名称**: 登録するパターンの名称を登録します。全角 21 文字以内で設定して下さい。使用可能な半角記号は『_()』とスペースです。ここで登録した名称が、「カメラ選択ページ」のパターン選択の名称として表示されます。(必須項目です)。

- ・**カメラ 1** : 左上に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 2** : 右上に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 3** : 左下に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 4** : 右下に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**シーケンス番号** : パターンをシーケンス動作時に表示するか設定します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～13、または、“OFF”です。
OFF を選択した場合にはシーケンス動作時に表示されません。
- ・**切替時間** : シーケンス動作時のパターン表示時間を選択します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。

skip
5Sec
10Sec
20Sec
30Sec
1Min
2Min
3Min
4Min
5Min
10Min

skip を選択した場合にはシーケンス動作時に表示されません。

- ・**設定** : 設定内容を登録する場合に押して下さい。
- ・**削除** : 削除したいパターン番号を選択して「削除」ボタンをクリックして下さい。

<9 画面パターン>

- ・**パターン番号**: 設定を行うパターン番号を指定します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～6 です。
- ・**パターン名称**: 登録するパターンの名称を登録します。全角 16 文字以内で設定して下さい。
使用可能な半角記号は『_ - ()』とスペースです。ここで登録した名称が、「カメラ選択ページ」の
パターン選択の名称として表示されます。(必須項目です)。
- ・**カメラ 1**: 上段左に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 2**: 上段中に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 3**: 上段右に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 4**: 中段左に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 5**: 中段中に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 6**: 中段右に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 7**: 下段左に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 8**: 下段中に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**カメラ 9**: 下段右に表示するカメラを選択します。ドロップダウンリストから選択して下さい。
選択肢は「ネットワークカメラページ」で登録したカメラ番号です。
- ・**シーケンス番号**: パターンをシーケンス動作時に表示するか設定します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～6、または、“OFF”です。OFF を
選択した場合にはシーケンス動作時に表示されません。
- ・**切替時間**: シーケンス動作時のパターン表示時間を選択します。
ドロップダウンリストから選択して下さい。

skip
5Sec
10Sec
20Sec
30Sec
1Min
2Min

3Min
4Min
5Min
10Min

skip を選択した場合にはシーケンス動作時に表示されません。

- ・**設定**: 設定内容を登録する場合に押して下さい。
- ・**削除**: 削除したいパターン番号を選択して「削除」ボタンをクリックして下さい。



- ① **4画面パターン名称ボタン**: 多画面パターンに登録した4画面パターンが「4画面選択画面」の
パターン名称ボタンに表示されます。



- ② **9画面パターン名称ボタン**: 多画面パターンに登録した9画面パターンが「9画面選択画面」の
パターン名称ボタンに表示されます。

3. 4. 21 [アプリケーション] グループ登録

ネットワークカメラグループの設定を行います。

The screenshot shows the 'HC-IP3000' web interface. The sidebar on the left contains the following menu items:

- 設定情報
 - 一覧表示
- 本体設定
 - ネットワーク
 - 基本設定
 - ユーザ認証
 - 機器調整
 - コーデック(映像・音声)
 - カメラ詳細設定
 - カメラ制御
 - 各種機能
 - アラーム
 - 検点
 - ホスト通知
 - メール通知
 - 蓄積
 - 転送先FTPサーバ
 - 定期FTP転送
 - SNMP
 - 外部I/F(音声)
 - 日付&時刻
 - ビューア
 - 言語設定(Language)
 - アプリケーション
 - 機器登録
 - 多画面登録(4,9画面)
 - グループ登録
 - 登録情報コピー
 - 起動時設定
 - その他
 - メンテナンス

The main content area is titled 'グループ' (Group). It contains a 'グループ情報' (Group Information) section with a form:

グループ情報

番号: 1:GROUP1 (dropdown menu)

グループ名称: GROUP1 (text input)

[登録] (button)

To the right is a 'ネットワークカメラグループ一覧' (Network Camera Group List) table:

番号	グループ名称
1	GROUP1
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

<グループ情報>

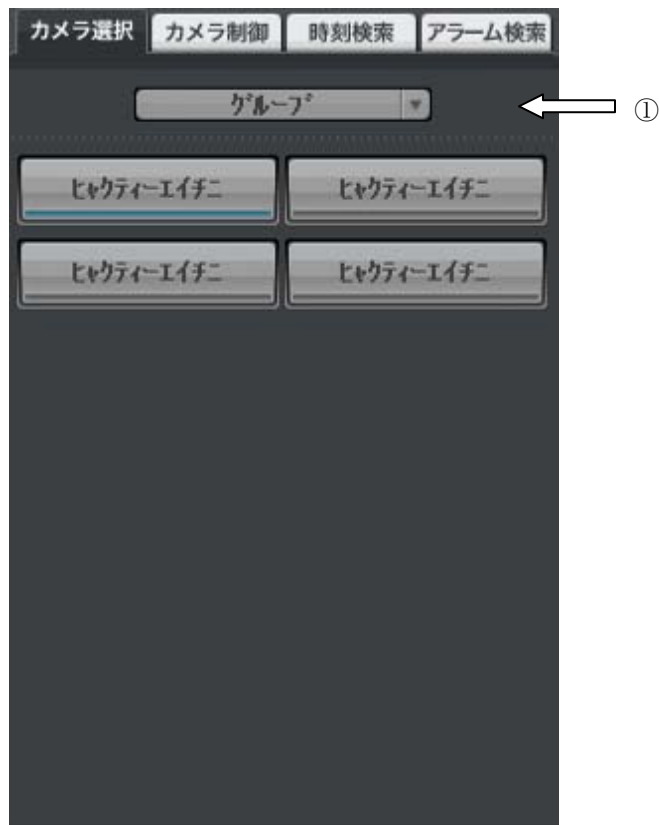
- ・**番号**: 設定を行うグループ番号を指定します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。選択肢は 1～10 です。

- ・**グループ名称**: 登録するグループの名称を登録します。全角 21 文字以内で設定して下さい。

使用可能な半角記号は『_(-)』とスペースです。ここで登録した名称が、「カメラ選択ページ」のグループ選択の名称として表示されます(必須項目です)。

- ・**登録**: 設定内容を登録する場合に押して下さい。



- ① **グループ選択**: グループ情報に登録した名称が「カメラ選択画面」のグループ選択タブに表示されます。

3. 4. 22 [アプリケーション] 登録情報コピー

他の機器からネットワークカメラ情報のコピーを行います。

HC-IP3000

設定情報
一覧表示

本体設定
ネットワーク
基本設定
ユーザ認証

機器調整
コーデック(映像・音声)
カメラ詳細設定
カメラ制御

各種機能
アラーム
-接続
-ホスト通知
-メール通知
-蓄積
-転送先FTPサーバ
定期FTP転送
SNMP
外部I/F(音声)
日付&時刻
ビューア
言語設定(Language)

アプリケーション
機器登録
多画面登録(4,9画面)
グループ登録
登録情報コピー
起動時設定

その他
メンテナンス

ネットワーク情報コピー

ネットワーク情報コピー1

コピー元のIPアドレス

ポート

ユーザ名

パスワード

注意:
1他の機器から機器登録情報、多画面登録情報、グループ登録情報をコピーします。

<ネットワーク情報コピー>

- ・**コピー元の IP アドレス**: 情報コピー元機器の IP アドレスを設定して下さい。
(注) 半角数字の値と、点“.”で入力して下さい。(例 192.168.1.100)
- ・**ポート**: 情報コピー元機器の HTTP ポート番号を設定して下さい。
(注) 半角数字で入力して下さい。(例 80)
- ・**ユーザ名**: 情報コピー元機器で認証を掛けている場合は情報コピー元機器に登録されているユーザ名を入力します。半角英数字にて 15 文字以内で入力して下さい。
- ・**パスワード**: ユーザ名に入力したユーザ名に対応するパスワードを入力します。
半角英数字にて 15 文字以内で入力して下さい。
- ・**コピー**: 入力内容にしたがってコピーを実行する場合に押して下さい。

3. 4. 23 [アプリケーション] 起動時設定

カメラ選択画面起動時動作を設定します。

＜カメラ選択画面起動時＞

- ・**ON/OFF**: カメラ選択画面起動時機能を有効にするか無効にするかを設定します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。

- ・**画像数**: カメラ選択画面起動時に表示する画面数を選択します。

ドロップダウンリストから選択して下さい。

1 画面
4 画面
9 画面

- ・**番号**: カメラ選択画面起動時に表示するカメラ番号、または、パターン番号を選択します。

ネットワークカメラ設定で登録したカメラ番号、または、多画面設定で登録した

パターン番号が選択可能です。ドロップダウンリストから選択して下さい。

- ・**シーケンス**: カメラ選択画面起動時にシーケンス動作を有効にするか無効にするか選択します。

“ON”または“OFF”を選択して下さい。(シーケンス ON 時には、**番号**は無視されます。)

- ・**設定**: 上記の設定変更を有効にするために、この設定ボタンを押して下さい。

3. 4. 24 [その他] メンテナンス

項目の初期化や動作テスト、再起動等を行います。

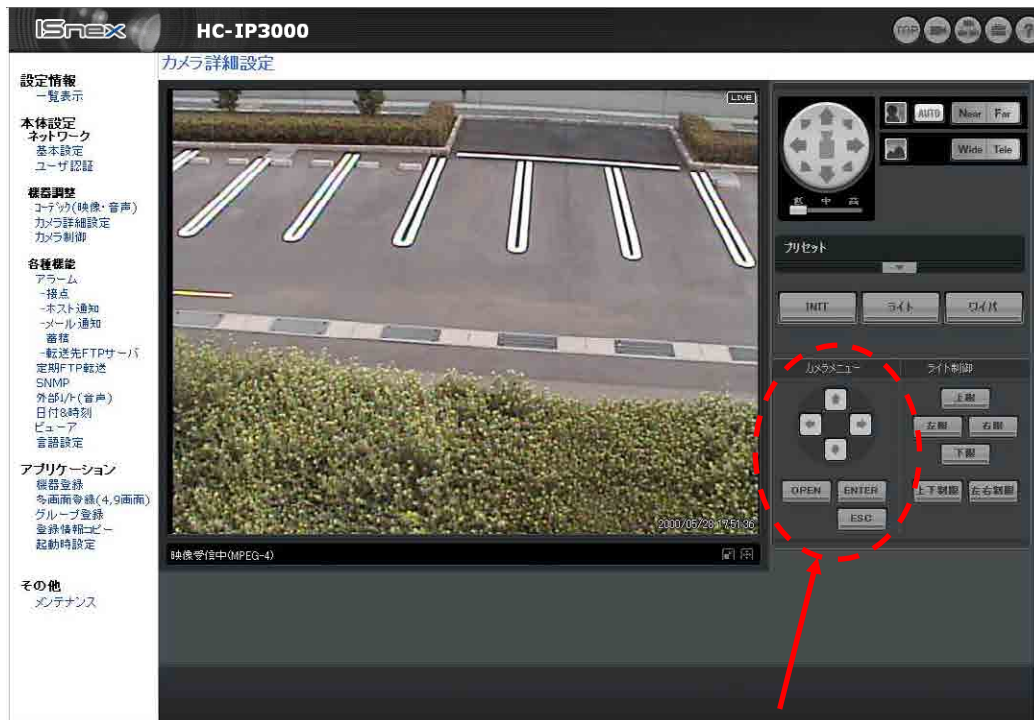


<メンテナンス>

- ・**工場出荷**: 一部の設定を除き、ネットワークカメラの設定を工場出荷時の状態に戻します。
- ・**アラーム蓄積テスト**: 擬似的にアラームを発生させます。各設定項目の確認等に使用できます。
- ・**アラームリセット**: アラームのリセットを行います。「モーダル設定」時でのアラームの解除を行います。
全てのアラームが一括してリセットされます。
- ・**WEB ページ保存**: アップロードした Web ページを保存します。作成した Web ページをアップロードした後、
この機能でフラッシュメモリに書込むことで、電源を OFF にしても保存されるようになります。
(注) 詳細は、別冊「プログラマーズガイド」を参照して下さい。
- ・**再起動**: ネットワークカメラを再起動します。

3.5 カメラメニュー

カメラメニューで各種設定を行うことができます。(カメラ詳細設定画面より)



カメラメニュー操作部

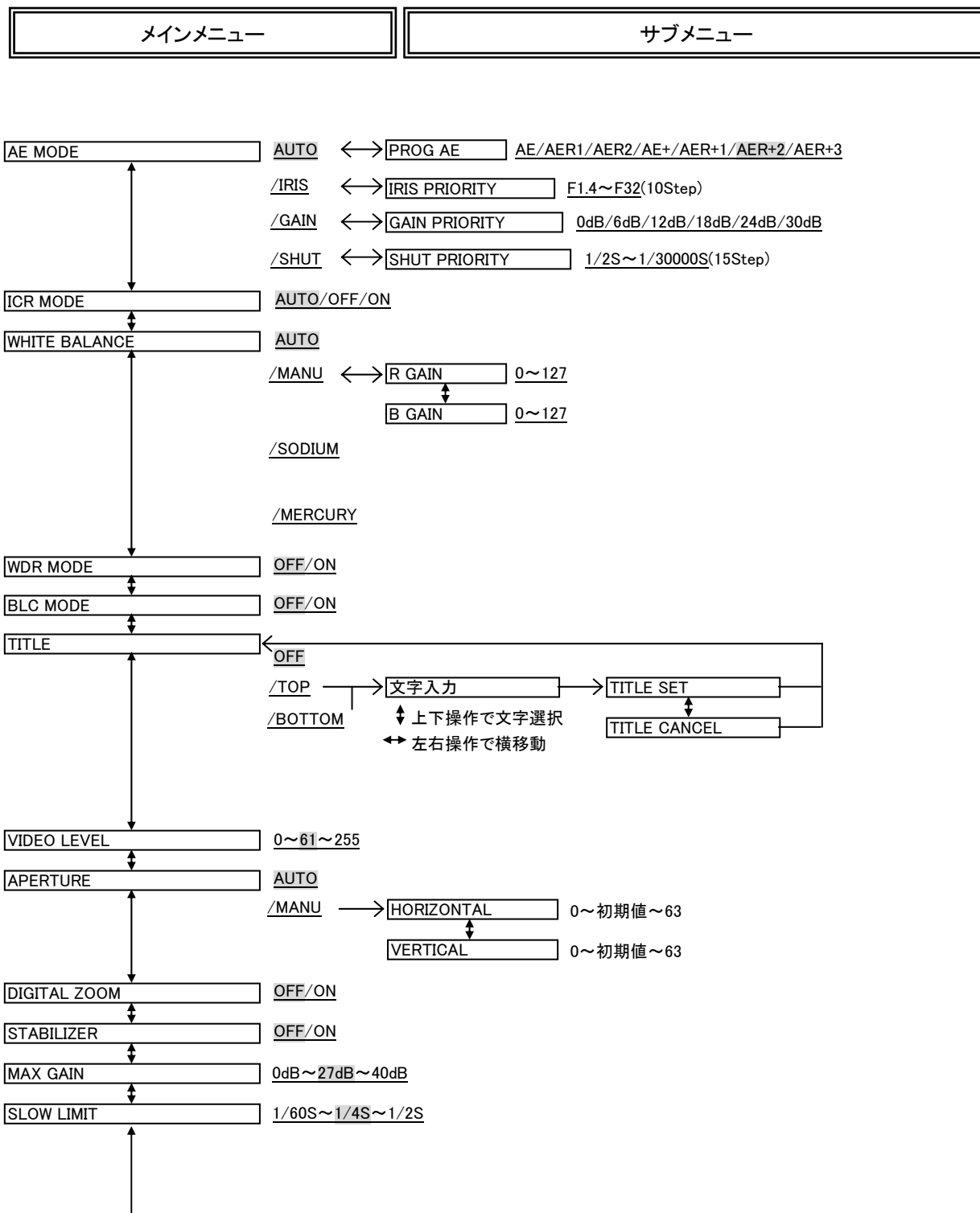
カメラメニューは、画面上の OPEN ボタンをクリックすることで表示することができます(日立製対応カメラのみ)。
上、下、左、右、ENTER ボタンをクリックすることで操作・設定が行えます。下記の設定が可能です。

- ①露光モード設定 [AE MODE]
- ②白黒(近赤外)感度アップ設定 [ICR MODE]
- ③ホワイトバランス設定 [WHITE BALANCE]
- ④ワイドダイナミックレンジ機能設定 [WDR MODE]
- ⑤逆光補正機能設定 [BLC MODE]
- ⑥タイトル文字設定 [TITLE]
- ⑦映像レベル調整 [VIDEO LEVEL]
- ⑧輪郭補正 [APERTURE]
- ⑨デジタルズーム設定 [DIGITAL ZOOM]
- ⑩揺れ補正機能設定 [STABILIZER]
- ⑪AGCゲイン最大値設定 [MAX GAIN]
- ⑫蓄積感度アップ上限値設定 [SLOW LIMIT]
- ⑬ピクチャーモード設定 [PICTURE]
- ⑭カメラメニュー初期化 [CAMERA RESET]
- ⑮雲台機能の設定・表示 [OTHERS]

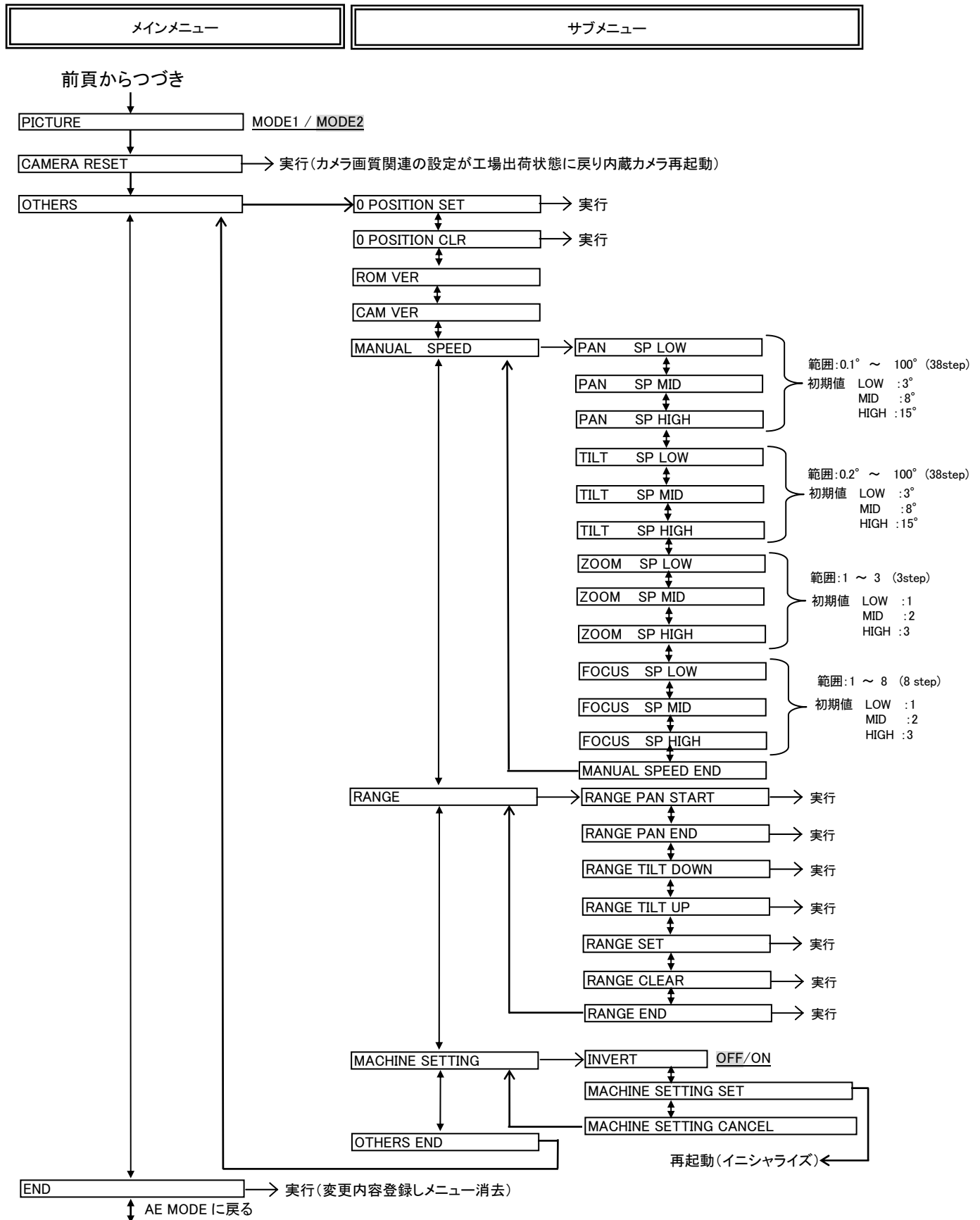
カメラメニュー構成

↑ ↓ は上下操作で切り替えます
下線は左右操作で切り替えます

⇔ は ENTER キーで切り替えます
 ■ は工場出荷時の設定です



次頁につづく

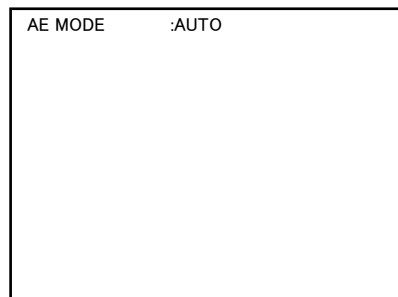


(1) 露光モード設定[AE MODE]

多様な被写体に対して最適な映像となるよう、多彩な露光調整が可能です。

1) 露光モード設定

モニター画面上に[AE MODE]設定メニューを表示し、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで切り換えます。出荷時設定は **AUTO** になっています。



露光モード設定メニュー

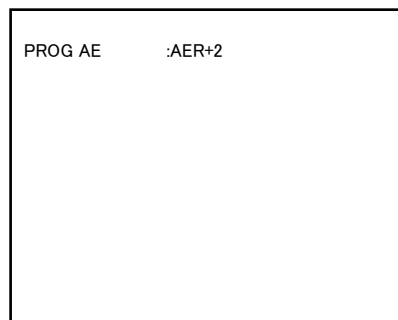
以下のように切り換えます。

AUTO→IRIS→GAIN→SHUT
↑

AUTO :フルオートモード
IRIS :アイリス優先モード
GAIN :ゲイン優先モード
SHUT :シャッター優先モード

2) プログラムAEモード設定

[AE MODE]を **AUTO** に設定したときに[ENTER]ボタンを押すと下図のようなサブメニューが表示され、**AUTO** 時の露光制御を7種のプログラムから選択できます。カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで選択し、[ENTER]ボタンで決定します。出荷時設定は **AER+2** になっています。



PROG AE 設定メニュー

以下のように切り換えます。

AE→AER1→AER2→AE+ ↓
↑ AER+3←AER+2←AER+1

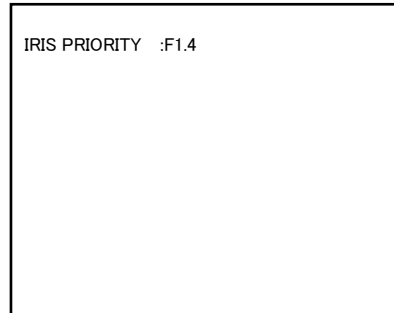
AE :1/60s～1/4000s のシャッター、アイリス及びゲインのみで自動制御するモード
(蓄積感度アップ、白黒感度アップ無し)
AE+ :上記動作に、蓄積感度アップ動作も加えた自動制御モード
(上記2モードは ICR MODE メニューのマニュアル操作で白黒感度アップが可能です)

AER1 :AE モードに白黒感度アップ動作も加えて自動制御するモード(蓄積感度アップ無し)
AER2 :AER1 と同様の制御で、AER1 よりもカラー⇒白黒に切換る照度が低めのモード
AER+1 :AE モード、白黒感度アップ、蓄積感度アップの連動自動制御モード。暗くなるに従い、[カラー⇒白黒⇒白黒かつ蓄積]と遷移します。
AER+2 :AE モード、白黒感度アップ、蓄積感度アップの連動自動制御モード。暗くなるに従い、[カラー⇒カラー蓄積⇒白黒蓄積]と遷移します。
AER+3 :AER+2 と同様の制御で、AER+2 よりもカラー⇒白黒に切換る照度が低めのモード

設定後、[ENTER]ボタンを押します。

3) アイリス優先モード設定[IRIS]

アイリスを任意の設定に固定して、ゲインとシャッタースピードはオートで動作するモードです。[AE MODE]を IRIS にして[ENTER]ボタンを押すと下図のようなサブメニューが表示され、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンでアイリス値を設定できます。



アイリス優先設定メニュー

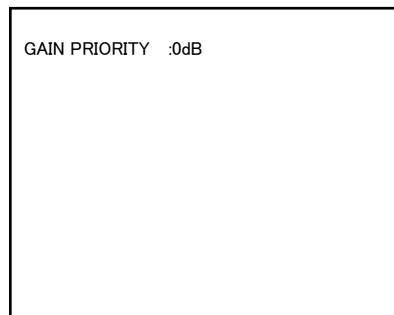
左右操作ボタン(←→)でレンズ絞り(F値)が切り替ります。

F1.4→F2.0→F2.8→F4.0→F5.6 ↓
↑ F32←F22←F16←F11←F8.0

設定後、[ENTER]ボタンを押します。

4) ゲイン優先モード設定[GAIN]

ゲインを任意の設定に固定して、アイリスとシャッタースピードはオートで動作するモードです。[AE MODE]を GAIN にして[ENTER]キーを押すと下図のようなサブメニューが表示され、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで任意でゲインを設定できます。



ゲイン優先設定メニュー

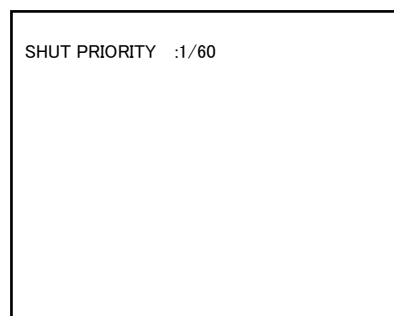
左右ボタン(←→)でゲインが切り替ります。

0dB →6dB →12dB ↓
↑ 30dB←24dB←18dB

設定後、[ENTER]ボタンを押します。

5) シャッター優先モード設定[SHUT]

シャッタースピードを任意の設定に固定して、アイリスとゲインはオートで動作するモードです。[AE MODE]を SHUT にして[ENTER]キーを押すと下図のようなサブメニューが表示され、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで任意でシャッタースピードを設定できます。



シャッター優先設定メニュー

左右操作ボタン(←→)でシャッタースピードが切り替ります。

1/60→1/120→1/180→1/250→1/500→1/1000 ↓
↓ 1/2←1/1←1/30000←1/10000←1/4000←1/2000
1/4→1/8→1/15→1/30→1/60 に戻る
(単位:sec)

設定後、[ENTER]ボタンを押します。

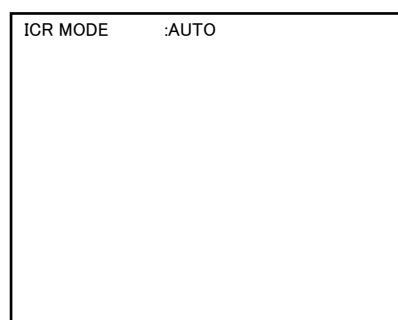
(2) 白黒(近赤外)感度アップ設定[ICR MODE]

CCD前に装着されているIRカットフィルターをメカニカルな機構で装着したり、外したりすることができます。IRカットフィルターを取り外し、近赤外光を利用して感度を上げる機能です。IRカットフィルターを取り外したときには「白黒」の映像となります。

但し、前項の AE MODE が AUTO で、AER1,AER2,AER+1,AER+2,AER+3 モードの時には、白黒感度アップは自動で動作するため、本設定は AUTO 固定となります。

白黒感度アップを手動でOFF⇒ON又はON⇒OFFさせたい場合は、AE MODEをAUTOのAEかAE+モード、又はIRIS,GAIN,SHUTモードにして御使用ください。

出荷時設定は AUTO になっています。



白黒(近赤外)感度アップ設定メニュー

左右操作ボタン(←→)で ON/OFF が切り替ります。
(AUTO 時は切換不可)

AUTO : カラー⇒白黒、白黒⇒カラーが自動制御
されているモード
(AE MODE が AER1,AER2,
AER+1,AER+2,AER+3 のいずれかの時)
OFF : 常にカラー映像のモード
ON : 常に白黒映像のモード

設定後、[ENTER]ボタンを押します。

ご注意

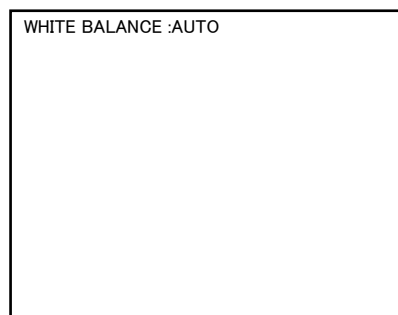
ICR MODE: AUTO 時、蛍光灯や水銀灯など、赤外光成分が含まれない照明をご使用の場合には白黒感度アップモードへの切換動作を行わない場合があります。

(3) ホワイトバランス設定[WHITE BALANCE]

1) モード設定

モニター画面上に[WHITE BALANCE]設定メニューを表示し、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで設定を切り換えます。

出荷時設定は AUTO になっています。



ホワイトバランス設定メニュー

左右操作ボタン(←→)で AUTO/MANU/SODIUM/MERCURY が切り替ります。

AUTO : 光源の色温度に追従して自動制御を行う
モード。色温度2800K～8000K(参考値)に追従しま
す。

MANU : RゲインとBゲインを手動で128ステップまで
設定できるモード

SODIUM : ナトリウム灯下に対応した自動追従モード

MERCURY: 水銀灯下に対応した自動追従モード

ご注意

WHITE BALANCE : SODIUM および MERCURY で、通常の光源 (ハロゲン／蛍光灯／太陽光) を撮影した場合若干ピンクっぽい画像となることがあります。

ご注意

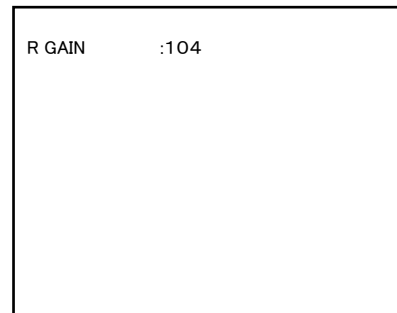
次のような場合はホワイトバランスが正常に動作しないことがありますので、ホワイトバランス調整を手動[MANU]で行ってください。

- ・ 画面の大部分を同一色が占める場合や、白が極端に少ない場合。
- ・ 背景が赤や青のとき。
- ・ 水銀灯やナトリウム灯等、特殊な照明が混在するとき。

2) MANU時の設定

[WHITE BALANCE]を MANU に設定したとき[ENTER]キーを押すと下図のようなサブメニューが表示され、Rゲイン(赤の増幅度)、Bゲイン(青の増幅度)各々の調整を行うことができます。

カメラ詳細設定のカメラメニュー上下操作(↑↓)ボタンでRゲインとBゲインが切り換え、左右操作(←→)ボタンでそれぞれのゲインが調整できます。



MANU 時サブメニュー

上下操作ボタン(↑↓)で R GAIN と B GAIN が切り換ります。

左右操作ボタン(←→)で表示されているゲインの値が切り換ります。
(調整範囲:0~127)

設定後、[ENTER]ボタンを押します。

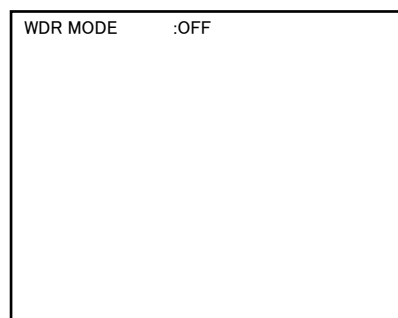
(4) ワイドダイナミックレンジ機能設定[WDR MODE]

通常の露光制御画像に高速シャッター画像を合成することにより、明暗差が比較的大きい場所でも明暗部を同一画面上に再現する自動露光モードです。

AE MODEがAUTOの場合のみONに設定できます。

但し、蓄積感度アップ(長時間露光)時、揺れ補正機能(STABILIZER)ON時はWDRが動作しません(OFF固定)。

出荷時設定は OFF になっています。



ワイドダイナミックレンジ(WDR)設定メニュー

左右操作ボタン(←→)で OFF/ON が切り換ります。

ON : 通常の露光制御画像に高速シャッター画像を合成し、被写体条件に適した露光制御、合成比率を自動制御するモード

OFF : 通常の露光制御モード

設定後、[ENTER]ボタンを押します。

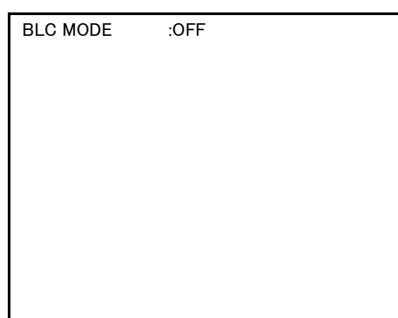
ご注意

被写体により効果に差があります。監視上の重要ポイントができるだけ画面中央部にくるように画角設定することをお奨めします。

(5) 逆光補正機能設定[BLC MODE]

背景に太陽光などの強い光が入るときには、その明るさに応じてレンズの絞りが閉じるため見たい部分が暗く写ってしまうことがあります。このような逆光状態のとき、モニター画面上に[BLC]設定メニューを表示し、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで設定を ON にすると、見たい部分が暗くなるのを防ぐことができます。出荷時設定は OFF になっています。

但し、WDR:ONの時は、BLCはOFFで使用してください。



逆光補正(BLC)設定メニュー

左右操作ボタン(←→)で OFF/ON が切り換ります。

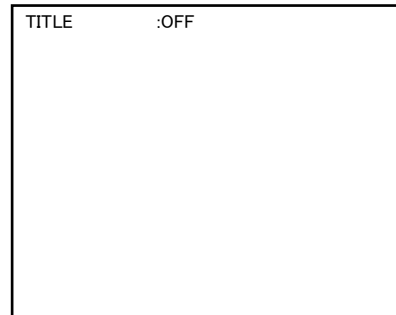
設定後、[ENTER]ボタンを押します。

(6) タイトル文字設定[TITLE]

画面上部、又は下部に24文字までタイトル文字を表示させることができます。
アルファベット大文字、数字、又は記号を表示可能です。

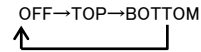
1) 表示／未表示の設定

モニター画面上に[TITLE]設定メニューを表示し、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで設定を切換えます。出荷時設定は OFF になっています。



タイトル文字設定メニュー

左右操作ボタン(←→)で以下のように切換ります。



OFF: 文字を表示しない。

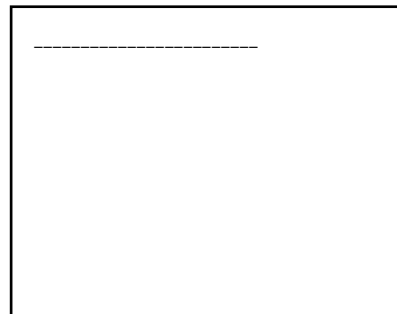
TOP: 画面上部に文字を表示する。

BOTTOM: 画面下部に文字を表示する。

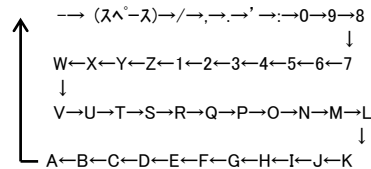
2) タイトル文字の登録

タイトル文字設定メニューを TOP 又は BOTTOM にした状態で[ENTER]ボタンを押すと下図のようなタイトル文字登録メニューが表示され、表示する文字列を登録できます。

カメラ詳細設定のカメラメニュー上下操作(↑↓)ボタンで入力文字が切り、左右操作(←→)ボタンで表示位置が設定できます。

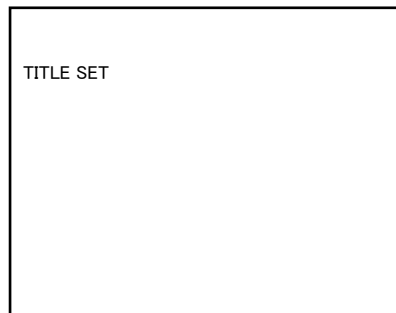


下ボタン(↓)で以下のように切換ります。



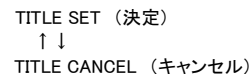
3) 登録内容の決定／キャンセル

2) 項で登録後、[ENTER]ボタンを押すと、下図のような登録決定メニューとなります。2) 項の登録内容を決定するときには TITLE SET を表示させて[ENTER]ボタンを押し、キャンセルするときには TITLE CANCEL を表示させて[ENTER]ボタンを押します。登録内容が決定又はキャンセルされ1) 項のタイトル文字設定メニューに戻ります。



文字登録決定メニュー

上下操作ボタン(↑↓)で以下のように切換ります。

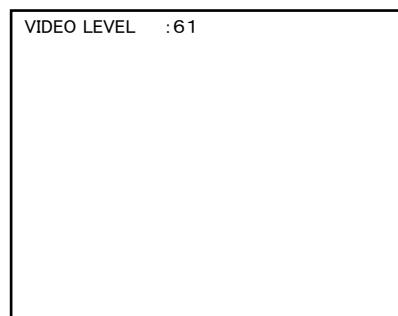


(7) 映像レベル調整[VIDEO LEVEL]

工場出荷時は最適な映像レベルに設定されていますが、映像レベルを変更したい場合はこのメニューで調整します。

モニター画面上に[VIDEO LEVEL]設定メニューを表示させ、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで設定値を変更して下さい。

出荷時設定は、61 となっています。



映像レベル調整メニュー

左右操作ボタン(←→)で映像レベルが変わります。

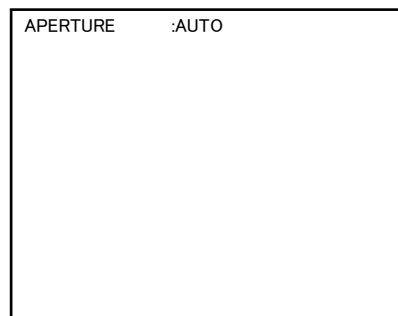
設定値 : 0~61~255

映像レベル: 低い ←→ 高い

(8) 輪郭補正[APERTURE]

1) 映像の輪郭補正量を調整できます。被写体が文字であるような場合には、輪郭を強調することにより見やすくなります。モニター画面上に[APERTURE]設定メニューを表示させ、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで設定してください。

出荷時設定は AUTO となっています。



輪郭補正設定メニュー

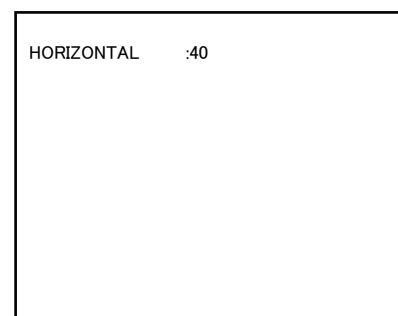
左右操作ボタン(←→)で AUTO/MANU が変わります。

AUTO : 被写体に合わせて輪郭補正量を自動で制御します

MANU : 水平、垂直の輪郭補正量を手動で設定できるモード

2) MANU 時の設定

[APERTURE]を MANU に設定したとき[ENTER]キーを押すと下図のようなサブメニューが表示され、水平方向／垂直方向の輪郭補正量を調整できます。カメラ詳細設定のカメラメニュー上下操作(↑↓)ボタンで水平(HORIZONTAL)と垂直(VERTICAL)が切り換え、左右操作ボタン(←→)でそれぞれの輪郭補正量が調整できます。



輪郭補正サブメニュー

上下操作ボタン(↑↓)で HORIZONTAL と VERTICAL が切り換ります。

左右操作ボタン(←→)で表示されている方向の輪郭補正量が変わります。
(調整範囲: 0~63)

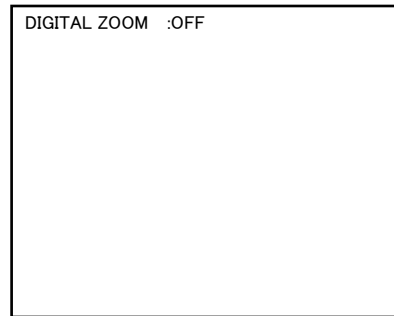
設定後、[ENTER]ボタンを押します。

(9) デジタルズーム設定[DIGITAL ZOOM]

モニター画面上に[DIGITAL ZOOM]設定メニューを表示し、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで設定を ON にすると、光学ズームが望遠(TELE)一杯になった後、更に[TELE]ボタンを押し続けることによりデジタルズームモードになります。

デジタルズームのズーム比は最大12倍です。

出荷時設定は OFF になっています。



デジタルズーム設定メニュー

左右操作ボタン(←→)で OFF/ON が切り替えます。

ご注意

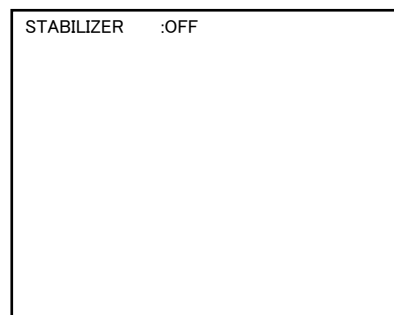
デジタルズームは、ズームレンズの倍率を変えずに内蔵の画像メモリを利用して画面を拡大する機能です。画面を拡大すると倍率に比例して画質が劣化します。また、画像レベルが若干変動することがあります。

(10) 揺れ補正機能設定[STABILIZER]

画像の揺れをカメラ内部で自動的に補正する機能です。カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで設定を ON にすると画角が OFF 時の約1.3倍になり自動補正を行います。

但し、WDR:ON時、及び蓄積感度アップ時には本機能は動作しません。

出荷時設定は OFF になっています。



揺れ補正メニュー

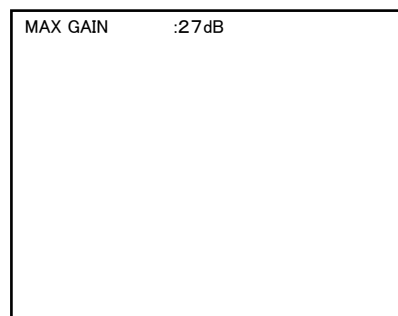
左右操作ボタン(←→)で OFF/ON が切り替えます。

ご注意

- 1) 揺れが非常に大きい場合は STABILIZER が ON であっても補正は動作しません。
- 2) 蓄積感度アップ時 STABILIZER:OFF→ON すると、蓄積感度アップは OFF になります。
- 3) 雲台の水平、垂直旋回中及びプリセット動作のスタート、ストップ時には良好な揺れ補正動作を行いません。
- 4) WDR:ON 中に STABILIZER:OFF→ON すると WDR は OFF になります。その後 STABILIZER:OFF にしても WDR は ON に戻りません。WDR:ON の設定を再度行う必要があります。

(11) AGCゲイン最大値設定[MAX GAIN]

AE MODE: AUTO 時の最大ゲインを設定できます。[MAX GAIN]メニューを表示させ、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで最大ゲインを設定します。
出荷時設定は 27dB になっています。



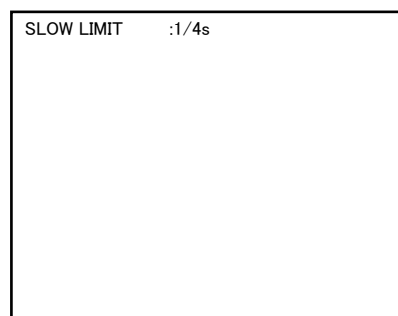
最大ゲイン設定メニュー

左右操作ボタン(←→)で最大ゲインが切り替わります。

設定範囲 : 0dB~27dB~40dB
(1dB ステップ)

(12) 蓄積感度アップ上限値設定[SLOW LIMIT]

AE MODE: AUTO 時の蓄積感度アップの最大倍率を設定できます。[SLOW LIMIT]メニューを表示させ、カメラ詳細設定のカメラメニュー左右操作(←→)ボタンで最大ゲインを設定します。
出荷時設定は 1/4s になっています。



蓄積感度アップ上限値設定メニュー

左右操作ボタン(←→)で最大倍率が以下のように切り替わります。

1/4s→1/8s→1/15s→1/30s→1/60s→1/2s

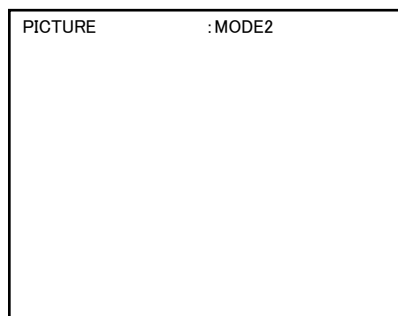


単位 (sec)

1/2s→	蓄積倍率 : 約32倍
1/4s→	: 約16倍
1/8s→	: 約8倍
1/15s→	: 約4倍
1/30s→	: 約2倍
1/60s→	: 1倍 (OFF 時と同等)

(13) ピクチャーモード設定[PICTURE]

モニター画面上に[PICTURE]メニューを表示した状態で左右操作(←→)ボタンを押し設定すると、内蔵カメラの色付き、明るさを変えることができます。
出荷時は、MODE2 となっています。



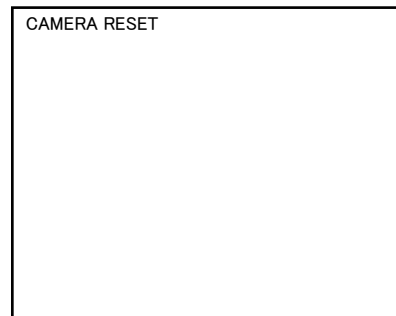
ピクチャーモードメニュー

MODE1: 標準的な色付き、明るさのモード
MODE2: 色付きが若干濃く、明るめのモード

左右操作ボタン(←→)で切り替わります。

(14) カメラメニュー初期化[CAMERA RESET]

モニター画面上に[CAMERA RESET]メニューを表示した状態で[ENTER]ボタンを押すと、カメラ設定メニュー全項目の設定を工場出荷時の設定に戻し、内蔵カメラ(レンズ含む)をイニシャライズすることができます。
但し、次項で述べる[OTHERS]メニュー内の項目についてはリセットされません。



カメラリセットメニュー

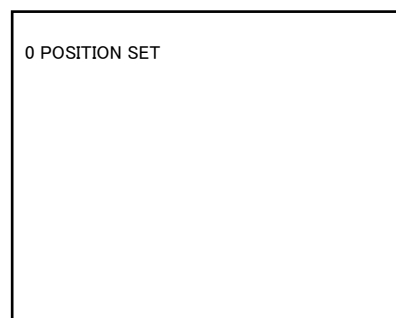
[ENTER]ボタンを押すと、カメラメニュー設定項目が工場出荷状態に戻ります。

一旦画が消え、イニシャライズ動作し再起動します。
(約10数秒で復帰)

(15) 雲台機能の設定及び表示[OTHERS]

モニター画面上に[OTHERS]メニューを表示させ、[ENTER]ボタンを押すと以下のようなサブメニューが表示され、雲台部に関わる各種設定、表示ができます。

上下操作ボタン(↑↓)で以下のように切り替えます。



OTHERS サブメニュー

```

0 POSITION SET (0ポジション登録)
↓
0 POSITION CLR (0ポジション解除)
↓
ROM VER (雲台 ROM バージョン表示)
↓
CAM VER (内蔵カメラバージョン表示)
↓
MANUAL SPEED (パンチルト・ズーム・フォーカス速度設定)
↓
RANGE (旋回範囲の設定)
↓
MACHINE SETTING (通信設定)
↓
OTHERS END (メインメニューに戻る)

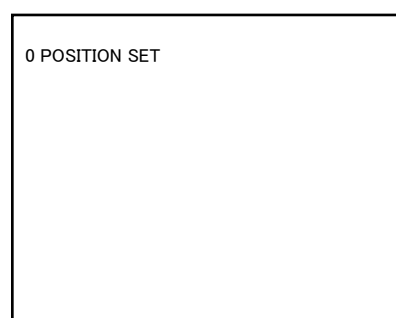
```

1) 0ポジション登録・解除

本機は電源投入後、イニシャル動作(約30秒)を完了するとすぐに、ホームポジション(0ポジション)へ移動し停止します。0ポジションが登録されていない場合は 原点位置(正面、水平)で停止します。

出荷時設定は**0ポジション未登録**です。

希望のホームポジション(0ポジション)がある場合には、パン、チルト、ズーム、フォーカスを希望の位置に合わせ、その後モニター画面上に[OTHERS]メニューを表示し[ENTER]ボタンを押して、下図のサブメニューを表示させ、登録してください。



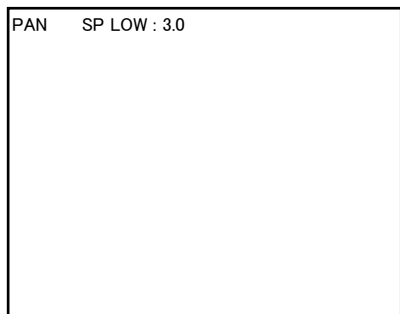
OTHERS サブメニュー

・0 POSITION SET 表示→[ENTER]で、現在の停止位置が0ポジション登録される。

・0 POSITION CLR 表示→[ENTER]で、従来登録されていた0ポジションをクリア(解除)する。

2) 雲台動作マニュアルスピードの設定[MANUAL SPEED]

モニター画面上に[MANUAL SPEED]メニューを表示した状態で[ENTER]ボタンを押すと、パン・チルト、ズーム、フォーカス速度（低、中、高の3段階）をカメラメニューの上下左右操作にて個別設定することができます。



マニュアルスピードメニュー

上下操作ボタン(↑↓)で下記のように切り替えます。

設定項目を選択した後に左右操作ボタン(←→)で設定値選択

PAN SP LOW(パン速度:低) ←
↓
PAN SP MID(パン速度:中)
↓
PAN SP HIGH(パン速度:高)
↓
TILT SP LOW(チルト速度:低)
↓
TILT SP MID(チルト速度:中)
↓
TILT SP HIGH(チルト速度:高)
↓
ZOOM SP LOW(ズーム速度:低)
↓
ZOOM SP MID(ズーム速度:中)
↓
ZOOM SP HIGH(ズーム速度:高)
↓
FOCUS SP LOW(フォーカス:低)
↓
FOCUS SP MID(フォーカス:中)
↓
FOCUS SP HIGH(フォーカス:高)
↓
MANUAL SP END(設定終了、OTHERS サブメニューへ)

各設定値は以下の表に記載します。(ズーム・フォーカス速度設定は段階のみです)

マニュアルスピード設定値一覧表

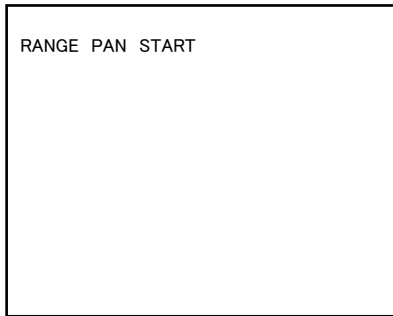
動作系	速度	初期値(工場出荷時)	最小設定値	最大設定値
パン	LOW	3.0[° /S]	0.3[° /S]	100[° /S]
	MID	8.0[° /S]	0.3[° /S]	100[° /S]
	HIGH	15.0[° /S]	0.3[° /S]	100[° /S]
チルト	LOW	3.0[° /S]	0.2[° /S]	100[° /S]
	MID	8.0[° /S]	0.2[° /S]	100[° /S]
	HIGH	15.0[° /S]	0.2[° /S]	100[° /S]
ズーム	LOW	1	1	3
	MID	2	1	3
	HIGH	3	1	3
フォーカス	LOW	1	1	8
	MID	2	1	8
	HIGH	3	1	8

パン・チルト動作、ステップ表

動作速度	設定値[° /S]
パン	0.3、0.6、1.0、2.0、3.0、…(1° 毎)…19、20、25、30、…(5° 毎)…95、100
チルト	0.2、0.6、1.0、2.0、3.0、…(1° 毎)…19、20、25、30、…(5° 毎)…95、100

3) 水平／垂直旋回範囲の設定[RANGE]

水平／垂直旋回範囲を制限することができます。プライバシー保護が必要な場合などに設定します。



旋回範囲設定メニュー

●水平旋回範囲を制限する方法

- ① RANGE メニューを表示させ ENTER を押します。
RANGE PAN START と表示されます。(左図)
- ② 水平方向にカメラを旋回させ、監視したい範囲の左端に画角を合わせます。
- ③ ENTER を押します。
RANGE PAN START OK と表示が変わります。
- ④ ↑ ↓ ボタン操作で、RANGE PAN END を表示させます。
- ⑤ 右方向にカメラを旋回させ、監視したい範囲の右端に画角を合わせます。
- ⑥ ENTER を押します。
RANGE PAN END OK と表示が変わります。
- ⑦ ↑ ↓ ボタン操作で、RANGE SET を表示させ、ENTER を押します。
RANGE SET OK と表示が変わります。
- ⑧ ↑ ↓ ボタン操作で、RANGE END を表示させ、ENTER を押します。
RANGE メニューに戻ります。設定完了です。

●垂直旋回範囲を制限する方法

- 上記と同様の流れで設定可能です。但し、下端／上端の登録は、
RANGE TILT DOWN(動作範囲の下端設定)及び、
RANGE TILT UP(動作範囲の上端設定)を表示、ENTER を押します。
(行尾に OK 表示が追加される)
⑦、⑧の手順は上記と同様です。

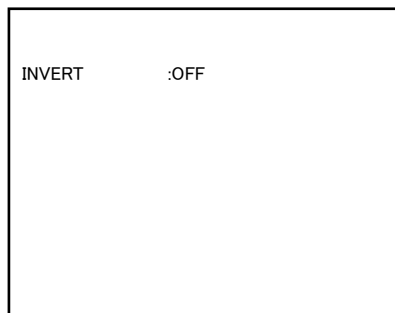
●旋回範囲制限を解除する方法

- ① RANGE メニューを表示させ ENTER を押します。RANGE PAN START と表示されます。
- ② ↑ ↓ ボタン操作で、RANGE CREAM を表示させ、ENTER を押します。RANGE CREAM OK と表示が変わります
- ③ ↑ ↓ ボタン操作で、RANGE END を表示させ、ENTER を押します。RANGE メニューに戻り、完了です。

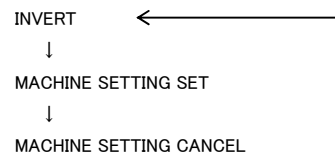
4) 設置工事時の設定

[OTHERS]サブメニューから MACHINE SETTING を表示させ、[ENTER]ボタンを押すと、カメラ正立／天吊り切換(映像反転)メニューが表示され、OFF/ON を設定できます。

出荷時設定は、INVERT:OFF(天吊り据付対応)、となっています。



上下操作(↑↓)で下記のように切り換ります。



INVERT :ON(OFF)を設定後、↓ ボタンで MACHINE SETTING SET を表示させ、ENTER を押します。
表示が消え、約10秒後に機器がイニシャライズ動作し、設定した値が反映され再起動します。

3. 6 インフォメーション

製品について

製品バージョンの表示を行います。



<HC-IP3000>

- **バージョン**: ネットワークカメラのバージョンを表示します。
- **ビルド番号**: ネットワークカメラのビルド番号を表示します。
- **コーデックバージョン**: コーデックのバージョンを表示します。
- **Viewerバージョン**: Viewer のバージョンを表示します。
- **Web ページ**: Web ページのバージョンを表示します。
- **Contバージョン**: カメラコントロール部のバージョンを表示します。

圧縮モードパラメーター一覧

H.264、MPEG-4 の「標準画質」、「動き優先」設定時のパラメータ詳細一覧を表示します。

ISnexus

HC-IP3000

TOP 設定 動作確認 仕様書 問い合わせ

設定情報
一覧表示

本体設定
ネットワーク
基本設定
ユーザ認証

機器調整

- コーデック(映像・音声)
- カメラ詳細設定
- カメラ制御

各種機能

- アラーム
 - 接続
 - ホスト通知
 - メール通知
 - 蓄積
 - 転送先FTPサーバ
- 定期FTP転送
- SNMP
- 外部I/F(音声)
- 日付&時刻
- ビューア
- 言語設定

アプリケーション

- 機器登録
- 多画面登録(4,9画面)
- グループ登録
- 登録情報コピー
- 起動時設定

その他

メンテナンス

圧縮モードパラメーター一覧

H.264又はMPEG-4の圧縮モード設定を「標準画質」「動き優先」に設定した場合、H.264又はMPEG-4の詳細パラメータは下表に示す値となります。
これ以上のフレームレートに設定する場合は圧縮モードを「カスタム」に設定して下さい。

MPEG-4 H.264

MPEG-4

圧縮モード	画像サイズ	ビットレート[kbps]	最大フレームレート[fps]	IVOP間隔[s]	Qmin	QMax
標準画質	VGA	3000	30	1	2	20
		2000	30	2	2	31
		1500	30	3	2	31
		800	10	1	2	20
		500	5	5	2	20
		320	3	1	2	20
	HVGA	100	2	5	5	20
		45	1	5	5	20
		25	1	5	4	20
		16	1	5	4	20
		3000	30	1	2	20
		2000	30	2	2	31
	QVGA	1500	30	2	2	31
		800	10	1	2	20
		500	5	3	2	20
		320	3	1	2	20
		100	2	5	5	20
		45	1	5	5	20

圧縮モード	画像サイズ	ビットレート[kbps]	最大フレームレート[fps]	IVOP間隔[s]	Qmin	QMax
動き優先	VGA	3000	30	1	3	31
		2000	30	1	5	31
		1500	30	5	5	31
		800	30	1	8	31
		500	15	1	8	31
		320	10	5	15	31
	HVGA	100	3	5	20	31
		45	1	5	25	31
		25	1	5	25	31
		16	1	5	25	31
		3000	30	1	2	31
		2000	30	1	2	31
	QVGA	1500	30	1	5	31
		800	30	1	8	31
		500	15	1	8	31
		320	10	5	15	31
		100	5	5	20	31
		45	2	5	25	31

H.264

圧縮モード	画像サイズ	ビットレート[kbps]	最大フレームレート[fps]	IVOP間隔[s]	Qmin	QMax
標準画質	VGA	3000	30	1	3	32
		2000	30	1	3	32
		1500	30	1	4	35
		800	15	1	10	40
		500	15	1	10	40
		320	6	5	2	40
	HVGA	100	2	5	2	40
		45	1	5	25	50
		25	1	5	15	50
		16	1	5	15	50
		3000	30	1	5	40
		2000	30	1	3	40
	QVGA	1500	30	1	4	40
		800	15	1	10	40
		500	15	1	10	40
		320	6	5	2	40
		100	2	5	2	40
		45	1	5	25	50

圧縮モード	画像サイズ	ビットレート[kbps]	最大フレームレート[fps]	IVOP間隔[s]	Qmin	QMax
動き優先	VGA	3000	30	1	2	50
		2000	30	1	3	50
		1500	30	1	4	50
		800	30	1	10	40
		500	30	1	10	40
		320	15	1	15	50
	HVGA	100	10	5	15	50
		45	3	3	15	50
		25	1	5	30	50
		16	1	5	30	50
		3000	30	1	2	50
		2000	30	1	3	50
	QVGA	1500	30	1	4	50
		800	30	1	10	40
		500	30	1	10	40
		320	15	1	15	50
		100	10	5	15	50
		45	3	3	15	50

MPEG-4 H.264

MPEG-4 H.264

「コーデック(映像・音声)」のリンクから表示されます。

第4章 故障かなとおもったら

「故障かな?」と思われた場合には、販売店に連絡する前に、以下の各項目を確認して下さい。

本機が動作しない

- ・ LAN コネクタにEthernetケーブルが正しく接続されていますか？
- ・ 本機を接続しているEthernet HUB は PoE (IEEE802.3af 準拠) 対応していますか？

<それでも解決しない場合は、販売店にご連絡下さい。>

ホームページが表示されない

- ・正しいEthernetケーブルを使用しているか確認して下さい。
HUBとの接続は、ストレートケーブルを使用して下さい。
10BASE-Tで接続する場合は、カテゴリ-3以上、100BASE-TXで接続する場合は、カテゴリ-5e 以上の UTP ケーブルが必要です。
- ・Ethernetケーブルが正しく接続されているか確認して下さい。
LAN に正しく接続されていれば、LAN コネクタのLEDが点灯します。
- ・ネットワーク設定が正しいか確認して下さい。
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが実際に接続する LAN に合わせて、正しく設定されていることを確認して下さい。
- ・ネットワーク設定を変更した場合には、本機(カメラ)が再起動処理を行います。再起動処理中は接続できません。
- ・ブラウザでアドレス入力テキストボックスに指定している本機のアドレスとファイル名が正しいか確認して下さい。本機の工場出荷時の IP アドレスは“192.168.1.100”です。
- ・連続して、素早く更新や移動を行うと、ページが表示されなくなったり、ページの背景やロゴマークが表示されなくなる場合があります。原因として、ネットワークのリソースの不足が考えられます。
ブラウザを全て閉じてしばらくしてから接続し直して下さい。
- ・カメラおよびPCを再起動させてもう一度接続しなおして下さい。

<それでも解決しない場合は、販売店にご連絡下さい。>

ライブ映像が表示されない

- ・映像表示用ソフト「ISnex Viewer」が正しくインストールされていることを確認して下さい。
映像表示用がインストールされていない場合、映像画面が表示されません。
(取扱説明書の2. 6項「映像表示用ソフトのインストール」を参照して下さい。)
- ・ご使用のクライアントPCとブラウザの仕様を取扱説明書の1. 5項「動作環境」で確認して下さい。
- ・本機は最大で10クライアントが同時に映像を表示することができます。これを超えて映像を見ようとすると、「接続ユーザ数が多い」とのメッセージが表示されます。
- ・本機には「ライブ映像表示」にユーザ制限を設けることができます。制限を設けた場合には、「接続権がありません」とメッセージが表示されます。この場合には、本機の管理者にご相談下さい。
- ・連続して、素早く更新や移動を行うと、ページが表示されなくなったり、ページの背景やロゴマークが表示されなくなったり、「要求したファイルがダウンロードできません」と表示されたりする場合があります。原因として、ネットワークのリソースの不足が考えられます。ブラウザを全て閉じてしばらくしてから接続し直して下さい。

<それでも解決しない場合は、販売店にご連絡下さい。>

管理者パスワードがわからない

- ・本機の管理者にパスワードをお問い合わせ下さい。
- ・本機の工場出荷時の管理者パスワードは“admin”です。

カメラ映像が暗い

- ・ビデオレベルの設定が変更されていないか確認してください。
(取扱説明書の3. 5項「カメラメニュー」を参照してください)
本機の工場出荷時は“61”となっております。

カメラ映像が白っぽい

- ・ビデオレベルの設定が変更されていないか確認してください。
(取扱説明書の3. 5項「カメラメニュー」を参照してください)
本機の工場出荷時は“61”となっております。

カメラ映像がぼやける

- ・カメラレンズ部にごみやほこり、よごれが付着していないか確認してください。
- ・フォーカスが正しく調節されているか確認してください。ワンプッシュオートフォーカスまたはマニュアル操作にてフォーカスを調節してください。
- ・イニシャライズもしくはカメラリセットを実行してカメラの初期化を行ってください。
(対象画像によって、長時間同じ映像を撮影し続けると少しずつフォーカスが甘くなる場合があります)

第5章 仕様・その他

5.1 主な仕様

1 回転部、ケース部

(1) 設置条件	屋内専用
(2) 最大旋回角度	水平: エントレス 垂直: +30° ~ -90° ±2° (天吊時)
(3) 水平回転速度	0.3° / 秒 ~ 100° / 秒 (マニュアル) ±10%、300° / 秒 (プリセット) ±10%
(4) 垂直回転速度	0.2° / 秒 ~ 100° / 秒 (マニュアル) ±10%、300° / 秒 (プリセット) ±10%
(5) プリセット制御項目	雲台 パン (左、右) チルト (上、下) レンズ ズーム (広角、望遠) フォーカス (遠、近)
(6) プリセットポジション	最大 16 ヶ所
(7) プリセット停止精度	水平 / 垂直: ±0.3° 以内

2 カメラ部

(1) カラー方式	NTSC方式準拠
(2) 撮像素子	1/4 型 CCD
(3) 有効画素数	768 (H) × 494 (V) 約 38 万画素
(4) 同期方式	内部同期
(5) 最低被写体照度	通常モード時 カラー 0.5 lx 白黒 0.05 lx 蓄積モード時 カラー 0.02 lx (32 倍) 白黒 0.002 lx
(6) S/N 比	50dB 以上
(7) フリッカー補正	自動補正
(8) WDR 機能	有り
(9) 映像信号出力	VBS(1.0Vp-p)調整用 1 系統 (φ 3.5mm ミニジャック)

3 レンズ部

(1) ズーム比	35 倍 (光学)
(2) 焦点距離	3.4 ~ 119mm
(3) 最大口径比	1:1.4 (WIDE) ~ 1:4.2 (TELE)
(4) 水平画角	約 58.2° (WIDE 端) ~ 約 1.8° (TELE 端)

4 映像・音声圧縮部

(1) 圧縮方式	H. 264 / MPEG4 / JPEG
(2) 解像度	640 × 480、640 × 240 320 × 240
(3) MPEG4 ビットレート	16K ~ 3Mbps
(4) JPEG 圧縮率	15 段階
(5) 映像更新レート	最高 30fps
(6) 音声圧縮方式	ADPCM (G.726) (16/24/32kbps) 入力数: MIC × 1 (-60dBV) 端子台 出力数: LINE × 1 (-10dBV) 端子台

5 ネットワーク部

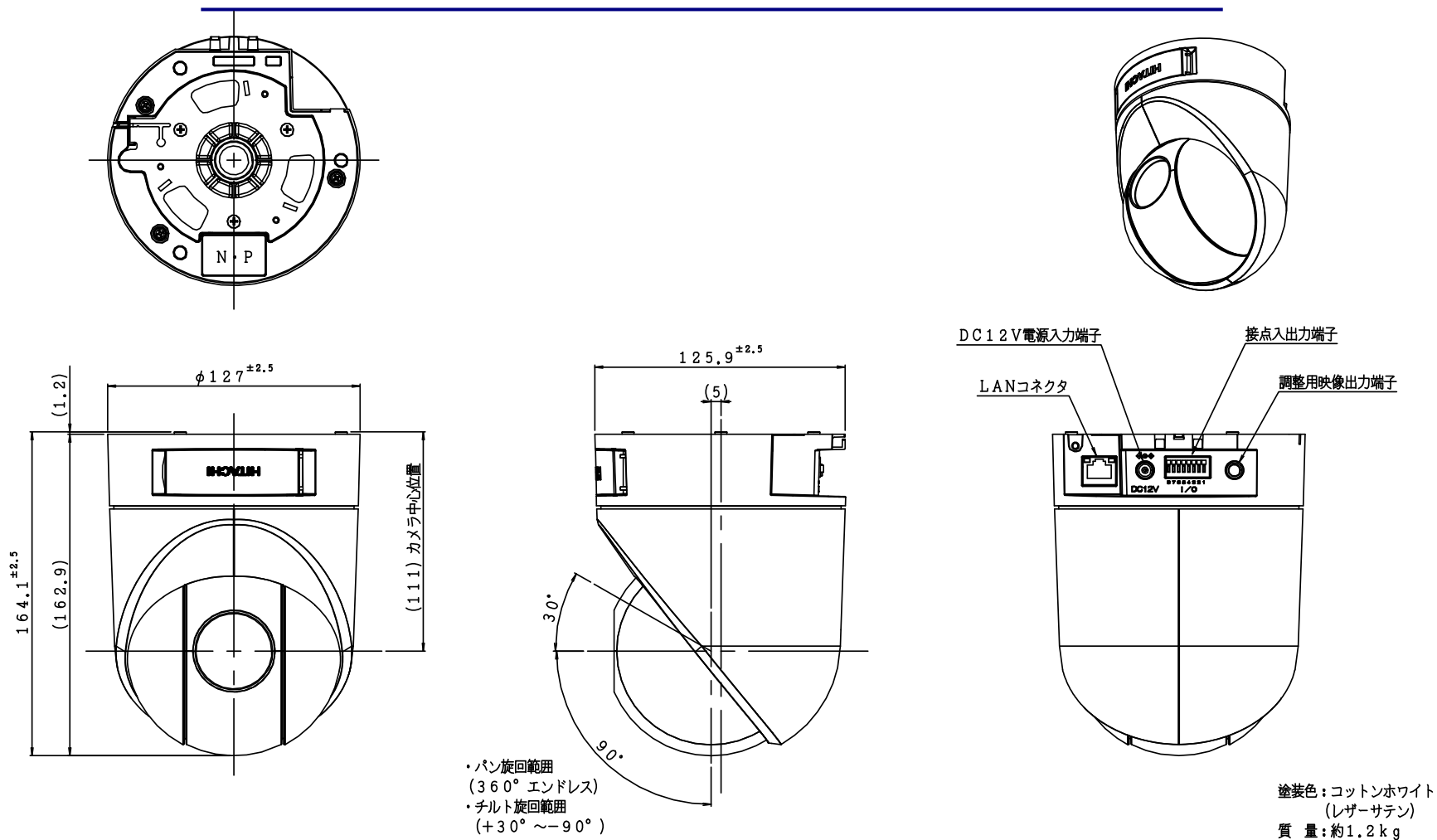
(1) インターフェース	Ethernet: 100BASE-TX、10BASE-T (RJ-45)
(2) 通信モード	自動、手動
(3) プロトコル	TCP/IP、UDP、HTTP、FTP、SMTP、SNTP、RTSP、RTCP、RTP、DNS
(4) 最大配信量	設定可能
(5) ユーザー登録数	最大 10
(6) 対応 OS	Windows XP Home Edition SP2 Windows Vista SP1
(7) 対応ブラウザ	Internet Explorer 6.0、7.0

6 一般仕様

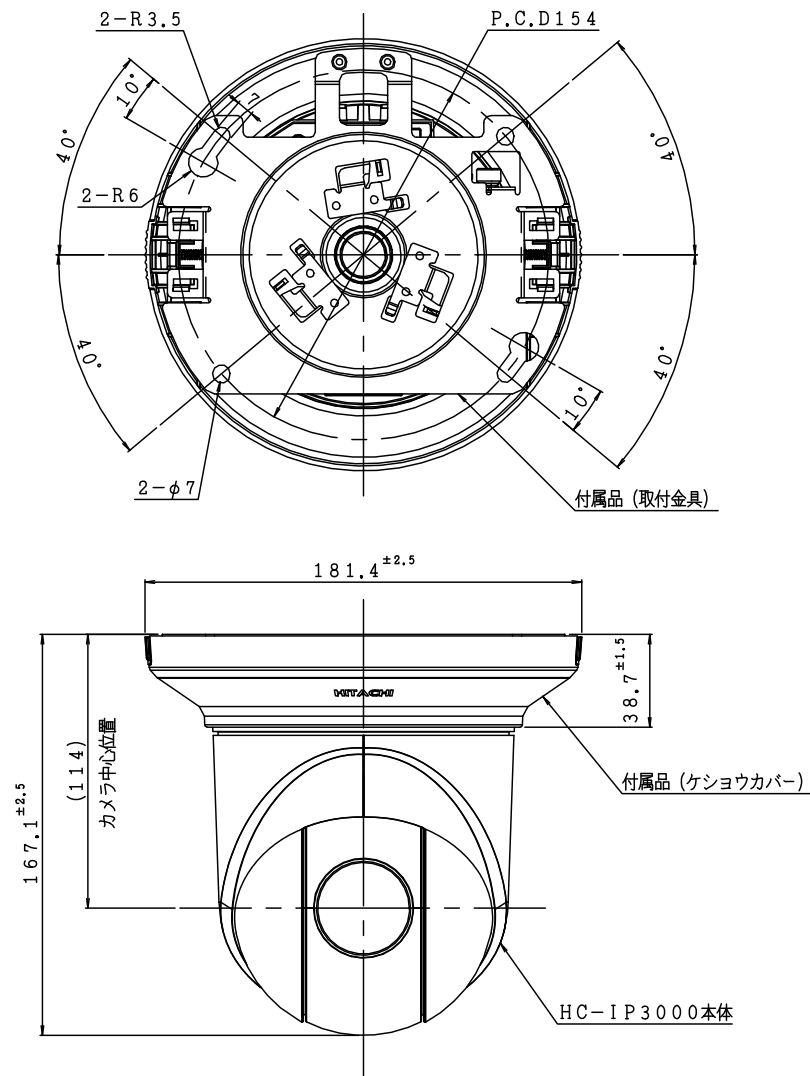
(1) 電源供給	PoE (Power over Ethernet IEEE802.3af 方式準拠) 又は DC12V $\pm$ 10%(専用 AC アダプタ別売) 約 12W
(2) 外形寸法	ϕ 127 $\times$ 165(H)mm 突起部を除く
(3) 質 量	約 1.2kg
(4) 接点	接点数(1 入力、1 出力) 入力: 無電圧メーク接点入力 OFF: オープン ON : GND とのメーク接点(5mA 以上) 出力: オープンコレクタ OPEN: オープン 外部からの最大印加電圧(25V 以下) CLOSE: GND とのメーク出力(50mA 以下)
(5) 動作温湿度	-10 $\sim$ 50 $^{\circ}$ C 90%RH 以下 (0 $^{\circ}$ C 以下は通電必要) (結露なきこと)
(6) 保存温湿度	-20 $\sim$ 60 $^{\circ}$ C 90%RH 以下
(7) 塗装色	コットンホワイト(レザートン)

本仕様は改良等の理由により予告なく変更する事があります。

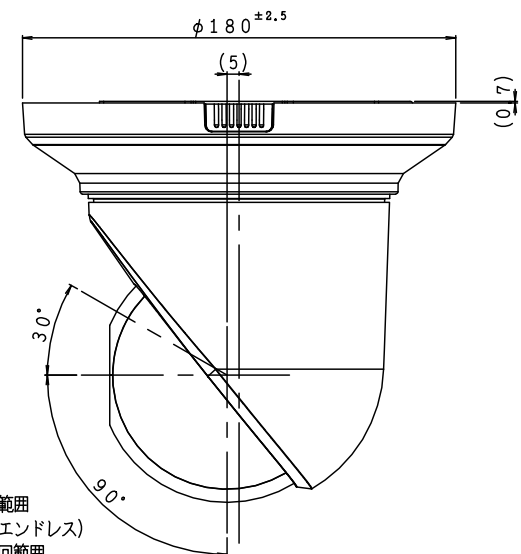
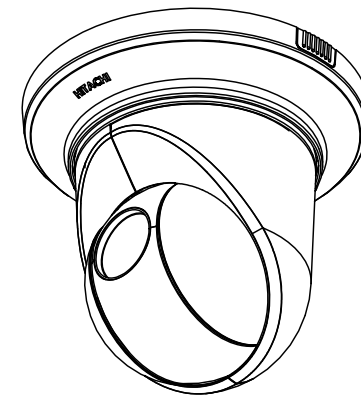
5.2 外形寸法図



PTZ ネットワークカメラ HC-IP3000 外形図



PTZ ネットワークカメラ HC-IP3000 組合せ外形図



- ・パン回転範囲
(360° エンドレス)
- ・チルト回転範囲
(+30° ~ -90°)

塗装色 : コットンホワイト
(レザーサテン)
質量 : 約1.5 kg (付属品含む)

5.3 工場出荷時の設定

工場出荷時の状態を表に示します。

工場出荷時の状態に戻すには、「メンテナンス」ページを参照して下さい。

(注意)

1: 登録したホームページの内容は破棄されます。

2: カメラのプリセット情報は、破棄されません。(カメラが情報を保持しています。)

基本設定	
<IP アドレス設定>	
項目	値
IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
プライマリ DNS	未設定
セカンダリ DNS	未設定
HTTP ポート番号	80
MTU サイズ補正	1400byte
再送タイムアウト時間	5000ms
LINK UP ARP 送信時間	5000ms
<その他>	
項目	値
通信タイムアウト	1Min
ArpPing 機能	ON
Keep-Alive (HTTP)	ON
キャリブレーション間隔	無し
NAT 機能	OFF
NAT 用グローバル IP	未設定
<マルチキャスト>	
項目	値
H.264 マルチキャスト	OFF
マルチキャスト IP アドレス	224.168.2.100
送信ポート	5000
MPEG-4 マルチキャスト	OFF
マルチキャスト IP アドレス	224.168.1.100
送信ポート	4000
JPEG マルチキャスト	OFF
マルチキャスト IP アドレス	224.168.0.100
送信ポート	3000
配信レート	無制限

＜音声配信＞	
項目	値
送信ポート（相手機）	5062
受信ポート（自機）	5062
受信タイムアウト	30s
＜携帯電話配信＞	
項目	値
携帯電話配信機能	ON
画像サイズ	120×90
通報先名称	未設定
通報先電話番号	未設定

ユーザ認証

＜ユーザ認証＞	
項目	値
ON/OFF	OFF
認証領域名称	HC-IP3000
＜ユーザ設定＞	
項目	値
番号	1
ユーザ権限	管理者
ユーザ ID	root
パスワード	未設定
パスワード（確認）	未設定
＜ユーザー一覧＞	
項目	値
番号 1	ユーザ ID : root 権限 : 管理者
番号 2 ～ 2 0	ユーザ ID : 未設定 権限 : モニタ
＜IPフィルタ＞	
項目	値
ON/OFF	OFF
フィルタタイプ	許可
IP アドレス, 制御権	全項目 未設定

コーデック (映像・音声)

＜映像コーデック選択＞	
項目	値
映像コーデック	JPEG ON / MPEG-4 OFF / H.264 ON
＜H.264 基本設定＞	
項目	値
圧縮モード	標準画質
解像度	640×480
符号化ビットレート	2000[kbps]
＜MPEG-4 基本設定＞	
項目	値
圧縮モード	標準画質
解像度	640×480
符号化ビットレート	2000[kbps]
＜JPEG 基本設定＞	
項目	値
解像度	640×480
圧縮率	7
最大フレームレート	5[fps]
ビットレート制限	なし
マルチキャスト取込間隔	5[fps]
＜音声コーデック＞	
項目	値
ビットレート	32[Kbps]

カメラ制御

＜スピード＞	
項目	値
ユーザ・スピード	OFF
パン・スピード	1
チルト・スピード	1
ストップ制御出力時間	0.5sec
＜カメラ感度＞	
項目	値
Manual	0
AUTO	4
＜ライト＞	
項目	値
自動消灯	OFF
消灯インターバル	5Sec

接点

＜モード＞	
項目	値
入力動作モード	汎用
出力動作モード	汎用
接点入出力保持時間	OFF

ホスト通知

＜ホスト通知設定＞	
項目	値
ホスト番号	1
IP アドレス	未設定
ポート番号	80
アラームリセット	不要（モードレス）
通報対象	アラームランチャ
＜有効化＞	
項目	値
接点入力	未チェック
＜アラームランチャ＞	
項目	値
エンコーダ識別番号	1

メール通知

＜メール＞	
項目	値
メール配信	OFF
アラームリセット	不要（モードレス）
送信元メールアドレス	未設定
SMTP サーバアドレス	未設定
POP3 サーバアドレス	未設定
POP3 認証	OFF
ユーザ名	未設定
パスワード	未設定
＜内容＞	
項目	値
タイトル	Mail from HC-IP3000
画像添付	ON
本文に時刻挿入	ON
本文	Alarm detection

＜宛先登録番号＞	
項目	値
番号	1
種別	無効
メールアドレス	未設定
＜有効化＞	
項目	値
接点入力	未チェック
＜宛先一覧＞	
項目	値
番号 1 ～ 5	種別 無効 メールアドレス 未設定

蓄積

＜蓄積・FTP＞	
項目	値
モード	通常モード
プレ	5[枚]
ポスト	5[枚]
フレームレート	5[fps]
上書き	OFF
FTP アラーム転送	OFF
＜有効化＞	
項目	値
接点入力	未チェック

転送先 FTP サーバ

＜転送先 FTP サーバ＞	
項目	値
IP アドレス	未設定
ユーザ名	未設定
パスワード	未設定
ディレクトリ	未設定
転送ファイル選択	日付
ID1	1
ID2	1
日付ファイル名	全項目選択
指定ファイル名	IMAGE.JPG

SNMP

＜SNMP＞	
項目	値
ON/OFF	OFF
パケットロス閾値	0
SNMP エージェント	HC-IP3000
コミュニティ名 GET	public
コミュニティ名 SET	private
TRAP 送信先 IP アドレス	全項目 未設定
詳細 TRAP	未設定

外部 I / F 設定 (音声)

＜音声詳細＞	
項目	値
マイク入力レベル	標準
ライン出力レベル	標準
入力ミュートレベル	-40dB

日付&時刻

＜時刻設定＞	
項目	値
手動で設定する	現在の時刻
NTP サーバと同調する	未チェック
IP アドレス	未設定
＜タイムゾーン＞	
タイムゾーン	(GMT +09:00) 大阪、札幌、東京

ビューア

＜Web ページ設定＞	
項目	値
本体名称	HC-IP3000
ライブページカスタマイズ	OFF
メインビュー	選択
カメラ選択	選択
設定	未選択
トップ	未選択
インフォメーション	未選択
Top ページ指定	デフォルトページ
ファイル名	未設定

＜プリセット点数＞	
項目	値
プリセット点数	16
＜カメラ制御ボタン＞	
項目	値
パン／チルト	選択
フォーカス	選択
ズーム	選択
スピード	選択
プリセット移動	選択
プリセット登録	未選択
ワンプッシュ AF	選択
イニシャル	選択
スナップショット	選択
ライト	未選択
ワイパ	未選択
AUX1	未選択
AUX2	未選択
カメラ感度	未選択
音声	未選択
スナップビデオ	選択
霜取り	未選択
＜音声＞	
項目	値
双方向	選択
集音	選択
拡声	選択
＜スナップビデオ＞	
項目	値
保存	選択
再生	選択
＜AUX 設定＞	
項目	値
AUX1 表示	AUX1
AUX1 コマンド	シリアル
AUX1 接点番号	1
AUX2 表示	AUX2
AUX2 コマンド	シリアル
AUX2 接点番号	1

＜映像設定＞	
項目	値
イメージモード	H. 264 (UDP)
H. 264, MPEG-4 再生	低遅延
再接続	ON
カメラログイン	ON
接続回線レート	無制限 (0[kbps])

言語設定	
＜言語選択＞	
項目	値
表示言語	自動 (Auto)

機器登録	
＜カメラ情報＞	
項目	値
番号	1: CAMERA1
グループ	1: GROUP1
カメラ名称	CAMERA1
カメラ URL	192. 168. 1. 100
ポート	80
映像種類	H. 264 (UDP)
カメラ ID	1
回線レート	無制限 (0[kbps])
シーケンス	OFF
プリセット	OFF
切替時間	5Sec
ライブ種類	カメラ直接
＜録画装置情報＞	
項目	値
録画装置 URL (NDR)	未設定
録画装置 HTTP ポート (80)	80
録画装置映像ポート (2000)	2000
録画カメラ番号	1

多画面登録 (4, 9 画面)

<4 画面パターン>	
項目	値
4 画面パターン	全項目、未設定
<9 画面パターン>	
項目	値
9 画面パターン	全項目、未設定

グループ登録

<グループ情報>	
項目	値
番号	1: GROUP
グループ名称	GROUP1

登録情報コピー

<ネットワーク情報コピー>	
項目	値
コピー元の IP アドレス	未設定
ポート	未設定
ユーザ名	未設定
パスワード	未設定

起動時設定

<カメラ選択画面起動時>	
項目	値
ON/OFF	OFF
画面数	1 画面
番号	1 : CAMERA1
シーケンス	OFF

保障とアフターサービス

アフターサービスにつきましては、お買い上げ店にご相談ください。

1. 保証期間（無償修理期間）は、お買い上げの日より1年間です。

万一保証期間中に故障した場合は、お買い上げ店にご相談ください。

ただし、レンズ部、DC モータ、ベルト、ベアリング、スリップリング、カールフレキは、消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

2. 保証期間経過後の修理については、お買い上げ店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を致します。

3. 修理をご依頼の時は、お手数でももう一度取扱説明書をよくお読みになり、再度お確かめの上、

形名、購入日、故障状況などをできるだけ詳しくお知らせください。

4. 本製品に使用している電解コンデンサ、光学フィルタ等寿命部品は、高温の環境では経年変化が早くなり画質の劣化が起こります。CCDの色フィルタについても強い光や紫外線により劣化が起こります。長期間安定した性能でお使いいただくためには、約1年～2年ごとの定期的な保守、点検の実施をお願いします。

保守、点検およびアフターサービスについて、ご不明な点はお買い上げ店にご相談ください。

5. 本製品を使用したシステムで、商行為、防犯面において使用され、その結果生じた損失については責任は負えません。

6. 補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年間です。

但し、修理が困難となった場合には、別途御相談させていただきます。

株式会社 日立国際電気

名 称	郵便番号	所 在 地	電話/FAX
■本社	101-8980	東京都千代田区外神田4-14-1(秋葉原UDXビル11F)	03-5209-5931/03-5209-6119
■放送・映像事業部	101-8980	東京都千代田区外神田4-14-1(秋葉原UDXビル11F)	03-6734-9530/03-5209-6074
■北海道支社	060-0002	北海道札幌市中央区北二条西1-1 (マルイト札幌ビル11F)	011-233-6111/011-222-0857
■東北支社	980-6010	宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 (住友生命仙台中央ビル10F)	022-723-1800/022-723-1811
青森営業所	030-0801	青森県青森市新町2-2-4	017-735-1645/017-773-2963 FAXは(日立国際電気と明記ください)
秋田営業所	010-0976	秋田県秋田市八橋南2-10-16(秋田県JAビル6F)	018-863-4180/018-865-3237 FAXは(日立国際電気と明記ください)
奥羽出張所	020-0021	岩手県盛岡市中央通2-1-21	019-654-6667/019-654-7556 FAXは(日立国際電気と明記ください)
■新潟営業所	950-0986	新潟県新潟市中央区神道寺南1-6-2	025-244-4000/025-244-3988
■茨城営業所	310-0805	茨城県水戸市中央1-2-15(水戸中央ビル)	029-227-4820/029-227-6648
■神奈川営業所	231-0005	神奈川県横浜市中区本町4-36 (朝日生命横浜本町ビル5F)	045-651-6411/045-201-6334
■長野営業所	390-0815	長野県松本市深志1-2-11(昭和ビル10F)	0263-33-7488/0263-32-2091
■北陸支店	920-0853	石川県金沢市本町2-15-1(ポルテ金沢13F)	076-265-7098/076-233-1918
■中部支社	460-0003	愛知県名古屋市中区錦2-15-15(豊島ビル12F)	052-223-2770/052-223-2701
静岡営業所	420-0851	静岡県静岡市葵区黒金町59-7 (ニッセイ静岡駅前ビル9F)	050-3383-0180/054-251-2829
■関西支社	540-0001	大阪府大阪市中央区城見2-2-22(マルイトOBPビル6F)	06-6920-6320/06-6920-6326
■中国支社	732-0052	広島県広島市東区光町1-10-19 (日本生命広島光町ビル3F)	082-506-2151/082-264-0003
■四国支社	761-8054	香川県高松市東ハゼ町9-3	087-867-2300/087-867-3806
高知営業所	780-0870	高知県高知市本町2-1-10	088-872-5997/088-872-5141 FAXは(日立国際電気と明記ください)
■九州支社	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-13-34(エコービル3F)	092-412-7600/092-412-7608
沖縄営業所	900-0032	沖縄県那覇市松山1-1-4	098-860-8706/098-860-8705

【ご注意】

- 本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害などが発生致しましても、当社は責任を負いかねますので御了承下さい。
- 本書は、改善のため事前に連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 本書に記載されている内容の無断転載を禁じます。